

山口大学大学院東アジア研究科

博士論文

談話レベルにおける発話キャラクターの研究

2013年3月

李 熙穎

## 学位論文要旨

我々は、日常生活の中で「あの人、キャラ変わってるな」等のような、人が持つキャラクタについてのいわゆる“鑑定”を聞いたことがあるだろう。キャラクタは人に対する、ある種のイメージであり、そのイメージに応じる言葉や話し方が想像できる。逆に、言葉や話し方によってキャラクタも想定できるだろう。このように、言葉とキャラクタはなんらかの関係で結び付き、相互作用をしている。

本論文では、談話における発話キャラクタの表出及び発話キャラクタ間が持つ関連性を明らかにすることを目的としている。談話という環境の中でどのような発話キャラクタが表れ、表れた発話キャラクタ間はどのような関連性を持ち、キャラクタのどの特性を表しているかを分析する。また、これは語彙の単位で表れる発話キャラクタとはどのように異なるのかを明らかにすることである。また、従来の研究で見られなかったキャラクタの弁別性についても扱っている。

本研究では、計3回に渡って調査を行っている。第1次調査では、日本語母語話者に物語を想像させ、そこにキャラクタを登場させるというキャラクタを作成する調査を行っている。これは、被験者がどのようなキャラクタにどのような役割語を使用させ、そこにどのような弁別が行われているかを観察するためである。第2次調査では、日本語母語話者にぬいぐるみを持たせ、ぬいぐるみどうしを対話させるように指示している。これは、ぬいぐるみどうしや、ぬいぐるみと人間との談話を観察するためである。第3次調査では、日本のテレビ番組のお笑い番組を取り上げ、人間が持つキャラクタが談話という環境の中でどのように変化していくのかを観察している。

以上の結果、まず第1次調査より得られたデータからは、語彙レベルでの発話キャラクタが観察できた。表れた発話キャラクタは人間の属性から分類されたものであるため、「静的なキャラクタ」として設定している。従来の研究で扱われているのはほとんどこのような「静的なキャラクタ」である。第2次調査と第3次調査は、談話レベルでの発話キャラクタの観察であり、そこからは【自己主張】【上演キャラ】【付与キャラ】といった発話キャラクタが表出された。この3つの発話キャラクタは、ある種の言語行動であるため、「静的なキャラクタ」と対立するカテゴリーとして、「動的なキャラクタ」と考えている。

また、キャラクタの弁別性においては、人間がキャラクタを作成していく際に、自分と同じ属性を持つキャラクタを最初に作ることが判明した。また、キャラクタの作成プロセスの後半になると弁別性の高いキャラクタを作成することも分かった。さらに、家族関係を最も重要視し、優先して作成することも判明した。

# 目次

1. はじめに.....	1
2. 先行研究.....	4
2.1. 金水敏(2003).....	4
2.2. 金水敏(2007, 2011).....	6
2.3. 定延利之(2006).....	9
3. 本研究の立場.....	12
4. 調査要領.....	15
4.1. 第1次調査.....	15
4.2. 第2次調査.....	18
4.3. 第3次調査.....	20
5. 分析.....	22
5.1. 語彙における発話キャラクタ.....	22
5.1.1. 語彙における発話キャラクタの表出.....	22
5.1.1.1. 「性別」からみる発話キャラクタ.....	22
5.1.1.2. 「世代」からみる発話キャラクタ.....	24

5.1.1.3.	「身分」からみる発話キャラクタ.....	26
5.1.1.4.	「職業」からみる発話キャラクタ.....	27
5.1.1.5.	「性格」からみる発話キャラクタ.....	28
5.1.1.6.	「非人間」からみる発話キャラクタ.....	28
5.1.1.7.	語彙における発話キャラクタの位置付け.....	30
5.1.2.	キャラクタの弁別性.....	34
5.1.2.1.	キャラクタの構成.....	34
5.1.2.2.	非弁別的近接性.....	46
5.1.2.3.	弁別的近接性.....	49
5.1.2.4.	優先性.....	50
5.2.	談話における発話キャラクタ.....	52
5.2.1.	【自己主張】.....	52
5.2.1.1.	一人称代名詞に表れる【自己主張】.....	52
5.2.1.2.	一人称代名詞の直後に副助詞が付く形式に表れる【自己主張】.....	54
5.2.1.3.	一人称代名詞の直後に格助詞が付く【自己主張】.....	56
5.2.1.4.	一人称代名詞の直後に副助詞と格助詞が付く形式に表れる【自己主張】.....	57
5.2.1.5.	反復に表れる【自己主張】.....	58
5.2.1.6.	【自己主張】の特徴.....	59
5.2.2.	【上演キャラ】.....	61
5.2.2.1.	対他的【上演キャラ】.....	61
5.2.2.1.1.	個人の上演.....	61

5.2.2.1.2. 団体の上演.....	64
5.2.2.2. 対自的【上演キャラ】.....	66
5.2.2.3. 【上演キャラ】の特徴.....	67
5.2.3. 【付与キャラ】.....	68
5.2.3.1. 対他的【付与キャラ】.....	68
5.2.3.2. 対自的【付与キャラ】.....	69
5.2.3.3. 【付与キャラ】の特徴.....	70
5.2.4. 談話における発話キャラクタの位置付け.....	72
6. まとめ.....	74
7. 問題点・今後の課題.....	76
8. おわりに.....	79
参考文献.....	80
謝辞.....	81
〈付録1〉	
〈付録2〉	
〈付録3〉	

## 1. はじめに

本論文の目的は、発話キャラクターの表出及び表出された発話キャラクターはどのような性質を持ち、またキャラクターをどう弁別していくのかというキャラクターの弁別性について研究を行っている。具体的には、語彙と談話の単位でどのような発話キャラクターの表出があるかを観察し、各発話キャラクターの間はどのような関係であり、現れた役割語はどのような特徴を持っているかを明らかにすることである。また、キャラクターの弁別性上では、キャラクターの生成（作成）していく過程において、どのような特性を持つキャラクターが、どのような順で生成（作成）していくのか、そして社会言語学的観点から見て、何らかの傾向、法則性が見られるのか、ということについて分析する。

キャラクターとは、相手がわれわれに与える印象やイメージであり、相手の話し方や外観的要素及び雰囲気等によってそのイメージが形成される。ここでいう「相手」は人間でも物でも、見えるものから見えないものまで、さまざまな視点で捉えることが可能である。言わば、人間にとって認識できるものはすべてキャラクターとして成立することができると思われる。例えば、人はそれぞれ異なる外観的要素及び性格等を持つため、それぞれキャラクターを持つのはいうまでもない。一方、物語の中に出ている「鬼」のような現実に存在しないものに関しても、その形は人々の捉え方によってイメージが異なるかもしれないが、鬼というキャラクターという一定のイメージが浮かんでくるのが通常であろう。即ち、多くの人々が共通して認識・想像できる平均的なイメージをキャラクターと呼ぶことができる。

キャラクターに対するイメージの形成に当たっては、キャラクターの外観的要素、言わば、顔や体型や動作等、また、キャラクターの話し方や声質、あるいはその人の雰囲気等がかかわると考えられる。本論文では、言語を対象にするため、言語以外の要素は研究対象にしない。したがって、発話者の話し方によるキャラクターの形成がある場合、その形成されたキャラクターのことを「発話キャラクター」と名付ける。金水敏(2003:205)では、人物像及び役割語について次のように記述している。

- (1) 「ある特定の言葉づかい(語彙・語法・言い回し・イントネーション等)を聞くと、特定の人物像(年齢、性別、職業、階層、時代、容姿、風貌、性格等)を思い浮かべることができるとき、あるいは、ある特定の人物像を提示されると、その人物がいかにも使用しそうな言葉づかいを思い浮かべることができるとき、その言葉づかいを「役割語」と呼ぶ。」

役割語と人物像は相互依存の関係であり、役割語があることによって人物像が形成され、

逆に人物像があるからこそ役割語の存在が認められる。例えば、「御機嫌よう！」のような発話を聞けば、【お嬢様】<sup>1</sup>というキャラクタを思い出し、【お嬢様】と言えば、「御機嫌よう！」のような話し方をするだろうという共通認識が日本語母語話者にはある。ここで、「御機嫌よう！」は役割語であり、【お嬢様】は人物像である。定延利之(2006:122)では、金水敏(2003:205)の「役割語」の定義(1)の中で言及された人物像のことを「発話キャラクタ」と設定している。本論文で言う発話キャラクタもこれと同様で、以下のように定義する。

(2) 「発話キャラクタ」の定義：

発話者の発話が、一定のキャラクタを表す時、このキャラクタのことを発話キャラクタと呼ぶ。なお、人間が持つ発話キャラクタは一人の人間の中でも、しばしば替わることが許される。

本論文では、上述のような役割語にどのような発話キャラクタが表出するかを語彙の単位と談話の単位で観察する。また、語彙の単位で表れた役割語に検出された発話キャラクタはどのような社会的要素を持つのかを観察する。即ち、この言葉を使うのは男性であるか女性であるか、子どもであるか大人であるか、人間であるか非人間であるか等という社会言語学的観点から考察を行う。また、語彙の単位で表れた役割語はどのような特徴を持っているかを分析する。次に、談話の単位で表れる発話キャラクタの特徴を分析し、発話キャラクタ間はどのような関連性があるか、キャラクタのどのような特性として表れるかを分析する。言わば、談話の単位でどのような発話キャラクタが表出し、表れた発話キャラクタは話者の間でどのような役割をするのか、これら発話キャラクタ同士はどのような関連性でキャラクタのどのような特性であるかの分析である。

一方、キャラクタの弁別性についての記述も行っている。キャラクタを生成(作成)していく過程で、弁別性がどのように行っているかの観察である。被験者がどのような順番でキャラクタを作成しているのか、また作成されたキャラクタはどのような社会的要素を持つのかという社会言語学観点から分類する。また、そこにはどのような弁別性が行われ、弁別の傾向・法則性を見出す。

本論文では、各章の内容は以下のようになっている。

第1章では、本論文の研究目的及び役割語・発話キャラクタ・キャラクタの定義を示している。本論文では、語彙の言語単位で表れる発話キャラクタの特徴の記述、キャラクタの弁別性はどのように行われているかについての分析、及び談話という言語

---

<sup>1</sup> 【 】は、発話キャラクタのことを表す。

単位で表れる発話キャラクターの特徴と発話キャラクター間はどのような関連性を持っているかについての分析を目的としている。

第2章では、役割語・発話キャラクター・キャラクターについての先行研究を見ている。主に金水敏(2003)と定延利之(2006)を中心に、役割語・発話キャラクター・キャラクターは先行研究でどのような見方をしているかの紹介である。

第3章では、役割語・発話キャラクター・キャラクターについての本論文での立場を示す。役割語は発話キャラクターと対応し、発話キャラクターが表しているのはキャラクターの一部の特性である。

第4章では、本論文で用いたデータの調査方法について紹介している。本論文で計3回の調査を行っている。第1次調査では、被験者に物語を想像し、その物語の中にキャラクターを登場させるというキャラクターを作らせている。第2次調査では、被験者にぬいぐるみを持たせて、談話するように指示し、ぬいぐるみ間及びぬいぐるみと人間との対話を調査している。第3次調査では、テレビ番組のお笑い番組を取り、人間が持つキャラクターの変化を見ている。

第5章では、語彙と談話の言語レベルでの発話キャラクターについて観察を行っている。語彙の言語レベルでは発話キャラクターの表出とキャラクターの弁別性について観察している。その結果、表れた発話キャラクターは人間の属性から分類されたカテゴリーに属するものとして表れている。また、キャラクターの弁別性については「非弁別的近接性」、「弁別的近接性」、「優先性」等の性質が見られている。談話の言語レベルでは【自己主張】、【上演キャラ】、【付与キャラ】といった発話キャラクターが表れている。

第6章は、第5章で分析したもののまとめである。語彙の言語単位で表れた発話キャラクターは主に、人間の属性から分類されたものであり、「静的なキャラクター」と呼ぶ。また、談話の単位で表れた役割語が表した発話キャラクターには、キャラクターの行動が見られる。すなわち「動的なキャラクター」である。これら、「静的なキャラクター」も「動的なキャラクター」もキャラクターの一種の特性として捉えている。また、キャラクターの弁別性上では、日本語母語話者がキャラクターを作成する際、自分と同じ属性を持っているキャラクターを最初に完成させる傾向がある。また、キャラクターの作成後半になるほど、弁別性の高いキャラクターを完成させることも示す。そして、家族関係が一番重要視され、優先して現れている点も記述する。

第7章では、本論文においての問題点を提示している。最終的に、これまで見てきた役割語・発話キャラクター・キャラクターに関する研究には、社会言語学観点からの分析は言うまでもなく、認知言語学や社会心理学等さまざまな分野からのアプローチが求められることを主張する。



## 2. 先行研究

本章では、役割語及びキャラクタと発話キャラクタに関する先行研究について述べる。

第1章でも、述べたように発話キャラクタと役割語は密接に関連し、片方だけの扱いは成り立たない。また、発話キャラクタもキャラクタに関わっているため、先行研究においてもこのような3者の問題についての認識や観点も少し異なるかもしれない。

### 2.1. 金水敏(2003)

まず、役割語の研究に関わる金水敏(2003)について述べる。

金水敏(2003)では、「役割語」という概念をはじめて提出し、「役割語」という言語学分野を開拓している。ここでは、各役割語の起源とその歴史や役割語の種類についても記述している。漫画や小説等を研究対象とし、博士語、標準語、非標準語、男性語、お嬢様ことば(女のことば)、異人たちのことばといった役割語を扱っている。例えば、「わしは博士じゃ」という言葉を聞くと博士という人物像が思い浮かべるということである。ここで、「わし……じゃ」は役割語であり、博士という人物像を表しているため、博士語と呼んでいる。また、このような役割語はステレオタイプであると主張している。ステレオタイプは社会心理学や社会言語学の中で扱っており、人間を性別別、年齢別、職業別等で分かれる時に同じ属性で括ったカテゴリーのことを言う。言わば、同じ役割語をしゃべる人たちには同じ特徴あるいは属性を持っていると言えるだろう。ステレオタイプというのは、現実の社会で人間を分類した時の話であり、「わしは博士じゃ」のような言葉は現実の博士には使用しそうなものではない。即ち、現実社会で使われていない役割語の数が大半であるに従って、役割語はステレオタイプであるというのは無理があるのではないかという問題が生じている。役割語の生存環境を追求すると、これまでの研究を見る限りでは漫画や小説等のようなところによく現れているのが分かる。金水氏は漫画や小説あるいはシナリオ等のような人に作られた作品のことを仮想現実と呼び、仮想現実という概念を提出している。言わば、役割語はこのような仮想現実の中でよく現れ、ヴァーチャル的であるとの主張である。また、ここで扱っている役割語は語彙レベルでの言語単位で調べているものである。次に表れた役割語はどのようなものであるかを見てみる。

まず、博士語に関しては以下のように述べている。漫画の世界での博士と老人は「わし……じゃ」のような言葉遣いが多く、これらを<博士語>あるいは<老人語>として扱う。しかし、現実の博士や老人はこのような言葉遣いはしない。また、<博士語>は<老人語>の一種であり、江戸時代に起源がある。さらに、<博士語>は少年小説や少年漫画など子供向けのメディアにも出て、現実では使われていないにもかかわらず違和感を持たれない。

次に、＜標準語＞と＜非標準語＞に関しては以下のように述べている。＜標準語＞も一種の役割語であり、江戸時代に起源がある。例えば、漫画の中ではヒーローがよく使う言葉である。また、大阪弁・関西弁の話者は＜非標準語＞が使われ、けち、守銭奴のように描かれることが多い。

次に、男性語に関しては以下のように述べている。「～たまえ」という表現は＜少年語＞として認識されていたが、今は＜上司語＞となってしまった。＜男性語＞は明治時代を象徴する＜書生ことば＞である。

次に、女性語に関しては以下のように述べている。「～て、～よ、～だ、～わ」は女性語で、「～てよ」、「～こと」等の表現も、本来は＜標準語＞であるが、＜お嬢様ことば＞に変わっている。しかし、「お嬢様」は現実社会では存在しない。戦前の女高校生にはお嬢様のイメージがある。

最後に、異人たちに関しては以下のように述べている。異人たちは外国人、過去の時代の人、人でないものに分けられている。＜アルヨことば＞は中国人をイメージしている。例えば、「隊長たいへんあるよ／日本軍がきたある」のような例が見られた。黒人は＜田舎ことば＞が使われている。例えば、「ありがとうございます、お嬢様、では、お休みなせえまし」のような例がある。

以上のように、金水敏（2003）では過去から使用されている言葉が現在の社会に続いてなんらかの形で仮想現実、いわゆる漫画等のようなところに現れ、われわれと結びついていると述べている。次は金水敏編（2007，2011）を見てみる

## 2.2. 金水敏(2007, 2011)

本節では、役割語に関する論文集である金水敏編(2007)、金水敏編(2011)を見てみる。金水敏編(2007)は役割語をテーマとした論文集であり、「対照役割語研究への誘い」と「近代マンガの言語と身体」及び「役割語研究の射程」の三部構成となっている。ここでは、役割語と他言語との対照研究及び音声的側面と身体性等について記述されている。役割語と他言語との対象研究では、日本語と英語、韓国語との対象研究が紹介されている。また、米語、西洋人語、軍隊語、ピジン日本語といった役割語を扱っている。金水敏編(2011)も役割語を対象とした論文集であるが、ここでは、発話キャラクタ、教育における役割語、外国語と役割語の対照研究について記述されている。また、沖縄人の役割語、幼児語やツンデレといった特異なキャラクタの役割語も扱っている。これら2つの論文集で扱っている役割語もそのほとんどが語彙のレベルでの観察である。ここでは、金水敏編(2007)の中に出てくる対象研究はどのようにになっているかを見てみる。

まず、最初に「キャラ助詞が現れる環境」(定延利之 pp. 27-48)について述べる。ここでは、「それじゃ、わしが博士じゃ」の「じゃ」に当たるものとして、キャラコピュラという概念を提示している。また、キャラ助詞を設定し、キャラ語尾と思われることばの中には、キャラコピュラの特徴をもたないものがあると主張している。例えば、「ぼくらはフェレット、いたち科だひょーん」の「ひょーん」に当たるものである。キャラコピュラは倒置文で現れやすい、キャラ助詞は現れにくい。また、キャラコピュラは終助詞よりも先に現れるが、キャラ助詞は終助詞より後に現れる。さらに、文中の文節末ではキャラコピュラは現れやすいが、キャラ助詞は現れにくい、という特徴を持っている。

韓国語の中にもキャラコピュラとキャラ助詞はあるが、その中間的なものもある。中間的なものというのは、キャラコピュラ的であるが、発話キャラクタモデルは顕在していない場合のものを指す。例えば、次のような例がある。

- a. 놀러 가용.  
nolle kayong  
遊びに 行きます

また、キャラ助詞的であるが、発話キャラクタモデルが顕在している場合のものもある。例えば、次のような例が見られた。

- b. 노인 1 뭐여, 바둑 두러 왔는겨?  
noin 1 mweye patwuk twule wass-nunkye  
老人 1 何だ(方言)碁 打ちに 来たんか(方言)

これらは、韓国語の中で倒置文に生起できるのは、発話キャラクターが顕在的なものにかざられる。また、文中の文節末での生起しやすさには、発話キャラクターモデルの顕在とコピュラの類似の両方が関わる。

キャラ助詞は、日本語でも韓国語でも文末らしい文末に現れる。なぜ、このように日本語と韓国語に創発したのかについては、全面的に解答できていないようである。

次に、「日韓対照役割語研究—その可能性を探る」(鄭恵先 pp. 71-94) について述べる。この論文では、日本語と韓国語の同じ内容の漫画を分析することで、各言語での役割語の特徴と両言語間の相違を比較している。その結果、対訳作品の言葉づかいから受けるイメージは、両言語間で必ずしも一致するものではない。また、日本語の役割語では性別的な特徴、韓国語の役割語では年齢的な特徴が表れやすい。例えば、次のような例が選ばれた。

- c. 가르쳐주게. (세일즈)  
教えてくれ。 (セールス)
- d. やめろよ。 (ブラック)  
관두쇼… (블랙잭)

c. と d. の日本語のほうの発話者が「男性」であることが推測できるが、年齢層まで特定するのが難しい。韓国語のほうを見ると発話者が「中年男性」であることが暗示している。さらに、日本語でも韓国語でも、方言は人物像を連想する重要な指標となり、十分に役割語的な要素として働いているとしている。例えば、次のような例が見られる。

- e. ボーッと見とらんで助けてえな! (モンスター)  
보고만 있지말고 나 좀 살려주랑께!

次に、「<西洋人>「おお、ロミオ!」の文型」(依田恵美 pp. 158-178) について述べる。この論文では、西洋人に関するステレオタイプは「おお、ああ+人物」があるということを示している。このような<西洋人語>の文型は、自分の情意を表出させながら相手に投げかける表現で、話者に気高い西洋人のイメージを付与する。また、その源泉は西洋文化を基にその表現性を広げながら翻訳劇で用いられて来たことにある。さらに、こういう文型の定着、および展開を支えているものは、繰り返される異文化接触とその伝播であるというように分析している。

以上は、語彙のレベルでの研究である、金水敏(2007)の中に出てくる対象研究を紹介したものである。続いて、テキストを分析対象とした金水敏(2011)で扱っている「役割語のエコロジー—他人キャラとコンテキストの関係—」を見てみる。

山口治彦(2011: 31)では、テキストの中で「他人キャラ」という発話キャラクタがあると主張し、以下のように定義している。

「話者本来の自分から離れたキャラクタを「他人キャラ」と呼ぶことにする。」

また、口頭の語りや対話及びネットにおいて他人キャラの導入があると紹介している。この論文では、研究対象としてテキストを扱っているが、基本的に書き言葉を対象として研究されている。また、他人の言葉を再現することで「他人キャラ」として設定するのは、これは「他人」という属性のことを表すのに過ぎない。言わば、他人のキャラクタであるということを主張したがつている。本論文でも「上演キャラ」という発話キャラクタが検出しているが、これは他人や過去の自己の上演及び再演をする発話キャラクタである。このようなキャラクタを設定する上に、話者の「属性」よりも話者が行う「言語行動」に焦点を当てている。即ち、「他人」や「過去の自分」というキャラクタを表すだけでなく、このようなキャラクタを「演じる」という言語行動が行われていることが中心になっている。また、研究対象は談話という話し言葉であるため、現時点では書き言葉に表れる「他人キャラ」を別のものとして捉えておく。

以上は、金水敏(2007, 2011)を紹介したものである。次は、キャラクタ及び発話キャラクタに関する先行研究を見てみる。

### 2.3. 定延利之(2006)

定延利之(2006:118)では「ことばと発話キャラクタ」というテーマでキャラクタ及び発話キャラクタについて次のように言及している。まず、キャラクタについての観点から見てみる。

「実際には私たちが場面や相手に応じて多かれ少なかれ変えているにも関わらず、「場面や相手によって変わらず、ちょうど身体のように安定していて、一人に一つしかない」と見なされているもの。それが見なしに過ぎず、実際には一人の中でもいろいろ変わっていることが露わになると、私たちがしばしばショックを受けるもの。これを態度やスタイル、人格や身体と区別して、仮に「キャラクタ」、適宜略して「キャラ」と呼んでおこう。」

また、[図1]にキャラクタと類似概念の、当面のとらえ方を提示している。

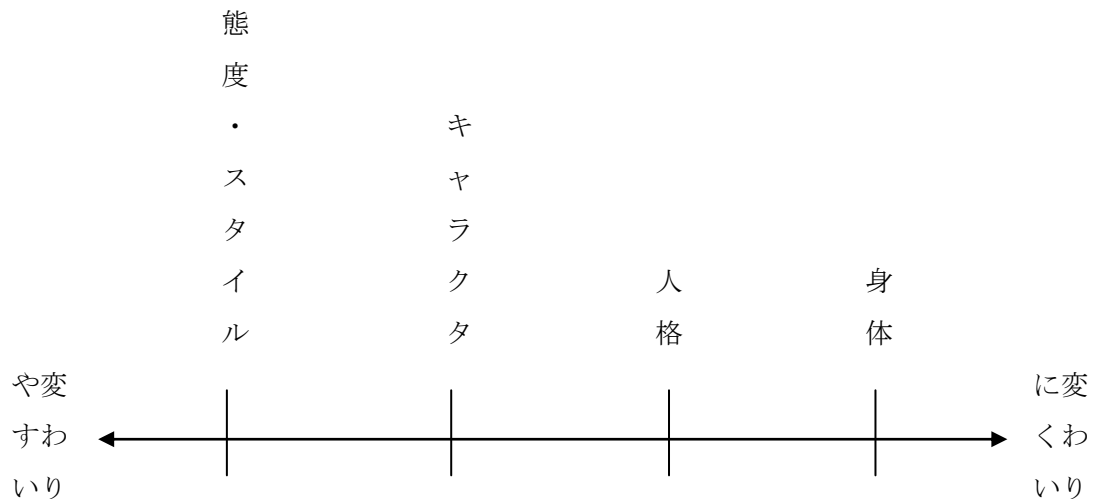


図1 キャラクタと類似概念の、当面のとらえ方

以上のことから分かるように、[図1]の右側へ行くと行くほど変わりにくい性質を持つものが並べ、左側へ行くほど変わりやすい性質を持つものが並んでいる。身体が一番変わりにくく、その次は人格、キャラクタの順であり、態度・スタイルが一番変わりやすいものとして提示している。また、キャラクタは変わらないはずであると認識したものが変わると気まずさが生じると主張している。以上のことは、キャラクタの性質についての定義であるが、筆者も前章でキャラクタについての定義を出している。主にキャラクタの範囲についての定義であるが、言わば人に認識できるもののすべてを指す。キャラクタの性質に関しては、定延(同)の観点のように1人に1つしかないと考えられる。ただ、人間が持

つキャラクタは多面性を持ち、いろいろな場面や人々に会った時に、すこし変わってくる。例えば、同じ人であっても仕事場と家と同窓会でまったく違う様子を取るのもおかしくない。仕事場の後輩が家に遊びに来て、先輩の姿を見てこんなに優しいお父さんであったのかのショックを受けるのも通常あるかもしれない。後輩にとっては厳しいキャラクタである先輩が、奥さんと子供にとっては優しいお父さんキャラクタである。一方、外ではいい人キャラでいる人が家では怒りっぽいキャラでいるのも存在する。無論、一貫性でいる人もいないわけではない。このように、人は自分が対面する相手によって、キャラクタも違って来る可能性はある。我々がショックを受けるのは、自分が見たことがない、このキャラクタの別の側面である。それにもかかわらず、我々はショックを受けたこの人の別の側面を含み、この人に対する新たなキャラクタを形成する。徐々に、このキャラクタを理解して行こうとする。キャラクタ自体は変えられないが、キャラクタは自分が持ついくつかの側面を切り替えながら、しかもこれらの側面は共存する。

次は、発話キャラクタについての先行研究の観点を見てみる。定延利之(2006:120)では、以下のように述べている。

「ことばが、そのことばの内容とは別に、そのことばを発するキャラクタを暗に示すというものである。「そうじゃ、わしが知っておる」は老博士のことば、「そうですわよ、わたくしが存じておりますわ」はお嬢様のことば、といった金水(二〇〇三)の指摘は、このことをよく示している。これらのことばを金水(同)にならって「役割語」と呼ぶ。さらに、役割語によって暗に示される老博士やお嬢様のような、ことばの発し手としてのラベルづけされたキャラクタを適宜「発話キャラクタ」と呼ぶ。」

これ以外にも、言葉とキャラクタの結び付きを2点ほど出しているが、ラベルづけされたキャラクタと動作キャラクタである。ラベルづけされたキャラクタとは「あの人は坊ちゃんだ」という言葉を聞くと、自己中心的なキャラクタであるというイメージが付けられることである。また、動作キャラクタとは「ニタリと笑う」という動作を行った場合、悪い奴キャラを暗に示されているとのことである。また、話し手が発した言葉がその内容とは別に、発し手のキャラクタを暗に示すとき、そのキャラクタのことは発話キャラクタであると主張している。これは、本論文で示された発話キャラクタの定義と意味上では同じものであると考えられる。キャラクタを表すために、動作キャラクタ、ラベルづけされたキャラクタ、発話キャラクタのような言葉と関わりがある、3つの捉え方が挙げられている。この中で、本論文で扱っているのは発話キャラクタである。発話キャラクタの表出は一時的であり、キャラクタの特性の全部ではなく、一部であるだろう。

以上は、役割語・キャラクタ・発話キャラクタについての先行研究を見てきた。役割語の研究をはじめ、新たな分野である発話キャラクタの研究も生み出されている。あるキャラクタ

ラクタが、役割語を発する時に、そのキャラクターのある属性を暗に示すと、表した属性が言わば発話キャラクターであるということである。役割語が対応するのが発話キャラクターであり、発話キャラクターが表すのはキャラクターの一部の特性である。この3者についての本論文の扱いについては次章を参考されたい。

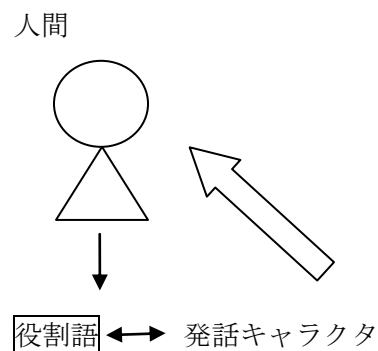


### 3. 本論文の立場

本章では、役割語・キャラクタ・発話キャラクタについての本論文での位置付け、及びそれらの関係を見ていく。

本論文では、語彙の面と談話の面から役割語を観察している。語彙の面において表れた役割語と発話キャラクタはキャラクタのどの特性であるかという分析、及び談話の面において表れた役割語と発話キャラクタはキャラクタのどの特性であるかという分析から、研究を進めている。ここで、本論文での役割語・発話キャラクタ・キャラクタの捉え方、3者はどのような枠組みになっているかを見てみる。

前章で紹介したように、役割語は発話キャラクタと対応し、発話キャラクタはキャラクタの一つの特性として現れる。これを図で表すと、以下のようなになる。

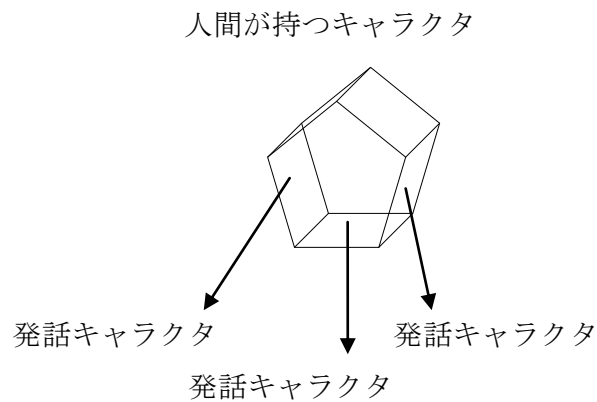


[図 2] 役割語と発話キャラクタの関係図

[図 2]では、人間と役割語と発話キャラクタが並べられている。人間が役割語を発した時に発話キャラクタを表し、表した発話キャラクタは人間の1つの属性を表している。

例えば、ある人が男性語と若者言葉を発した時に、この人は男性及び若者であることが分かる。ここで、「男性語」と「若者言葉」によって、この人が「男性」と「若者」であることを表したため、このような言葉は「役割語」である。また、役割語によって表されたこの人が持つキャラクタは、「男性」と「若者」のキャラクタである。言葉(役割語)によって表されたキャラクタのことを発話キャラクタとも言い、「【男性】」及び「【若者】」のように示す。これは役割語と対応する。このように、この人は【男性】と【若者】の2つの発話キャラクタを持つようになる。また、「男性」と「若者」はいずれもこの人の属性を表したものである。人間はいくつかの属性を持っているため、これ以外の属性、いわゆる発話キャラクタを表す場合がある。このような発話キャラクタはすべてこの人のキャラクタを表したものである。言わば、この人を表す発

話キャラクターの集合体はこの人のキャラクターになる。発話キャラクターとキャラクターの関係図を[図3]に示す。



[図3] 発話キャラクターとキャラクターの関係図

[図3]では、キャラクターは多角形であり、いくつかの面を持っている。また、1つの面を表したものを発話キャラクターで示している。人間が持つキャラクターは、いくつかの面を表す発話キャラクターの集合体であり、1つの発話キャラクターが表したのはキャラクターの1つの特性である。例えば、【男性】と【若者】といった発話キャラクターを表した人に対しては、我々は無意識の中で「男性」と「若者」のイメージがともに認識されている。しかも、これ以上のイメージが認識される場合もある。人によって持っている属性も異なるため、表れたキャラクターも異なり、その人に対する我々の認識も違ってくる。以上は、本論文で扱った役割語・発話キャラクター・キャラクターの関係を示した図である。役割語は発話キャラクターと対応し、発話キャラクターが表すのはキャラクターの1つの側面である。

従来の研究では、漫画等のような人に作られた作品から役割語と思われるものを抽出し、それがどのような発話キャラクターと結び付くのかという研究方法を取っている。また、そこにどのような歴史的背景があるのか、我々が役割語の知識をどのように認識できているか、役割語と他言語との対象研究がどのようなになっているかという研究が進められている。しかし、これらの役割語はほとんど語彙という言語レベルでの研究であり、本論文で扱ったような談話という言語レベルでの役割語研究は見られなかった。語彙の面で表れる役割語だけを扱うのではその範囲は狭く、役割語全体を把握するには無理があるかもしれない。従って、他の言語レベルでの役割語研究も必要であると考えられる。本論文では、このような問題を踏まえ、語彙と談話の言語レベル両方で役割語を観察している。語彙のレベルでは、役割語によって表れた発話キャラ

クタを社会言語学観点から見分け、キャラクタのどの特性であるのかという分析を行っている。また、談話のレベルでは、どのような発話キャラクタが表出し、発話キャラクタ間にはどのような関連性があるのか、またキャラクタのどの特性を表すかという分析を行っている。

さらに、従来の研究では、人間がキャラクタを作成する際に行われている弁別性についての研究も見られていない。漫画の作家であれ、小説の作家であれ、弁別を行わずにキャラクタを作成していくと、同じ属性を持つキャラクタになり、キャラクタの見分けができなくなる可能性がある。従って、このような問題を防ぐために、人間はキャラクタを作成していく際に、多かれ少なかれ弁別を行っている。しかも、無意識に弁別が行われていると考えられる。従って、本論文でもこのような弁別性の問題に注目し、被験者がキャラクタを作成する際に、どのような弁別を行い、そこにどのような傾向或いは法則性が現れるかについて分析を行っていく。

## 4. 調査要領

本論文では、第1次、第2次、第3次に渡って計3回の調査を行っている。以下、順番に挙げておく。

### 4.1. 第1次調査

本論文で行った第1次調査は以下の通りである。これは筆者が修士課程の時に行った調査である。

調査は2009年5月から2009年7月にかけて行ったものである。被験者は20代の日本語話者男女6名（男性4名、女性2名）を対象にしている。全員大学生である。

被験者に次のような依頼をした。

キャラクター作成のご依頼

拝啓 皆様にはご健勝にお過ごしのこととお慶び申し上げます。私は、山口大学大学院教育学研究科修士課程の李熙穎と申します。この度、キャラクターの研究をすることになりました。つきましては、以下の件に関して、ご協力をお願い致します。

敬具

一つの物語を頭の中に想定して、そこに登場させるキャラクターを30以上（人、動物、植物、見えるもの、見えないもの、存在しているもの、存在していないもの……）を作成してください。また、それぞれのキャラクターについて、名前、外観、性格、自己紹介を書いてください。

出来ましたら、作成結果は電子ファイルでお願い致します。

以上

その結果、日本語母語話者6名の中の男性4名はそれぞれ40人、64人、36人、36人のキャラクターを作成し、女性2名はそれぞれ40人、42人のキャラクターを作成した。

作成された日本語のデータをJとする。さらに、日本語データの一番目のデータはJ1、二番目のデータはJ2等、6番目のデータはJ6とそれぞれ示す。以上のことを[表a]にまとめる。

[表 a]

	性別	世代	職業	作成されたキャラクターの数
J1	男	20代	大学生	40
J2	男	20代	大学生	64
J3	男	20代	大学生	36
J4	男	20代	大学生	36
J5	女	20代	大学生	40
J6	女	20代	大学生	42

作成されたデータから次のような例が見られた。



得られたデータの中で役割語を抽出するために使用したのは「自己紹介」の部分である。この部分では、被験者がこのキャラクターに使用しそうな言葉を創造しているため、キャラクターの言葉になる。但しキャラクターは、役割語として言語上に表出する場合もあれば、言語上以外にも表れる場合がある。例えば、「性格」欄に【悪い人】と書かれてある場合、このような情報はキャラクターを設定する上で重要なものとなる。従

って、「外観」「性格」の部分も補足情報として扱うことにする。同様の意味で、「名前」についても扱うべきであろうが、今回は分析対象からは外すことにする。得られたデータは[付録 1]に示す。

## 4.2. 第2次調査

本節では、第2次の調査方法及びデータ提示方法について紹介する。具体的な調査方法としては、日本語母語話者にぬいぐるみを持たせ、ぬいぐるみどうしで対話させることによって、ぬいぐるみどうし、及びぬいぐるみと人間の対話のデータを収集している。このようなデータを収集するのは、ぬいぐるみ発話という世界において、どのような役割語と発話キャラクターが表出するかを観察するためである。

調査は [表 b] の通り 5 回実施した。

[表 b]

調査番号	データ収集	時間	被験者の属性
1次	2010年12月17日	6分46秒	20代・学生・女性3名
2次	2011年5月24日	9分16秒	20代・学生・男性3名
3次	2011年7月6日	15分16秒	20代・学生・女性1名と男性2名
4次	2011年7月25日	19分08秒	20代・学生・女性2名と男性1名
5次	2011年11月25日	21分03秒	20代・学生・女性3名

被験者には、調査直前に次のような指示をしている。用いられたぬいぐるみは【付録2】に示している。

- ① ぬいぐるみを持って会話をしてください。
- ② ぬいぐるみを持たない場合は、相手のぬいぐるみと会話をしてください。相手との会話はしないでください。
- ③ 途中でぬいぐるみを変えたりしても大丈夫です。

また、どのような環境で調査を行っているかを次の[図 a]に示す。



[図 a]

本稿では、上述の要領によって得られたデータを次のような書式で提示していく。

(3) 01029I : こ、こ、怖いよ、怖いよ\*変えてみる

01030I : ははははは、パッ

{Iさんが自分のぬいぐるみでTさんのぬいぐるみを叩く。}

(3)の数字の中で最初の2ケタは調査番号であり、次の3ケタは発話の通し番号である。次のアルファベットは被験者を表している。コロンの直後は被験者の発話である。また、記号\*の直後は被験者のぬいぐるみとしての発話ではなく、自分自身に戻っての発話である。中括弧(ブレース)の中には被験者の行動を記述してある。調査で用いたぬいぐるみと得られた全データは[付録2]に示す。



### 4.3. 第3次調査

本節では、第3次の調査方法及びデータの提示方法について紹介する。第3次調査では、日本のテレビ番組、主にお笑い番組を観察対象にする。また、番組の選択に当たっては、談話を行う人数が10人以下で、発話の重なりが比較的少ないと思われる番組を採用している。さらに、番組の内容上、クイズに答えるような部分ではなく、自由が談話を行われているような部分を取り出している。採用した番組は『しゃべくり007』と『アメトーク』というお笑い番組である。その詳細を[表c]に示しておく。

[表c] 番組情報

お笑い番組	『しゃべくり007』	『アメトーク』
チャンネル	日本テレビ	テレビ朝日
放送時間	毎週月曜日 22:00~22:54	毎週木曜日 22:15~23:10
人数	MC1人、レギュラーメンバー6人、ゲスト	MC2人、ゲスト数人
構成	オープニング、プロフィール紹介、店舗紹介	オープニング、プレゼン大会

[表c]に示したように、『しゃべくり007』は日本テレビの毎週月曜日の22時から22時54分の間に放送するお笑い番組である。MCが1人とレギュラーメンバーが6人、またゲストが1人から数人になる場合がある。データとして扱ったのは4回放送分のオープニングの部分であり、具体的には[表d]に示す。

[表d]

放送日	ゲスト	時間
2011年8月23日	新垣結衣	7分
2012年1月30日	9nine(女性グループ)	5分
2012年5月7日	小栗旬・岡田将生	13分
2012年6月18日	今田耕司・宮川大輔・カラテカ入江	10分

次に、『アメトーク』の番組は、テレビ朝日の毎週木曜日22時15分から23時10分の間に放送するお笑い番組で、MCが2人とゲストが数人(15人以下)である。データとして扱った部分は、2012年4月6日に放送されたゲストが数人のお笑い芸人であるオープニングの部分(5分)である。

また、上記の要領によって得られたデータを次のような書式で提示していく。

(4) 06097MC : ガッキー、あの一、徳井と有田だと隣どっちがいいとかある？

06098G : あ()、どっちでもいいです

{笑い声}

(4)の数字も第2次調査で表示された数字と同じ意味であり、MCは司会者を表し、他のアルファベットは出演者のことを表している。コロンの直後はMCと出演者の発話である。また、括弧()は話者が話している途中、間(ポーズ)を取っていることを表す。中括弧(ブレース)の中には言語形式以外の行動や笑い声等の音声的な要素を記している。また、得られたデータは[付録3]に提示する。

以上は、第1次、第2次、第3次の調査要領であり、これらの調査から得られたデータを観察対象に次章で分析を行う。

## 5. 分析

本章では、語彙と談話における発話キャラクターの表出及びキャラクターの弁別性についての分析を行う。

### 5.1. 語彙における発話キャラクター

本節では、第4章での第1次調査を観察対象に、発話キャラクターが語彙の中でどのような振舞いをしているかを見ていく。どのような役割語によってどのような発話キャラクターが表れ、またその役割語は言語形式上ではどのような品詞であり、現れた発話キャラクターはキャラクターのどのような特性を持っているかを分析する。また、キャラクターをどう弁別するのかという弁別性についても分析を行う。

#### 5.1.1. 語彙における発話キャラクターの表出

本節では、語彙の単位で表れる役割語はどのような発話キャラクターを表しているかを観察する。また、観察された発話キャラクターを「性別」、「世代」、「身分」、「職業」、「性格」、「非人間」という項目に分け、その順に挙げておく。

##### 5.1.1.1. 「性別」からみる発話キャラクター

本節では、「性別」に関する発話キャラクターを観察する。ここでは、性別は【男性】、【女性】、【中性】の三種類が観察された。【中性】とは、男性が女性に扮した場合、いわば“おかま”の性別を指す。ただし、女性が男性に扮するキャラクターは登場しない。

まず、【男性】を表す言葉には、次のようなものがある。下線部は発話キャラクターが現れた部分を示す。

- (5) a. 俺によってそうじされるがいい。このクズどうもが！！（J1-13）
- b. ワシは間違ったことが大嫌いじゃ（J1-15）
- c. 僕はどんな時でも周りを尊重するよ（J1-16）
- d. 俺は何でもできるよ、みんな、俺についてこいよ、アイスおごってやるぜ（J1-29）
- e. オレは不良のボスだぜ。金持ちのボンボンとか絶好のかもだ。でも学校退学になるの嫌だから裏でこそこするんだぜ。（J2-3）

- f. わしは…ゴミひろ…あ、おはようさん… (J2-17)
- g. 俺は香の父親だ。体がデカイから香には怖がられているけど、本当はやさしい父ちゃんなんだぞ。朝早くから牧場で仕事してるぞ。(J4-8)
- h. わしはロボットを作っている博士じゃ。今回は世界征服をしたがるロボットを作ってみたぞ。ちなみにわしは太っているのじゃ。(J4-10)

(5)の例文をみると、【男性】を表す役割語には、「俺」と「わし」のような一人称代名詞がよく見られる一方、「～じゃ」と「～ぜ」及び「～ぞ」のような終助詞もよく見られる。これらは、文の構成上で現れる位置は異なるが、すべて【男性】を表している言葉である。前者は、話し手の発話内容に関わるものと考えられるとすると、後者のようなモダリティは話し手の感情に関わる一種の話し手の心的操作に関わるものと考えられる。言語表現は話し手の発話内容、いわゆる情報データそのものに関わるものと、話し手の感情や気分等に関連する心的操作に関わるものに二分できる。定延利之・田窪行則(1995)では、「話し手の心的操作は、情報データそのものには関わらないが、話し手が心内でおこなう、さまざまな情報データの処理操作(たとえば入出力・登録・検索・計算・編集)に関わる」としている。従って、キャラクタを表す役割語はこのような話し手の心的操作と関連があるモダリティに関わるものと考えられる。

次に、【女性】を表す言葉には、以下のようなものがある。

- (6) a. アタシはこれでも若い時はキレイだったのよ！アハハハ… (J1-17)
- b. きゃああ！！ミサイルやめて、私悪くないよ！！えーん！！ (J2-64)
- c. あら、いらっしやい早乙女くん、今日はオペかしら？…ウフフ…冗談よ…これで今日の用事はなあに？オペ？ (J2-42)
- d. ウチが電車降りてえー一人でちよい歩いてえー、カド曲ったトコに何か立っててえー (J5-12)
- e. どおも☆こんにちわあ。ものこでありますう。日本のうす汚い愚民どもに、ひとときの夢も与えてやってるのですう。ものこがもおーつともおーとかあいくなるためにい、せつせとお金をみっぐのですう☆ (J6-10)
- f. どおも☆こんにちはあ HNマイモですう。あたしいものこちゃん大好きでえ本つともものこちゃんになりたいんですう。(J6-13)
- g. あたし、お姉ちゃんのことは好きだけど、嫌いだワ。変なガッコにいつてるせいか頭チョー堅いんだよネ。(J6-15)

(6)の例文をみると、「アタシ」と「ウチ」のような一人称代名詞がしばしば見られる。

また、「きゃああ」と「あら」のような驚きを表す感動詞、「ウフフ」のような笑い声を表す感動詞、「～かしら」と「～ネ」のような終助詞、「～て」と「～てえ」のような接続助詞も見られる。さらに、「かあいく」（かわいく）と「ますう」（ます）のように、かわいく見せるために、特殊な発音を連想する特殊な表記法をしているものも見られる。このように、感動詞、終助詞、接続助詞のような品詞は話し手の発話内容とは別に、話し手の感情に関わるものと見られ、モダリティにも関係すると考えられる。また、かわいく見せるためにする特殊な発音も話し手の感情に関わるものと見られ、特殊な表記法で連想される。

次に、【中性】を表す言葉には、以下のようなものがある。

- (7) a. 私の法力千人力なのよ。どんな妖怪もいちころよ。けど最近は妖怪なのか改造生物なのか分からなくて困っちゃうわ。(J1-34)
- b. ウフフ、私 ジェニファー。「ジェニー」って読んでね、最近知り合いの経営するバーで働き始めたの。アメリカンフットボールで鍛えた筋肉とガラスのような乙女心がチャーミングポイントよ。私のお店に遊びにきてね (J4-26)

(7)には、「私」「ウフフ」「～わ」「～ね」のような【女性】を表す言葉が見られるが、本データでは男性に使われているため、【中性】として扱う。

#### 5.1.1.2. 「世代」からみる発話キャラクター

本節では、「世代」に関する発話キャラクターを観察する。最初に作成されたキャラクター(一人の被験者が作成した30人程度のキャラクターは1つの物語世界の中に存在しているが、その物語世界の中で主人公と考えられるキャラクター)の世代を【0世代】に設定する。そうすると、それより上の世代は【+1世代】で、さらに上の世代は【+2世代】となる。また、【0世代】より下の世代は【-1世代】となる。「世代」においては、【-1世代】、【0世代】、【+1世代】、【+2世代】の4つの発話キャラクターが観察された。

まず、【-1世代】には【赤ん坊】と【幼児】の2種類が観察された。【赤ん坊】を表す言葉には、以下のようなものがある。

- (8) a. オプービブーボー！バーバ！！ビー！！ (J2-49)
- b. バブーバブーバブーバブー (J4-22)

(8)をみると、言葉がはっきりしていないか言葉を反復して現れている。これらは【赤ん坊】の特徴と見られ、感動詞であると考えられる。

次に、【幼児】を表す言葉には、以下のようなものがある。

- (9) a. わたしはー、おかしが、たべたいのらー(J2-32)  
b. あたちはめんたのおねーさんでちゅ。めんたはまだうまれたばかりでちゅからしゃべれないんでちゅ。あたちはもうしゃべれまちゅ、えらいんでちゅ。(J4-23)

(9)をみると、ある程度言葉ははっきりしているが、「あた

ち」(わたし)及び「でちゅ」(です)のように舌が短いような発音が連想される特殊な表記法で表している。これらは【幼児】を表す言葉の特徴であると考えられる。

次に、【0世代】を表す言葉には、以下のようなものがある。

- (10) a. てか、これ普通じゃねーし、マジ意味わかんね(J1-22)  
b. コボロっす！自分で言うのもナンだけど、かなりの芸達者っす！と思うっす！(J5-23)  
c. うちらちょーラブラブでース！！付き合って一年でース！！たかはしサン大スキー！！(J5-28)  
d. あたし、お姉ちゃんのことは好きだけど、嫌いだワ。変なガッコにいつてるせいか頭ちょー堅いんだよネ。(J6-15)  
e. 姉貴ありえねえし。何アレもの子？モココ？だか知んねエけど、月いくら使ってたよ。マジ目ェさませっての。オレとか彼女できて部活も副主将だし、うらやめよってかんじ。…ただ、彼女がちょっとコスプレに興味あるみてえ。それが心配。ねえちゃんみたくなるんか。(J6-17)

(10)をみると、若者言葉が中心になっている。この中では、「てか」(というか)のような接続詞、「ちょー」(超)のような接頭辞、「マジ」のような副詞、及び「っす」(です)のような省略言葉が現れている。これらは【0世代】を表す役割語であり、話し手の感情や金分等を表す話し手の心的操作に関わるものと考えられ、モダリティにも関連すると考えられる。

次に、【+1世代】を表す言葉には、以下のようなものがある。

- (11) ワシは間違ったことが大嫌いじゃ(J1-15)

(11)をみると、「ワシ…～じゃ」の言葉が現れている。これは、中年以上の男性によく使われているため、【+1世代】と【+2世代】を表す言葉と考えられる。本データでは中年キャラクタに使われているため、【+1世代】として扱う。これらの品詞は、各一人称代名

詞及び終助詞になっている。

最後に、【+2 世代】を表す言葉には、以下のようなものがある。

- (12) a. わしは…ゴミひろ…あ、おはようさん…(J2-17)  
b. わしはお経とお茶が大好きなお寺のお坊さんじゃ。お経を読むとドキドキしてくるのう。最近お茶が好きという女の子が遊びにくるんじゃが、お茶を飲んだり吐いたりするから困っておるんじゃあ。(J4-25)  
c. わしゃの若い頃は…そう…平凡で…ふつうに結婚して…仕事もそこそこで…(J5-26)

(12)をみると、【+2 世代】を表す役割語には「わし…～じゃ」と「～のう」のような言葉が現れている。この中で、「わし」は一人称代名詞であり、「じゃ」と「のう」は終助詞である。

### 5.1.1.3. 「身分」からみる発話キャラクタ

本節では、「身分」に関する発話キャラクタを観察する。ここでは、【お金持ち】、【田舎者】、【中国人】の三つの発話キャラクタが観察された。

まず、【お金持ち】を表す言葉には、以下のようなものがある。

- (13) a. 私の名前はネコボルト三世。貴族の末いだ。さあ、ししやも持って参れ。私にかかれば、資産運用、株も思いのまただよ。ハーハッハッハッ (J1-31)  
b. 世の中全て金だ！！もうかる話ならばどどん私のところへ持ってきたたまえ！！ (J2-30)

(13)の例文をみると、【お金持ち】を表す言葉には「～て参れ」と「～たまえ」のような敬語が現れている。これらは、貴族や上流階級で使われる言葉であり、【お金持ち】のイメージがある。品詞としては動詞である。

次に、【田舎者】を表す言葉には、以下のようなものがある。

- (14) a. オラァ、農業やつてるべよ。(J3-17)

(14)の例文をみると、【田舎者】を表す言葉には「～べ」のようなものが現れている。これは助詞である。

次に、【中国人】を表す言葉には、以下のようなものがある。

- (15) a. ワタシ 中国拳法の達人アルね。ワタシ 立派なヒゲ持ってるアル。拳法とヒゲ、自慢するアル！！ (J4-29)

(15) の例文をみると、【中国人】を表す言葉には「アル」のようなものが現れている。これは、最初に日本に来る中国人は日本語がよく分からないため、日本語は文の最後に全部「アル」を付けるという認識があると考えられる。従って、日本人にとっては中国人という文の最後に「アル」を付けるというイメージがある。無論、いまはこのようなイメージは中国人にはない。このような「アル」が使用されるキャラクタについては、金水敏(2003:187)にも記述されている。

#### 5.1.1.4. 「職業」からみる発話キャラクタ

本節では、「職業」に関する発話キャラクタを観察する。ここでは、【音楽関連者】、【忍者】、【医療関連者】、【博士】の四つの発話キャラクタが観察された。

まず、【音楽関連者】を表す言葉には、以下のようなものがある。

- (16) a. ミーにダンスは鬼に金棒なの Y0 (J2-10)

(16) の例文をみると、「～よ」を「Y0」に発声する表記をしているが、音楽が好きな人やいは音楽と関連がある人によく使われると考えられる。これは、「よ」の特殊な表記である。

次に、【忍者】を表す言葉には、以下のようなものがある。

- (17) a. シュシュット参上でござる。拙者の忍法ハリケーンでこの学校を破壊してやるでござる。(J2-45)

(17) の例文をみると、「～でござる」は昔の言葉であり、現社会ではすでに使われていないが、漫画の中では【忍者】によく使われている。従って、この言葉は【忍者】という発話キャラクタを表す言葉として扱う。動詞(敬語)である。

次に、【医療関連者】を表す言葉には、以下のようなものがある。

- (18) a. あら、いらっしやい早乙女くん、今日はオペかしら？…ウフフ…冗談よ…これで今日の用事はなあに？オペ？ (J2-42)



(18) の例文をみると、「オペ」は医療関連の用語であるため、本論文では【医療関連者】として扱う。これは名詞である。

次に、【博士】を表す言葉には、次のようなものがある。

- (19) a. わしはロボットを作っている博士じゃ。今回は世界征服をしたがるロボットを作ってみたぞ。ちなみにわしは太っているのじゃ。(J4-10)

(19) の例文をみると、「わし～じゃ」は【+1 世代】と【+2 世代】の中でも見られるが、漫画の中での博士にもよく使われている。本データでは、この言葉を使われているキャラクタは実際に博士であるため、【博士】として扱う。これは金水敏 (2003 : 13) にも言及されている。

#### 5.1.1.5. 「性格」からみる発話キャラクタ

本節では、「性格」に関する発話キャラクタを観察する。ここでは、【悪い人】の発話キャラクタが観察された。以下に提示する。

- (20) a. フハハハハハ！！私のつくったオンミツ丸とドリルマンでこの学校をのとつてくれる！！(J2-46)  
b. ウフフ…私は世界最高ほうの美女なのよ。(J1-20)  
c. イーヒッヒッヒッヒッ、アタンは意地悪な魔女だよ。太郎に恐ろしい魔法をかけてなのさ、苦しめ。他人にヒドいことをするのが、大好きなのさ。(J4-3)

(20) の例文をみると、【悪い人】を表すには「フハハハハハ」、「ウフフ」、「イーヒッヒッヒッヒッ」のような笑い声が現れている。これらの笑い声は感動詞であり、【悪い人】を反映するのによく使われている。また、「のとつてくれる」の「～てくれる」にも【悪い人】のイメージがあるが、音声を高くしたり話し方が荒っぽい時によく表れるという他の要素が入るため、本論文の研究対象にしない。

#### 5.1.1.6. 「非人間」からみる発話キャラクタ

本節では、「非人間」に関する発話キャラクタを観察する。本データでは、人間以外のキャラクタが登場するため、【非人間】という発話キャラクタを立てる。【非人間】とは、人間以外のもの(動物、生物、神、幽霊……)を指す。

【非人間】には種々あるが、大きく【ロボット】、【動生物】、【もの】の3つの発話キャラクタ

ラクタが観察された。

まず、【ロボット】を表す言葉には、以下のようなものがある。

- (21) a. パックダイオウモ―センメツ…センメツセヨ…！！ (J2-11)  
b. ワタ、ワタシハ、グリント、グググラ―、ア、マチガエテグチヒトツオオクイ  
ツテシマタヨ。ヒトケタ、ヒトケタマチガエルト、シヌヨ。 (J2-28)  
c. ワタシ ハカセニ ツクラレタ ロボット。セカイ セイフク スルタメ デ  
キタ。ヒダリテ ハ スゴイ ドリル。ミギテ ハ ジュウデン スル コ  
ンセント。ワタシ サイキョウ。ワタシ、ジシンカ。 (J4-9)  
d. チョンチクリンだーよ。ボクのママはチョンチョコリンだーよ。チョコボール  
開発したヒト神だーよ。 (J5-15)

(21)をみると、【ロボット】はおおよそ片仮名で表記されている。また、単語や句の間が空いているのが分かる。【ロボット】は機械であるため、単語や句を1つ1つ区切って発音するのが特徴であると考えられるが、最近の【ロボット】では、(15d)のように人に近い発音をするものも見られる。

次に、【動物】を表す言葉には、以下のようなものがある。<>の中は、発話キャラクターが表す具体的な動生物を示している。

- (22) a. オレ…タマゴ イガイ、ガ、タベタイ (J1-12) <蛇>  
b. ガオーガオー？…ガガ！ (J3-13) <カラス>  
c. ク、クケコオー！グビー！ (J3-15) <鶏>  
d. ワン！神のペットだわん！肉がほしいワン！ (J3-23) <犬>  
e. ワン！野郎犬だわん！おなかへったワン… (J3-24) <犬>

(22)をみると、【動物】を片仮名で表記されている。また、犬や鶏やカラスのような動物は「ワン」、「ガオー」、「クケコオー」のように動物の本来の泣き声で【動物】の発話キャラクターをそれぞれ表されている。これらも、特殊な表記である。

次に、【もの】を表す言葉には、以下のようなものがある。

- (23) 火がつくぜパチパチ！あ、あついよー！！お前にもつけてやる (J3-5) <マッチ>

(23)の「パチパチ」は擬音語であり、文全体をみるとマッチを連想させるため、【もの】として扱う。

### 5.1.1.7. 語彙における発話キャラクターの位置付け

本節では、前6節で観察された語彙の単位で表れる役割語及びその役割語が表す発話キャラクターが持つ傾向性をまとめる。

語彙の単位で観察された発話キャラクターは「性別」、「世代」、「身分」、「職業」という社会言語学的カテゴリーから表れている一方、「性格」、「非人間」の上にも表れている。具体的にどのような発話キャラクターが表れたかを以下にまとめる。

「性別」：【男性】、【女性】、【中性】

「世代」：【-1 世代】、【0 世代】、【+1 世代】、【+2 世代】

「身分」：【お金持ち】、【田舎者】、【中国人】

「職業」：【音楽関連者】、【忍者】、【医療関連者】、【博士】

「性格」：【悪い人】

「非人間」：【ロボット】、【動物】、【もの】

また、これら発話キャラクターが表出する役割語はどのような品詞になっているかを[表1]にまとめる。

[表 1]

	性別	世代	身分	職業	性格	非人間
一人称代名詞	○	○		○		
終助詞	○	○		○		
感動詞	○	○			○	
接続詞		○				
接続助詞	○					
接頭辞		○				
副詞		○				
動詞(敬語)			○	○		
名詞				○		
助詞			○			
省略言葉		○				
特殊な表記法	○	○		○		○

以上、表出された発話キャラクターとその発話キャラクターが表出する役割語([表 1])は以下のようにになっている。

まず、「性別」においては【男性】、【女性】、【中性】の3つの発話キャラクターが観察された。【男性】を表す役割語は一人称代名詞及び終助詞という品詞で現れている。【女性】を表す役割語は感動詞、終助詞、接続助詞の品詞で現れ、特殊な表記法でも表している。また、【中性】を表す役割語は【女性】の言葉から来ているため、別に取り上げることにしない。

次に、「世代」においては【-1 世代】、【0 世代】、【+1 世代】、【+2 世代】の4つの発話キャラクターが観察された。【-1 世代】では【赤ん坊】と【幼児】の発話キャラクターが表出し、これら役割語の特徴としては、言葉が未熟しているかはっきりしていないため、感動詞やに現れている。

次に、「身分」においては【お金持ち】、【田舎者】、【中国人】の3つの発話キャラクターが観察された。【お金持ち】を表す役割語は動詞(敬語)という品詞で現れ、【田舎者】を表す役割語は助詞で現れている。また、【中国人】を表す役割語は漫画の中では文の最後に「ある」を付けるのが特徴であり、現実社会の中国人はこのような喋り方はしないだろう。

次に、「職業」においては【音楽関連者】、【忍者】、【医療関連者】、【博士】の4つの発話キャラクターが観察された。【音楽関連者】を表す役割語は音楽に近い発音をするような特殊な表記法で現れ、【忍者】を表す役割語は昔で使われている「〜でござる」のような動詞(敬語)で現れている。また、【医療関連者】を表す役割語は医療関連の専門用語で名詞になっている。最後に、【博士】を表す役割語は一人称代名詞と終助詞で現れている。

次に、「性格」においては【悪い人】の発話キャラクターが観察された。【悪い人】を表す役割語は笑い声の感動詞に現れている。【悪い人】という発話キャラクターは漫画や小説等で必ず登場する人物の一つであり、その表現も多様であると考えられる。しかし、本論文で日本語母語話者に作られた物語のデータでは、登場するキャラクターを中心に描写し、物語の流れについては繊細な描写がなく、被験者の頭の中で想像することになっている。物語の流れを中心に描写すると、主人公が「ヒーロー」になったりするとそれと対立な「悪い人」が登場するのが通常である。しかし、今回の被験者は小説や漫画を作った経歴がなく、しかもキャラクターそのものを作りだすことに集中しているため、【悪い人】のキャラクターが少なかったと言えるだろう。

次に、「非人間」においては【ロボット】、【動物】、【もの】の3つの発話キャラクターが観察された。【ロボット】を表す役割語は文全体が片仮名で表記され、単語と句が区切って現れるが、スムーズになっているのも見られ、特殊な表記法で示して

いる。【動物】と【もの】を表す役割語も動物の泣き声や相応のものの擬音語を特殊な表記法で現れている。

以上のことから分かるように、語彙の単位で表れた役割語は品詞上では一人称代名詞、終助詞、感動詞、接続詞、接続助詞、接頭辞、副詞、動詞(敬語)、名詞、助詞になっている。これらのたいていは文全体から言うと、話し手の発話内容に関わらない、話し手の感情や気分(話し手の心的操作)等に関わってくる。話し手の感情や気分を表す部分はモダリティとも言う。従って、役割語は話し手の感情や気分等に関連するモダリティに関わってくると言えるだろう。言わば、人が自分の属性を代表する発話をする時、なんらかの感情を持たしていると考えられる。

次に、表れた発話キャラクタには【男性】、【女性】、【中性】、【-1 世代】、【0 世代】、【+1 世代】、【+2 世代】、【お金持ち】、【田舎者】、【中国人】、【音楽関連者】、【忍者】、【医療関連者】、【博士】、【悪い人】、【ロボット】、【動物】、【もの】がある。これらの発話キャラクタが属するカテゴリーは「性別」、「世代」、「身分」、「職業」、「性格」、「非人間」である。また、「性別」、「世代」、「身分」、「職業」は従来の社会言語学的カテゴリーである。言わば、この話をする人は男性であるか女性であるか、若者であるか年寄りであるか、お金持ちであるか貧乏であるか、学生であるか先生であるかという人間の属性から人を見分けしている。また、その属性の中に「男性」という発話キャラクタが存在したり、「お金持ち」という発話キャラクタが存在したりする。1 人の人が持つ社会的要素、言わば属性は多数である。従って、1 人の人が持たれる発話キャラクタも多様である可能性がある。

このように「性別」、「世代」、「身分」、「職業」は社会言語学的カテゴリーである反面、「性格」と「非人間」は従来の社会言語学では扱っていない。しかし、発話キャラクタは「性格」と「非人間」というカテゴリーの中でも反映したりする。例えば、この話をする人は優しい人であるか厳しい人であるか、親切であるか悪いのであるかという「性格」上で現れたりする。また、この話は犬の言葉であるかロボットの言葉であるかという「非人間」上でも現れたりする。「性格」というカテゴリーの中で、【悪い人】という発話キャラクタが表れた。【悪い人】とは人が持つ「悪い」という属性を表す発話キャラクタであるため、「性格」を人の属性として扱っている。また、「非人間」というカテゴリーでは犬の発話キャラクタやロボットの発話キャラクタ等が登場する。これらは人ではないが、人のような発話で自分の特徴を発揮する発話をする。例えば、犬の発話は文の最後に「～ワン」を付けたり、ロボットの発話は文全体を片仮名で表記し、単語や句あるいは短い文を区切って発話したりする。「非人間」は話せないが、このような発話キャラクタが出てくるのは、我々は「非人間」を人のように話すキャラクタとして認識するためである。従って、「非人間」という発話キャラクタを表す役割語は人間の言葉とは区別があり、人でないことが分かる。

言わば、この話をするキャラクタは人間であるか非人間であるかというキャラクタの属性が判断できる。

このように、語彙の単位で表す役割語が表出する発話キャラクタは「性別」、「世代」、「身分」、「職業」、「性格」、「非人間」という属性を表すカテゴリーから担っていると言えるだろう。

## 5.1.2. キャラクタの弁別性

本節では、キャラクタ生成における時系列上での傾向を観察する。第1次調査で得られたデータを観察対象に、被験者がキャラクタを生成（作成）していく過程において、どのような順番でキャラクタを作成するのか、社会言語学的観点から見て、そこに何らかの傾向、法則性が見られるのかということについて分析する。

### 5.1.2.1. キャラクタの構成

本節では、第1次調査での各データにおいてどのようなキャラクタで構成を担っているか表を作成して観察する。被験者が作成したデータを順番に番号を付け、それぞれに対し「性別」、「世代」、「職業」、「人間関係」、「キャラクタ」、「その他特徴」の6項目を立て、表を作成する。「性別」においては、「f」は女性、「m」は男性、「-」は不明であることをそれぞれ表す。「世代」においては、「0」は【0世代】、「1」は【+1世代】、「2」は【+2世代】、「-1」は【-1世代】、「-」は不明であることをそれぞれ表す。「人間関係」においては、「L」は恋愛関係（片思いも含む）、「F」は家族関係、「f」は友人関係であることをそれぞれ表す。各記号の直後の数字は相手を表す記号であり、例えば「L2」であれば、2番の人と恋愛関係であることを表す。「キャラクタ」においては、丸括弧が付いていない場合は、5.1.1. で役割語が表れた発話キャラクタを記入したものである。丸括弧が付いている場合は、「自己紹介」欄には書かれていないが、他の欄にキャラクタの特徴として挙げられた内容を記している。空欄は、キャラクタの特徴がはっきりしていない場合や被験者がなんらかの情報も記入していない場合である。「その他特徴」においては、キャラクタに関する各種情報を記入したものである。

まず、J1のデータを分析したものを[表2]に示す。

[表2] J1

	性別	世代	職業	人間関係	キャラクタ	その他特徴
1	m	0	高校生	F5.6.8(長男)		主人公
2	m	0	高校生	F10.11(長男)	(不良)	不良、英国人
3	f	0	高校生	F15(長女)		
4	f	0	高校生	F16.17.18(長女)		
5	m	1	不明	F1.6.8(父)		上半身裸 世界を救った
6	f	1	主婦	F1.5.8(母)	(優しい人)	優しい、エプロン
7	-	-	ペット	1.5.6.8	(動生物)	老犬

8	m	-1	赤ちゃん	F1. 5. 6 (次男)		
9	m	-	不明	f5	(もの)	愛煙家
10	m	1	資産家	F2. 11 (父)		英国人、日本名に改名
11	f	1	主婦	F2. 10(母)		レオタード
12	m	-	ペット	2. 10. 11	動生物	7と友人
13	m	1	使用人		男性	怒りっぽい、元軍人
14	m	2	使用人		(偉い人)	軍隊を持っていた
15	m	1	不明	F3 (父)	男性、1世代	頑固、厳しい、父子家庭
16	m	1	サラリーマン	F3. 17. 18 (父)	男性	まじめ
17	f	1	主婦	F3. 16. 18 (母)	女性	気前がいい
18	f	0	小学生	F3. 16. 17 (次女)		喋るのが不得意
19	m	1	博士	F20 (父)	(博士)	改造生物を作る
20	f	0	助手	F19 (長女)	悪い人、(お金持ち)	お金・地位、色気がある
21	m	1	博士		(博士)	ロボット工学の第一人者
22	m	0	高校生	1のクローン	0世代、(非人間)	サイボーグ
23	m	-	改造生物		(非人間)	トカゲ
24	-	0	不明		(非人間)	爆弾
25	m	0	高校生	2のクローン	(非人間)	改造生物
26	-	0	戦闘員		(非人間)	
27	-	0	戦闘員		0世代	エリート
28	m	0	助手	20	(ロボット)	ロボット
29	m	0	中学生		男性	超能力者
30	-	-	不明		(魚)	食べられた魚
31	m	0	貴族		お金持ち	猫、貴族の末裔
32	m	0	不明			元気
33	m	0	不明		(非人間)	改造生物(製作者不明)
34	m	1	僧		中性	オカマ
35	-	-	神		(神)、(非人間)	イカ型
36	m	0	農家		(非人間)	人の顔+馬
37	m	0	手伝い	36	(非人間)	馬の顔+人、人間ではない
38	m	0	不明		(非人間)	透明人間、服のみ
39	m	-	不明		(非人間)	一匹狼
40	-	-	不明		(流星)、(非人	



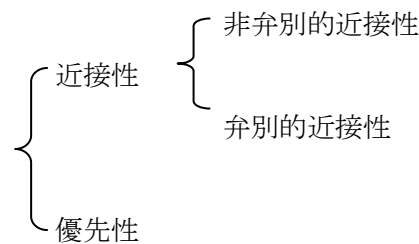
					間)	
--	--	--	--	--	----	--

[表 2]から以下のことが分かる。

まず、「性別」においては、8 番から 16 番まで、21 番から 39 番までの大部分が m (男性) になっている。「世代」においては、24 番から 33 番までのほとんどが 0 (0 世代) になっている。「職業」においては、1 番から 4 番までが「高校生」になっている。「人間関係」においては、1 番から 11 番までの大部分、15 番から 20 番までが F (家族関係) になっている。「キャラクタ」においては、22 番から 26 番まで、35 番から 40 番までが非人間になっている。これらの傾向から見ると、同じものが続いて並んでいて、ある種グループを成しているのが分かる。このような同じものの偏りを本論文では、「近接性」という。さらに、同類のもの偏りを「非弁別的近接性」、対立しているもの偏りを「弁別的近接性」という。上記の近接性は非弁別的近接性を表している。本データでは、弁別的近接性は見られなかった。

次に、「性別」や「世代」や「職業」や「人間関係」においては、「性別」では「m」、「世代」では「0」、「職業」では「高校生」、「人間関係」では「F」という要素が他の要素より固まってそれぞれ優先して出ている。このような、ある要素が固まって優先して出ていることを、本論文では、「優先性」という。

また、非弁別的近接性、弁別的近接性及び優先性の関係を図で表すと、以下のようになる。



[図 4]

[図 4]では、近接性を非弁別的近接性と弁別的近接性に分けられている。非弁別的近接性は、同類のものが続いて並んでいることを表し、弁別的近接性は、対立しているものが続いて並んでいることを表す。また、優先性は同類のものが固まって他の要素より先に出ていることを表す。

次に、J2 のデータを分析したものを[表 3]に示す。

[表 3] J2

	性別	世代	職業	人間関係	キャラクタ	その他特徴
1	m	0	学生	F13. 50 (双子弟) , f3	(お金持ち)	主人公、引きこもり
2	f	0	学生			
3	m	0	学生	f1	男性	不良 ボス
4	m	0	学生	F34 (兄)	(悪い人)	不良
5	f	0	学生			引きこもり
6	m	0	学生		(男性)	学級委員長、イケメン
7	m	0	学生		(男性)	メガネ、不運
8	m	0	学生		(男性)	帰宅部
9	-	1	教師		(悪い人)	社会科教師
10	m	1	教師		音楽関連者	黒人、音楽教師、アフロ
11	m	1	教師		ロボット	異次元教師
12	m	0	学生			噂の留学生
13	m	0	学生		(お金持ち)	病弱
14	m	2	校長			不可視、動きが速すぎ
15	f	0	学生		(アイドル)	学園のアイドル
16	f	-	ペット		(動生物)	うさぎ
17	m	2	用務員		男性、2世代	震えている
18	m	2	用務員			着物
19	m	2	八百屋			エプロン、長靴
20	m	2	不明			長身、うまく喋れない
21	m	1	教師			数学教師
22	m	0	学生		(男性)	生徒会執行部、機械的姿
23	m	0	学生			生徒会執行部、機械的姿、味にうるさい
24	m	0	学生			生徒会執行部、袋をかぶる
25	f	0	学生			機械的姿、目がよくみえていない
26	m	0	学生			生徒会執行部、機械的姿
27	m	0	学生			生徒会執行部、ハイテンション、お面
28	-	-	学生		ロボット	会計
29	m	0	学生		(男性)	生徒会執行部
30	m	0	学生		お金持ち	生徒会会長

31	f	1	売店勤務		(女性)	おばさん
32	f	-1	幼稚園児		幼児	園児服
33	m	0	学生			ヨーヨー キャップ
34	m	0	学生	F4 (弟)		
35	m	1	コック長		(中国人)	
36	f	0	不明			双子 (シャム双生児) 二人一組
37	f	2	イタコ	F44 (祖母)		祈祷師風
38	m	0	不明		0 世代	ニット帽、マスク、花粉症、寒がり
39	f	1	教頭			無口
40	m	1	工事作業員	46	(ロボット)	ロボット
41	m	2	執事		(執事)	紳士
42	f	0	保険医		女性、医療関 連者	ナース服
43	m	2	鰻業者			ターバン 笛
44	m	0	巫女	F37 (孫)		女装
45	m	0	忍者	46	忍者	ロボット
46	m	1	科学者・大学 教授	39. 45	悪い人	悪人
47	f	0	ピアニスト			破壊衝動、天才ピアニスト
48	-	-	不明		(栗)	栗
49	m	-1	赤ん坊		赤ん坊	
50	m	1	社長	F1. 13 (父)	(偉い人)	エリート思考、偉い
51	m	1	教師			理科教師
52	f	0	不明			アイヌ人、アステカ信仰
53	m	1	僧		(高僧)	高僧
54	f	0	学生			悪魔信仰
55	-	-	悪魔		(悪い人)	悪魔
56	m	1	不明		(悪い人)	露出魔
57	-	-	不明		(もの)	新聞紙
58	m	1	なし			貧しい
59	f	0	学生			ドッペルゲンガー
60	f	1	イタコ			
61	m	1	兵士		(幽霊)	幽霊、少尉、軍服
62	f	0	お嬢様		(お嬢様)	片目が見えない

63	m	1	天狗	(妖怪)	妖怪
64	f	-	不明	女性	正義の味方

[表 3] から以下のことが分かる。

まず、非弁別的近接性から見ると、「性別」の 10 番から 14 番まで、17 番から 30 番までの大部分が「m」、「世代」の 1 番から 8 番まで、22 番から 27 番までが「0」、「職業」の 1 番から 8 番まで、22 番から 30 番までが「学生」、「その他特徴」の 22 番から 27 番までが「生徒会執行部」になっている。

次に、弁別的近接性から見ると、「その他の特徴」の 53 番が「高僧」になっているのに対し、54 番と 55 番が「悪魔」になっている。

最後に、優先性から見ると、「性別」では「m」、世代では「0」、職業では「学生」が優先して現れている。

次に、J3 のデータを分析したものを[表 4]に示す。

[表 4] J3

	性別	世代	職業	人間関係	キャラクタ	その他特徴
1	-	0	不明		(非人間)	鳥の形
2	m	-1	不明		(非人間)	化け物
3	m	0	不明		(男性)	サングラス
4	m	0	不明			パチンコ
5	-	-	不明		もの	マッチ
6	m	0	不明		(非人間)	人に化けている、尻尾
7	-	-	不明		(非人間)	ドラゴン
8	m	0	狩人		(非人間)	ドラゴンハンター
9	-	-	不明	F10. 11. 12 (弟)	(ロボット)	ロボット
10	-	-	不明	F9. 11. 12 (弟)	(ロボット)	ロボット
11	-	-	不明	F9. 10. 12 (弟)	(ロボット)	ロボット
12	-	-	不明	F9. 10. 11 (兄)	(ロボット)	ロボット
13	-	-	不明		動生物	恐竜
14	m	2	不明		(もの)	雲
15	-	-	不明		動生物	コンドル
16	m	-	乗り物		(もの)	車
17	m	1	農家	F18. 19. 20 (父)	田舎者	帽子 鎌
18	f	1	主婦	F17. 19. 20 (母)		

19	m	0	学生	F17. 18. 20 (兄)	(不良)	不良
20	m	0	不明	F17. 18. 19 (弟)	(男性)	
21	f	0	天使		(天使)	天使
22	-	-	神		(神)	神
23	-	-	ペット	22	動生物	犬
24	-	-	野良犬	22 に似ている	動生物	犬
25	m	0	ガードマン			サングラス、スーツ、 長髪
26	f	-	不明		(非人間)	高貴
27	f	0	学生	f28		
28	f	0	学生	f27		
29	m	0	ボクサー		(非人間)	双頭、キリン
30	m	0	ボクサー		(非人間)	ピノキオ
31	-	-	不明		(豚)	豚
32	f	0	幽霊		(幽霊)	幽霊
33	m	1	刑事		(刑事)	ひげ
34	m	1	プロレスラー		(男性)	ひげ
35	m	1	ガンマン		(俺様)	銃 ひげ
36	m	1	不明		(卑劣な人)	エリート、卑劣、裕福

[表 4]からは以下のことが分かる。

まず、非弁別的近接性から見ると、「性別」の2番から8番までが「m」、9番から13番までが「不明」、「世代」の9番から13番までが「不明」、「職業」の1番から15番までの大部分が「不明」、「人間関係」の9番から12番まで、17番から20番までが「F」、「キャラクタ」の9番から12番までが「ロボット」、「その他特徴」の33番から36番までが「ひげ」になっている。

弁別的近接性は、本データでは見られなかった。

次に、優先性から見ると、「性別」では「m」、「世代」では「不明」、「職業」では「不明」、「人間関係」では「F」が優先して現れている。

次に、J4のデータを分析したものを[表 5]に示す。

[表 5] J4

	性別	世代	職業	人間関係	キャラクタ	その他特徴
1	m	0	学生	F4 (双子兄)	(男性)	主人公

2	f	0	学生			お茶
3	f	2	魔女		悪い人	悪人
4	m	0	学生	F1 (双子弟)	(男性)	
5	f	0	なし	F7.8 (長女)		メガネ
6	m	-	ペット	5.7.8	(馬)	馬
7	f	1	主婦	F5.8 (母)		エプロン
8	m	1	牧場主	F5.7 (父)	男性	優しい
9	-	-	ロボット	10	ロボット	世界征服
10	m	-	博士		男性、博士	白衣 白髪
11	-	-	不明		(もの)	米俵
12	-	-	不明		(もの)	米、悪人、超能力
13	m	0	学生	f14	(外国人)	
14	f	0	学生	f13	(外国人)	
15	-	-	神		(神)	神、ひげ、杖
16	f	0	学生	L1		
17	m	-	ペット	3	(猫)	猫
18	f	0	王女	F21 (長女)		
19	m	0	無職			
20	f	0	モデル			幼馴染
21	m	1	王様	F18 (父)	(1 世代)	
22	m	-1	不明	F23.24 (弟)	赤ん坊	赤ちゃん
23	f	-1	不明	F22.24 (姉)	幼児	
24	f	1	キャリアウーマン	F22.23 (母)		喫煙
25	m	2	僧		2 世代	袈裟、お茶・お経
26	m	1	バー店員		中性	オカマ、ひげ
27	m	0	学生			メガネ
28	f	0	学生			スポーツが得意
29	m	1	格闘家		中国人	中華服、ひげ
30	f	1	主婦			エプロン
31	f	0	学生			ぶりっこ
32	m	0	学生		(不良)	不良
33	m	-	ペット		(犬)	老犬
34	-	-	不明		(非人間)	未確認生命体
35	m	1	漁師		(男性)	元海賊

36	f	0	学生			不幸
----	---	---	----	--	--	----

[表 5]から以下のことが分かる。

まず、非弁別的近接性から見ると、「世代」の13番から20番までのほとんどが「0」、「人間関係」の1番から8番まで、18番から24番までの大部分が「F」になっている。

弁別的近接性は、本データでは見られなかった。

また、優先性から見ると、「世代」では「0」、「人間関係」では「F」が優先して現れている。

次に、J5のデータを分析したものを[表 6]に示す。

[表 6] J5

	性別	世代	職業	人間関係	キャラクタ	その他特徴
1	m	0	不明	L2	(パンダ)	パンダ
2	f	0	不明		(パンダ)	パンダ、口紅
3	m	-	不明		(植物)	オクラ
4	f	0	お姫様		(お嬢様)	高貴
5	m	-1	不明	F6.7 (長男)		
6	f	1	携帯ショップ店員	F5.7 (母)		
7	m	1	会社員	F5.6 (父)		無口
8	f	0	学生			
9	-	-	不明		(雲)	雲
10	f	0	不明	1と2の偽物	(パンダ)	パンダ、口紅
11	f	2	不明			おばちゃん、青汁
12	f	0	学生		女性	ガングロ
13	f	0	学生			
14	m	0	学生		(男性)	人気者
15	-	-	ロボット		ロボット	ロボット
16	m	0	バスケットボール選手		(男性)	長髪
17	-	-	不明		(もの)	静電気アトム
18	m	-	不明			サングラス
19	-	-	不明		(もの)	チョコレート
20	m	0	釣り人		(男性)	釣竿、キャップ
21	m	0	学生		(男性)	
22	-	-	不明		(植物)	植物

23	m	0	学生		0 世代	
24	f	0	学生			学級委員
25	f	0	学生			女子高生
26	m	2	不明		2 世代	ひげ
27	m	1	美容師			カリスマ
28	m・f	0	学生		0 世代	恋人同士、二人一組
29	-	-	殺人鬼		(悪い人)	仮面、包丁
30	-	-	不明		(生物)	生物
31	-	-	菌		(生物)	なすび、菌
32	f	1	施設理事長		(お金持ち)	療養施設
33	-	-	不明		(もの)	食べもの
34	-	-	お化け		(もの)	餅
35	f	1	料理人			コック帽、エプロン
36	-	-	不明		(もの)	生物、傘
37	m	1	不明		(不良)	不良、リーゼント
38	m	1	元ソムリエ		(お金持ち)	スーツ、紳士、もてる
39	m	0	不明			山形県出身、坊主頭
40	f	-	妖怪		(妖怪)	老人

[表 6]からは以下のことが分かる。

まず、非弁別的近接性から見ると、「性別」の 8 番から 13 番までのほとんどが「f」、「世代」の 20 番から 25 番までのほとんどが「0」、「人間関係」の 5 番から 7 番までが「F」、キャラクターの 33 番から 36 番までのほとんどが「もの」になっている。

次に、弁別的近接性から見ると、「その他特徴」の 37 番が「マイナスイメージ」になっているのに対し、38 番と 39 番は「プラスイメージ」になっている。「マイナスイメージ」というのは、不良のような悪い印象を与えることを指す。「プラスイメージ」というのは、紳士のようなよい印象を与えることを指す。

最後に、優先性から見ると、「性別」では「f」、「人間関係」では「F」が優先して現れているのが分かる。

次に、J6 のデータを分析したものを[表 7]に示す。

[表 7] J6

	性別	世代	職業	人間関係	キャラクター	その他特徴
1	f	0	当主		(お嬢様)、	



					(お金持ち)、 (外国人)	
2	m	0	付き人		(中性)	長髪
3	f	0	学生	F27 (妹)	(外国人)	
4	f	0	料亭	F15 (双子姉)		日系人
5	f	0	社長令嬢		(外国人)	印刷会社
6	f	0	ホテル王の娘		(お嬢様)	脚が悪い、目が悪い、変態
7	m	-	不明		(もの)	じゃがいも
8	-	-	不明	7に似ている	(もの)	たこ焼き
9	-	-	不明			でんでんむし
10	f	-1	アイドル		女性	バーチャルアイドル
11	-	-	USBメモリ		(もの)	右手
12	f	-	ハードディスク		(ロボット)	ロボット
13	f	0	学生	F14. 17. 18 (長女)	女性	コスプレ
14	f	1	アイドル	F13. 17. 18(母)		故人
15	f	0	不明	F4 (双子妹)	女性、0世代	ボーダー狂
16	f	0	マッサージ師			6の専属 タイに留学
17	m	0	学生	F13. 14. 18 (弟) , L19	0世代	
18	m	1	ホテルマン	F13. 14. 17 (父)		
19	f	0	学生	L17		ブラスバンド部
20	-	-	不明		(非人間)	テレパシー
21	f	1	人類学者・写真家	3と文通	(外国人)	
22	-	-	ペット	21	(犬)	ハスキー犬、大雑把
23	-	-	ペット	21	(犬)	ハスキー犬、穏やか
24	m	1	医師団			聴覚失う、ドイツ人
25	f	-	ペット	26 (姉)	動生物	ハムスター、おっとり
26	f	-	ペット	25 (妹)	動生物	ハムスター、せっかち
27	f	0	フラワーショップ	F3 (姉)	(外国人)	
28	f	0	生物学者	F39. 40 (長女)	(お嬢様)	ウサギ耳、お嬢様
29	-	-	不明	28	(もの)	目、ウサギの視神経
30	-	-	従者		(ロボット)	二人一組、人形 (ウサギ)
31	f	0	執事		(執事)	28執事、ウサギ耳

32	-	-	ペット	28	(生物)	合成生物
33	f	-1	不明			ウサギ耳
34	-	-	ペット	28	動生物	合成生物
35	-	-	不明		(生物)	絶滅危惧種、淡水魚
36	-	-	漁師			モリ、潜水服、ウサギ耳
37	m	0	従者			ウサギ耳、長髪
38	m	0	バトラー			ウサギ耳
39	f	2	不明	F28. 40. 41 (母)		ウサギ耳、老人、皺
40	f	1	不明	F28. 39. 41 (祖母)		ウサギ耳、ほくろ
41	m	3	幽霊		(幽霊)	杖、ウサギの幽霊、ひげ
42	f	不明	ペット		(生物)	合成生物

[表 7]からは以下のことが分かる。

まず、非弁別的近接性から見ると、「性別」の1番から6まで、10番から16番までのほとんどが「f」、「世代」の1番から6番までが「0」、「人間関係」の13番から18番までの大部分が「F」、「その他特徴」の28番から40番までの大部分が「ウサギ耳」になっている。

次に、弁別的近接性から見ると、「その他特徴」の25番が「おっとり」になっているのに対し、26番は「せっかち」になっている。

最後に、優先性から見ると、「性別」では「f」、「世代」では「0」、「人間関係」では「F」が優先して現れている。

### 5.1.2.2. 非弁別的近接性

本節では、非弁別的近接性について各データでどのように現れているのかを見てみる。

5.2.1. での各データの分析結果から得られた非弁別的近接性を[表 8]に示す。丸括弧の中の数字は各キャラクタ番号を表す。例えば、「(1-4)」の場合は1番から4番までのキャラクタを示している。

[表 8]

	性別	世代	職業	人間関係	キャラクタ	その他特徴
J1	(8-16), (21 - 39)	(24-33)	(1-4)	(1-11), (15-20)	(22-26), (35-40)	
J2	(10-14), (17-30)	(1-8), (22-27)	(1-8), (22-30)			(22-27)
J3	(2-8),	(9-13)	(1-15)	(9-12)	(9-12)	(33-36)

	(9-13)					
J4		(13-20)		(1-8), (18-24)		
J5	(8-13)	(20-25)		(5-7)	(33-36)	
J6	(1-6), (10-16)	(1-6)		(13-18)		(28-40)

非弁別近接性は「性別」においては、J1 のデータの前半部と後半部にそれぞれ現れ、J2, J3, J5, J6 のデータの前半部に現れている。「世代」においては、J1, J5 のデータの後半部に現れ、J2, J4, J5 のデータの前半部に現れている。「職業」においては、J1, J2, J3 のデータの前半部に現れている。「人間関係」においては、J1, J3, J5, J6 のデータの前半部に現れ、J4 の前半部と後半部にそれぞれ現れている。「キャラクタ」においては、J1, J5 のデータの後半部に現れ、J3 の前半部に現れている。「その他特徴」においては、J2 のデータの前半部に現れ、J3, J6 のデータの後半部に現れている。非弁別的近接性が各データでの表れた位置を[表 9]に示す。

[表 9]

	性別	世代	職業	人間関係	キャラクタ	その他特徴
J1	前, 後	後	前	前	後	
J2	前	前	前			前
J3	前	前	前	前	前	後
J4		前		前, 後		
J5	前	後		前	後	
J6	前	前		前		後

[表 9]から分かるように、非弁別的近接性は各データの後半より前半によく現れている。被験者がキャラクタを作成している内に、前半では弁別を行われず、後半になるほど弁別性の高いキャラクタを作っているということである。これは、同じ属性を持つキャラクタを作成するのを避けるために、後半になるほど前に出ているキャラクタとの重なりを考慮しながら、新しいキャラクタを作らせるということであろう。

また、[表 8]では非弁別的近接性は J1 の「性別」においては 21 番から 39 番まで現れ、「世代」においては 24 番から 33 番まで現れている。これらの番号から見ると、世代の番号の範囲が性別の番号の範囲と大部分重なっているのが分かる。これは、非弁別的近接性がある異なる 2 つの項目の中で重複して現れていることである。本論文では、このような

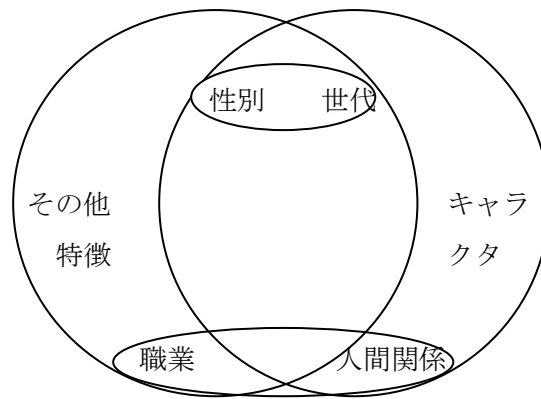
異なる項目の中で重複して現れることを「重複パターン」と呼ぶ。また、人間関係においては、非弁別的近接性が15番から20番まで現れ、性別においては21番から39番まで現れている。これらの番号から見ると、非弁別的近接性は人間関係で現れた直後、続いて性別の中で現れているのが分かる。このように、非弁別的近接性がある項目から他の項目に交替して現れていることを、本論文では「相補パターン」という。

重複パターンは、J1のデータにおいては性別・世代、職業・人間関係に現れている。J2のデータにおいては性別・世代・職業・その他特徴に現れている。J3のデータの性別・世代・人間関係・キャラクタに現れている。J6のデータにおいては性別・世代に現れている。J4、J5のデータでは見られなかった。表で表すと以下のようなになる。

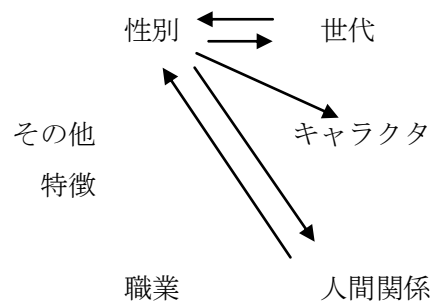
[表 10]

	重複パターン	相補パターン
J1	性別－世代 職業－人間関係	人間関係→性別
J2	性別－世代－職業－その他特徴	世代→性別
J3	性別－世代－人間関係－キャラクタ	性別→世代 性別→人間関係 性別→キャラクタ
J4		
J5		人間関係→性別
J6	性別－世代	

[表 10]から分かるように、重複パターンは、J1では「性別」と「世代」、「職業」と「人間関係」、J2では「性別」と「世代」と「職業」及び「その他特徴」、J3では「性別」と「世代」と「人間関係」及び「キャラクタ」、J6では「性別」と「世代」に現れている。相補パターンは、J1では「人間関係」から「性別」、J2では「世代」から「性別」、J3では「性別」から「世代」、「性別」から「人間関係」、「性別」から「キャラクタ」、J5では「人間関係」から「性別」に交替して現れている。これらのパターンを図で表すと[図 4]と[図 5]になる。



[図 4] 非弁別的近接性の重複パターン



[図 5] 非弁別的近接性の相補パターン

[図 4]と[図 5]では、非弁別的近接性の重複パターンと相補パターンであり、重複パターンでは「性別」と「世代」と「職業」と「人間関係」に集中し、相補パターンでは「性別」と「世代」及び「人間関係」に集中している。これらの現象は非弁別的近接性においては、2 つの下位パターンである重複パターンと相補パターンがほぼ同じ振舞いをしていることを示している。

### 5.1.2.3. 弁別的近接性

本節では、各データにおいて弁別的近接性を見つめる。5.2.1. の各データの分析結果から得られた弁別的近接性を[表 11]に示す。「/」は左側のものと右側のものが対立していることを示す。例えば、「22/23」は 22 番のキャラクターと 23 のキャラクターが当該の項目で対立していることを示す。

[表 11]

	性別	世代	職業	人間関係	キャラクタ	その他特徴
J1						
J2						(53/54, 55)
J3						
J4						
J5						(37/38, 39)
J6						(25/26)

[表 11]では弁別的近接性は、J2, J5, J6 のその他特徴の後半部に現れている。また、「その他特徴」にしか現れていない。これは、「性別」と「世代」と「職業」及び「人間関係」においては弁別的近接性の定義が明確ではないため、例えば「人間関係」のところに「父」(J1-5)と「母」(J1-6)のような関係をどう捉えるべきかという問題が生じている。ここで扱っているのは、明らかに対立している特徴を持つキャラクタである。

弁別的近接性が現れるということは、キャラクタの弁別性が高いことを示す。弁別的近接性が後半部に現れていることは、日本語母語話者がキャラクタを作成する際、後半部で弁別性の高いキャラクタのペアを作成するというを示している。これは非弁別的近接性が前半部によく現れるのと同じで、被験者は前半部でキャラクタの弁別を行わず、後半部で弁別を行っていることである。これは後半になると、前に作成したキャラクタを参照し、それと重なるキャラクタの作成を避けるためであると考えられる。

#### 5.1.2.4. 優先性

本節では、各データにおける優先性を見てみる。

5.1.2.1. の各データの分析結果から得られた優先性を[表 12]に示す。[ ]の中は、優先されるキャラクタの関係を示す。例えば、「[f]」の場合は、友人関係 (f) が優先的に現れるということを示す。「=」は左側のものと右側のものの優先順位が同じ、「>」は左側のものが右側のものより早く優先して現れるということを示す。例えば、[f=F]は友人関係 (f) と家族関係 (F) の優先順位が同じである。[f>F]は、友人関係 (f) と家族関係 (F) はともに優先性を持っているが、友人関係 (f) が家族関係 (F) より優先して現れていることを示す。

[表 12]

	性別	世代	職業	人間関係	キャラクタ	その他特徴
J1	[m]	[0]	[高校生]	[F]		
J2	[m]	[0]	[学生]			
J3	[m]	[不明]	[不明]	[F]		
J4		[0]		[F]		
J5	[f]			[F]		
J6	[f]	[0]		[F]		

[表 12]から以下のことが分かる。

「性別」においては J1, J2, J3 には [m]、J5, J6 には [f]、「世代」においては J1, J2, J4, J6 には [0]、J3 には [不明]、「職業」においては J1 には [高校生]、J2 には [学生]、J3 には [不明] が現れている。「人間関係」においては J1, J3, J4, J5, J6 には [F] が現れている。

各データの「性別」からみると、被験者が男性であると [m] の優先性が高く、女性であると [f] の優先性が高いという現象が現れている。これは、被験者自身が自分の性別と同じ性別であるキャラクタを最初に作成するということが分かる。また、「世代」からみると [0 世代] が優先性を持っていることが分かる。これは、被験者が自分の世代と同じ世代のキャラクタを最初に作成するということである。また、「職業」においてはほとんど [学生] が優先性を持っているのが分かる。これも、被験者がすべて学生であるため、[学生] が優先して他の職業より現れていると考えられる。

次に、「人間関係」の優先性をみると、すべて [F] が優先して現れている。これは、日本語母語話者においては家族関係が最も重要視され、優先性が高いのであると言えるだろう。

## 5.2. 談話における発話キャラクタ

本節では、談話の単位で表れる役割語がどのような発話キャラクタを表しているかを観察する。談話においては発話権取得の部分と談話の流れによる発話キャラクタの表出がある部分を観察対象とする。また、表れた発話キャラクタの【自己主張】、【上演キャラ】、【付与キャラ】の順で紹介していく。

### 5.2.1. 【自己主張】

本節では、第4章での第2次調査より得られたデータを観察対象に、談話において発話権取得の際に表れる言語形式に、どのような役割語がどのような発話キャラクタとして表出するかを観察する。

発話権とは、話者が発話する権利で、談話はこのような権利が交替しながら流れる。現話者が発話権を譲渡したり保持したり、また他の話者が発話権を取得したりする。発話権取得は具体的にはどのような形で現れるのであろうか。次の談話を見てみる。

(24) I：飛行機にずっと乗って空を飛べるっていうことだ

N：たまには地上歩きたいさ～

T：ここと思ったんだけど、これ、違う気がするな

N：あ、なんか違うね、君

この談話は3人の談話であり、下線部「あ」の機能は相手の発話を中断するか、あるいは相手が発話するのを防ぎ、これから自分が発話するという信号を相手に送る標識である。この標識によって、話者Nの発話権が取得されているのである。

また、このような発話権取得の際に【自己主張】という発話キャラクタが観察された。本論文では自分の属性或いは行動を強調し、主張する発話キャラクタを【自己主張】として設定する。

#### 5.2.1.1. 一人称代名詞に表れる【自己主張】

本節では、一人称代名詞とその反復のデータを観察する。<sup>2</sup>

(25) {Iさんがぬいぐるみを変える。}

01073N：あ、プリキュアちゃん

<sup>2</sup>下線部は、発話権を取得する形式で、かつキャラクタが反映されている部分である。



01074T : 長かったな、あいつ

01075I : 私、私プリキュアだよ、かわいいでしょう

01076T : その髪の毛どうなってる？わかめなの？

(25)では、01073Nと01074Tの発話中に、01075Iが「私」を2回繰り返すことによって発話権を取っているのが分かる。「Iさんがぬいぐるみを変える」という行動があって、Iがぬいぐるみを変えた前のぬいぐるみに対して01074Tが話をする。そこで、01075Iは01074Tの話題の変え、2人の注目を集めるために、「私」と言って、発話権を取得する。ここで、01075Iは最初の「私」ですでに発話権を取得しているが、発話権を確実に取得するために2回繰り返して発話していると考えられる。また、発話権取得の後は自分の属性について主張している。従って、自分の属性或いは自分の行動についての主張をするキャラクタを【自己主張】と設定したため、【自己主張】として立てられる。

(26) 03020F : 貴様、貴さん、困苦な

03021D : え、そんな

03022F : ドン {ぬいぐるみをDに向けて飛ばす}

03023G : 私、見てます。デッカイな目で見てます

03024D : デッカイな目

(26)では、03023Gは、03022FがDに向かってぬいぐるみを飛ばす行動をする中で、「私」という発話で発話権を取り、「デッカイな目」という属性を主張している。これも3人の談話であり、03020Fが03021Dに「困苦な貴様」と言ったり、「ぬいぐるみをDに向けて飛ばしたり」という攻撃の話や行動を取っている。その2人の遣り取り中で03023Gは「私」と言って発話権の取得し、「デッカイな目で見ています」という自分の属性と行動について主張をしている。従って、このような言語行動は【自己主張】として立てられる。

(27) 04086K : もともと悪だ

04087L : もっと悪

04088J : 俺、悪やめようかな

(27)では、04086Kと04087Lが誰が悪であるかという争論をしている内に、04088Jは2人の注目を集めるために、「俺」という一人称代名詞で発話権を取得し、悪という属性をやめようという発言をしている。ここで、04088Jが「俺」と言って、自分の属性を主張しているため、【自己主張】として立てられる。

(28) 04017J: 戻って帰るのは人の姿で変えるのが常識と言われている、こういうこと、  
しかしなぜなら三人は

04018L: 前世はなんだった?

04019K: 前世は魔法使い

04020L: 私、前世はベティガールだったの

04021K: 本当だ、どう見てこの格好、何かの縁物かと思ったよ

(28)でも、上述の例のように、話者が「私」と一人称代名詞で、発話権を取得している。ここでは、JとLとKの3人が前世は何だったという話の中で、04020Lは「私」で発話権を取得し、自分はベティガールだったという属性を主張している。従って、これも自分の属性についての主張であるため、【自己主張】として立てられる。

このように、例の(3)から(6)までは一人称代名詞及び一人称代名詞の反復で発話権を取り、かつ【自己主張】という発話キャラクタを表れた例を見てきた。これらは、一人称代名詞及び一人称代名詞の反復で発話権を取得し、自分の属性についての主張をする例である。

発話権取得の形式が発話の先頭に来るのはすでに多くの研究で知られている。しかし、発話権取得の形式が明確にどの言語単位で表れるかについては明らかにされていない。本節では、発話権取得の形式が一人称代名詞「私」という単語単位である場合を見たが、より大きな言語単位で表れる場合もある。次節以降を参照されたい。

### 5.2.1.2. 一人称代名詞の直後に副助詞が付く形式に表れる【自己主張】

本節では、一人称代名詞の直後に副助詞が続く形式のデータを見てみる。この場合も、話者が発話権取得の際に【自己主張】という発話キャラクタが表れている。次のデータを見てみる。

(29) 01104N: 食べるの? これ

01105T: たぶんまずい

01106I: 私は、私は遠慮しとく、私はかわいい女の子だから、そんなもの食べないのよ、お菓子しか食べない

(29)のデータでは、発話権取得の形式が「私」とその直後に付く「は」となっている。01104Nと01105Tは食べ物についての話をしている。そこで、01106Iは「自分はかわいい女の子だから遠慮しとく」という意を伝えるために、発話権を取得する際に、より長い発話の確保のため、「私は」を3回繰り返す、発話権をより確実に取得している。ここでは、

一人称代名詞の反復だけでなく、取り立て機能の「は」が付けられることによって、さらに発話権取得が促進されていると考えられる。

- (30) 04147K : お腹すいた食べに行こう  
04148L : 私もお腹すいた、よし  
04149L : ムシャムシャムシャ  
04150K : あ、おなかいっぱい、おなかいっぱいになった？  
04151L : 私は、このとれいでスープ作るわ

- (31) 03050F : 悪じゃない？  
03051G : 正義のほうが強いですわ  
03052D : あ、正義なんです？  
03053G : たぶん、白いから  
03054D : なるほどね  
03055G : 私は、正義なミャー服だけ着けただけよ  
{F が ao を持って飛んでいる}

(30), (31) では、発話権取得の際に、一人称代名詞の反復は見られないが、一人称代名詞とその直後に付く副助詞「は」の形式になっている。これは、発話権を確保する力は(7)の場合ほど強くないが、発話権は確実に取得していることを表す。(30)のデータでは、3人の談話であり、K と L が「お腹すいた」とか「お腹いっぱいになった」という話題を続いている中で、04151L が「私は」という一人称代名詞と副助詞「は」で発話権を取得している。そして、(31)でも、3人の談話であり、「誰が正義だ」という話題で、03055G が「私は」で発話権を取得している。また、発話権取得の直後は自分がこれからする行動と属性を強調しているため、【自己主張】として設定できる。次に、発話権取得の際に現れる一人称代名詞に副助詞「なんか」が付く場合を見てみる。

- (32) 01056N : ま、前に結ぶんじゃない？  
01057I : 前に結ぶんだよ、きつと、いいな～、僕なんか、手が短いだろう、そんなこと絶対できないよ  
01058N : 私なんか、むしろ離れないわよ  
01059I : 本当だ  
01060T : だいたい問題じゃないの

(32) では、「手が結べるか結べないか」という話題で、01058N が 2 人の注目を集めるた

めに、一人称代名詞「私」と副助詞「なんか」の形式で発話権を取得している。そして、「自分の手は離れない」という自分の手の属性を主張しているため、【自己主張】立てられる。次は、一人称代名詞とその直後に副助詞「も」が付く場合をみる。

(33) 04130L : さ、お掃除しましょう

04131J : なんてことだ

04132K : 私も

(34) {K が青色のぬいぐるみを J の前に持ち込む}

04137J : あ、すごい！よし、こいつがなかなかゴミが下ろそうだ

04138L : 私も 雑巾にしよう

(35) 04147K : お腹すいた食べに行こう

04148L : 私も お腹すいた、よし

04149L : ムシャムシャムシャ

(33), (34), (35) では、一人称代名詞「私」と副助詞「も」の形式で発話権を取得している。(33) では、「掃除をしよう」とする 04130L と「掃除をしたくない」とする 04131J の発話中で 04132K が「私も」で発話権を取り、自分も「掃除をしよう」とする意を伝えている。また(34) では、K がぬいぐるみを J の前に持っていき、J がそのぬいぐるみで「掃除をしよう」という内に、04138L が「私も」で発話権を取り、自分も「雑巾で掃除をする」という意を伝えている。(35) では、04147K が「お腹すいた」と言って、04148L も自分は「お腹すいた」と表すために、「私も」で発話権取得をしている。この3つのデータではすべて「私も」で発話権をとり、自分の行動について主張をしているため、【自己主張】として設定できる。次は、発話権取得の際に、一人称代名詞と格助詞が付く場合をみしてみる。

### 5.2.1.3. 一人称代名詞の直後に格助詞が付く【自己主張】

本節では、一人称代名詞の直後に、格助詞が付くデータを見してみる。次のデータを見られたい。

(36) 02045B : {C が持つぬいぐるみに向いて} 人間ですか

02046A : 私が 人間

{A が新しいぬいぐるみを持ち込む。}

02047A : 私が 悪だ

(36)のデータの 02046A と 02047A では、「私が」で発話権を取得し、自分は「人間だ」とか「悪だ」という属性を主張している。02045B はCが持っているぬいぐるみに対して「人間ですか」という質問をしたが、02046A がその質問に答え、最初に「私が」で発話権を取得し、続いて「人間」であることを主張している。また、新しいぬいぐるみを持ち込み、新たに発話権を取得し、「悪だ」というように主張している。ここでは、一人称代名詞「私」と対比の機能を持つ格助詞「が」によって発話権を取得しているが、格助詞「が」は二つのものを比べることによって、話者の属性をはっきりさせる性質を持っているため、発話権取得がさらに促進されていると考えられる。

また、02046A と 02047A は同一人物であるが、02046A が発話権取得をし、行動が続いた後に、02047A で新たに「私が」で発話権取得をしている。前節では、同じ話者が同じ言語形式を続けて発話することによって、発話権取得をする反復形式を紹介した。しかし、(36)は 02046A と 02047A の間に話者の行動が見られるため、前節で述べた反復ではなく、新たに一人称代名詞の直後に格助詞が付く形式で発話権を取得する【自己主張】であると見なされる。

#### 5. 2. 1. 4. 一人称代名詞の直後に副助詞と格助詞が付く形式に表れる【自己主張】

本節では、発話権取得の際に、一人称代名詞の直後に「こそ」が付くデータを観察する。

(37)02003C : ちょっと悪っぽいと思うんですけど

02004A : いや、俺が悪だ

02005C : 俺こそが悪だ

02006A : みんなが悪い

(37)のデータでは、発話権取得の際に、一人称代名詞「俺」とその直後に副助詞「こそ」と格助詞「が」が付く形式になっている。02003C では、Cが自分は「悪っぽい」と思っているのに対し、02004A が「俺が悪い」と反駁している。これは、02004A が発話権取得の際に、より確実に取得するために、「いや」を使用しているのにもかかわらず、一人称代名詞の「俺」と対比の機能を持つ格助詞「が」が使われている。そのAの発言に対し、02005C では、「俺こそが」で発話権を取り、「自分こそが悪い」という意をさらに強調している。ここで 02005C では、一人称代名詞の「俺」と取り立て機能の副助詞「こそ」と格助詞「が」が使われている。これは 02004A によって奪われた発話権を確実に取り戻すためであると考えられる。また、発話権取得の後は自分が「悪い」という属性を主張しているため、【自己

主張】として立てられる。

### 5.2.1.5. 反復に表れる【自己主張】

本節では、発話権取得の際に、単語や文の反復形式になっているデータを観察する。以下、(38), (39), (40)のデータを見てみる。

(38)01015I : プリキュア女の子がいるよ、やりましょうよ

01016N : ガールズトーク、ガールズトーク

(39) {NさんとIさんがぬいぐるみを持ってTさんのぬいぐるみと戦う。}

01078I : 痛い、痛い!

01079N : だめだよ、だめだよ

01080I : 悪はこうやってプリキュアキック

(40)01104N : 食べるの? これ

01105T : たぶんまずい

01106I : 私は、私は遠慮しとく、私はかわいい女の子だから、そんなもの食べないのよ、お菓子しか食べない

01107T : いける、いける

01108I : 無理、無理! 絶対無理だよ

(38), (39), (40)では、単語の反復行動で発話権を取得している。(38)の01015Iでは、一緒に話しましょうというIの提案に対し、01016Nでは賛成の意を表すために、名詞「ガールズトーク」を2回繰り返す、発話権を取得している。同じ言葉を2回繰り返すのは、一回の発言より内容自体がさらに強調されていると考えられる。また、(39)でもNとIがぬいぐるみでTのぬいぐるみと戦うという場面があり、その後IがTのぬいぐるみに叩かれ、01078Iでは「痛い」と2回繰り返す、「体が痛い」ということを主張している。また、これを見たNはTの行動に反対し「だめだよ」と2回繰り返す、Tの行動について「だめだよ」という自分の観点を主張している。次に、(40)では食べものについて3人で話している中、01106IでIが自分は「かわいい女の子だから、お菓子しか食べない」という発言で、01107Tでは「いける」と2回繰り返す発話権を取得し、Iに「食べられるよ」と勧められている。それに対して、01108Iは「無理」を3回繰り返す、「絶対無理、自分は食べられない」という意を伝えている。これら3つのデータでは発話権取得の際に、単語の反復が見られている。言わば、名詞、形容詞、形容動詞の反復になっている。また、反復行動で

発話権を取得しているが、話者の属性については及ばないが、話者自身の意見を主張しているため、本論文では【自己主張】として想定する。

### 5.2.1.6. 【自己主張】の特徴

上述の第5節で扱った発話権取得時の役割語の形式を[表 2]にまとめると以下のようになる。

[表 13]

データ	形式面	運用面
(25)	一人称代名詞	反復
(26), (27), (28)	一人称代名詞	
(29)	一人称代名詞＋副助詞「は」	反復
(30), (31)	一人称代名詞＋副助詞「は」	
(32)	一人称代名詞＋副助詞「なんか」	
(33), (34), (35)	一人称代名詞＋副助詞「も」	
(36)	一人称代名詞＋格助詞「が」	
(37)	一人称代名詞＋副助詞「こそ」＋格助詞「が」	
(38)	名詞	反復
(39)	形容詞、文	反復
(40)	動詞、形容動詞	反復

[表 13]から分かるように、まず形式面では、発話権取得の際に、一人称代名詞やその直後に付く副助詞「は」、「なんか」、「も」、また格助詞「が」が表れている。このような現象が表れるのは、役割語として働く一人称代名詞は発話権取得の機能を持っていると考えられる。例えば、我々は日常生活の中で2人以上の人と談話をする時に、みんなの注目を集めるために、一人称代名詞やその反復で発話権を取得し、自分の話を続く場合が少なくとも存在すると考えられる。また、一人称代名詞の直後に付く対比の機能を持つ格助詞「が」及び取り立て機能の副助詞「は」、「なんか」、「も」は発話権取得を促進する機能を持たしていると考えられる。また、(38), (39), (40)では名詞・形容詞・形容動詞・動詞という品詞や文形式で発話権を取得しているが、これらは反復行動による発話権取得であるため、品詞の種類や文そのものに関しては発話権取得と関わりがないと考えられる。従って、運用面としては単語や文の反復行動によって、発話権を取得し、自分の意見について述べている。同じ言語形式を何回も繰り返すことは、相手に強い印象を与えるのであろう。

上述の形式面と運用面に共通する点は、すべて【自己主張】という発話キャラクターを表していることである。【自己主張】は自分の属性や行動や意見を主張する発話キャラクターである。自分のことを主張する発話キャラクターであるため、一人称代名詞が頻繁に使われると考えられる。さらに、一人称代名詞だけではなく、その直後に格助詞と副助詞が付く形式によって発話権をより強く取得する傾向もある。また、自分の意見をより強く相手に伝えるためには、さまざまな品詞や文の反復も用いられると考えられる。



## 5.2.2. 【上演キャラ】

我々が日常談話の中で、話におもしろさを加えたり、また生き生きとした状況を伝えたりするために、他人のまねをしたり、他人の語調で話したりするような、他人の話し方或いは自分の過去にしたような話し方を上演(再演)する行動がよく見られる。他人のキャラクタを演ずる発話キャラクタは、二分できる。1つは、上演する対象である他人が特定の個人である場合である。もう1つは、上演する対象である他人が特定の個人ではなく、不特定の個人を表している場合である。

前者の場合、さらに2つの下位範疇に分けられる。1つは、他人の言葉をそのまま再現する、言わば、他人の言葉、話す時の様子、イントネーション、態度等をまったく同じように上演する発話キャラクタである。通常「マネをする」とも言える。もう1つは、他人の言葉自体とは異なるが、その他の要素、例えば話す時の様子やイントネーションや態度等を同じく上演する発話キャラクタである。

次に、後者の場合、上演の対象が不特定の個人であるため、同じカテゴリーに属している人間が共通して所持する言葉の特徴の上演である。

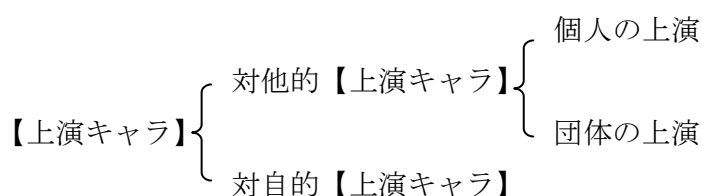
また、過去の自分を演じる発話キャラクタは過去に自分がしゃべった言葉の上演を指す。例えば、過去の場面や状況等を説明するために、過去の場面に応じて自分がしゃべった言葉を再現したりする場合のことである。

本論文では、以上のような他人や過去の自分を演じる発話キャラクタを【上演キャラ】と設定し、次のように定義する。

### (41) 【上演キャラ】の定義：

現在の自分から離れた他の発話キャラクタを演じることを指す。他の発話キャラクタとは他人のキャラクタ或いは過去の自分と将来の自分のキャラクタを言う。

また、【上演キャラ】の構図を[図6]にまとめる。



[図6] 【上演キャラ】の構図

[図6]では、【上演キャラ】は対他的【上演キャラ】と対自的【上演キャラ】に分けられている。また、対他的【上演キャラ】の中では個人の上演と団体の上演に分けられている。

以下では、第4章での第3次調査より得られたデータを観察対象に、表れた上述のような【上演キャラ】を具体的に記述していく。

### 5.2.2.1. 対他的【上演キャラ】

本節では、他人のキャラクタを上演する【上演キャラ】を見てみる。上述のように、他人のキャラクタを演じる【上演キャラ】は、上演する他人は特定の個人であるか、団体であるかに二分される。まず、上演する他人は特定な個人である場合を見てみる。

#### 5.2.2.1.1. 個人の上演

本節では、上演する対象が特定な個人である場合の【上演キャラ】を見てみる。

(42) 06097MC : ガッキー、あの一、徳井と有田だと隣どっちがいいとかある？

06098G : あ()、どっちでもいいです

{笑い声}

06099J : かまへん、かまへん

06100G : かまへん、かまへん

{笑い声}

(42)の談話は、MCがゲストGにレギュラーメンバーと席を替わらせるという場面である。MCがゲストGにレギュラーメンバーである徳井と有田のうちどちらと席を替わりたいかという質問をする。それに対し、Gが、すこし躊躇した後に、「どっちでもいい」という答えを返し、視聴者の笑いを取っている。その後、レギュラーメンバーの、しかも関西人キャラクタのイメージが強いJが関西弁で「かまへん、かまへん」と発話する。その直後に、もともと関西弁をしゃべらないGも関西弁で「かまへん、かまへん」のようにJのまねをして、再び笑いを取っている。下線部はGがJのキャラクタを再現する部分であり、そのまままねをし、本来の自分とは異なるJのキャラクタを演じていることから、この発話キャラクタを【上演キャラ】として設定できる。ここで、Gは【上演キャラ】であり、Jは上演の対象となっている。また、【上演キャラ】を表している役割語は「かまへん、かまへん」である。この役割語そのものには実質的な意味はなく、他人のキャラクタを演じることで笑いを取るという機能だけを

果たしていると考えられる。また、上演対象はJであるが、Jが持っている【関西人キャラ】は、日本語母語話者にとって共通して認識しているようなキャラクタである。ここでは、Gが【関西人キャラ】を演じているが、関西人は大きな枠組みの団体ではないかという質問があるかもしれない。しかし、本データではJの発話の直後にGが発話し、Jのキャラクタを演じていると推測できるため、特定の個人を上演していると考えられる。これは、他人の言葉が既存し、その既存に応じる【上演キャラ】である。

次のデータを見てみる。

(43) 10112D：プライベートも敬語です、本当にお酒を飲んできて、ですよ

10113MC：お酒を飲むと、ねえ、小栗君みたいな感じになるんですか？

101140：ま、基本的に旬君って呼ぶんですけど、宇宙兄弟始まる前に、始まるし、ちょっと飲もうか、いまお酒が入っていい感じになってきた岡田君が、俺、あんたに絶対負けねえから

10115J：そんなこと言うの？

{笑い声}

10116Z：イメージないね

(43)では、ゲストのOがゲストのDのお酒を飲んだ時の様子について話をしている。Dは普段の自分は先輩のOに敬語を使用するが、お酒を飲んだ後は、ため口になると言っている。それで、MCがDの口調で「ねえ、小栗君」のようになるかと質問していた。そこで、Oは基本的に「旬君」と呼ぶが、映画の始まる前に、一緒に飲んでいたら、「俺、あんたに絶対まけねえから」と、その時のDの話を再現している。ここでは、2つの【上演キャラ】が表している。1つは、MCがDのキャラクタを、もう1つはOがDのキャラクタを上演する場合である。前者はMCが上演する側であり、Dは上演の対象である。ここでMCは実際にDが「ねえ、小栗君」のような言葉をしているかどうかは分からない。どこまでもMCの推測にすぎない。これは、(7)のデータとは違い、すでに存在している言葉の再現ではなく、推測の再現である。本論文では、このような推測の上演を「未知の上演」とする。また、後者の場合はOがDのキャラクタを上演することであり、Dが実際にした言葉や表情等を再現している。即ち、OはDが過去に「俺、あんたに絶対まけねえから」という話をしたことを知っており、そのまま再現することである。そこで、本論文では、すでに存在し、上演する側が経験した言葉の再現を「既知の上演」と呼ぶ。このように考えると、(7)のデータは「既知の上演」になる。

次のデータを見てみる。

- (44)08011K：歌とダンスやってます  
08012J：知ってるよ  
08013K：本当ですか  
08014A：しかもセンターにいないところが  
          {笑い声}  
08015A：川島です。じゃないね

(44)では、ゲストのKとレギュラーメンバーのJとAとの談話である。Kは、現在あるグループの一員であるが、もともとソロで活動をしていた。そこで、Aは現在のKがグループのセンターにいないという発話で、視聴者の笑いを取っている。さらに、現在はすでに「川島です」と堂々と言えるような、川島の時代ではないというKの状況について言及し、Kがソロ活動をしていた時期に言っていたような言葉を再現している。したがって、現在の自分から離れたキャラクタを演じるAに表れた発話キャラクタを【上演キャラ】として設定することができる。また、上演の対象はKである。下線部の「川島です」は役割語に当たる部分で、ここでは、Aが過去のKの再現をしていると見なされる。さらに、その場にいる全員が共通して認識しているキャラクタである。Aが過去のKの再現をしたことから、「既知の上演」に見えるかもしれないが、Kが実際にそのような話をしているかどうかはAには分からない。Aが経験していない、推測の言葉である。そこで、(44)のデータは「未知の上演」である。

また、(42)と(44)では【上演キャラ】を持つ人（上演する側）とその上演の対象が同じ場にいる場合である。(43)では、「未知の上演」になる【上演キャラ】は、上演の対象と同じ場にはいない場合、「既知の上演」になる【上演キャラ】は、上演の対象と同じ場にいる場合である。

これまでは、個人の上演を見てきた。次に、団体の上演を見てみる。

#### 5.2.2.1.2. 団体の上演

本節では、上演する対象は不特定な個人、言わば団体の上演を見てみる。同じカテゴリーの中に属している人の上演である。具体的には、次のデータを見てみる。

- (45)10066MC：でも、正直、ああいう、俺ら人生でない、あんなきゃ〜とかいって、いや()、うそのきゃ〜はあるよ、あの、前節のおかげのきゃ〜はあるよ、でもあの、心からのきゃ〜とかないわよ、でもほら、言われ慣れてるでしょう、例えば、あの、映画の試写会あいさつとか、舞台あい

さつ、うわとかってするでしょう？

10067D：はい

10068MC：するでしょう、町とかでもうわってなるでしょう？表参道とかで、信号待ちしている時に、あれ小栗君じゃない？岡田君じゃない？うわってとか

10069H：まあ、俺らとは反応は違うな

100700：ぜんぜんならない

(45)では、ゲストDとOの人気はどれぐらいであるかという談話をしている。ここで、Hは番組のレギュラーメンバーである。10066MCで、MCは自分のような人は人気がないので、みんなも「きゃ〜」としてくれないと言って、10068MCでは、D(岡田君)とO(小栗君)に対して、表参道とかの信号待ちしている時に、「あれ小栗君じゃない？岡田君じゃない？うわっ」というファンがいるだろうという状況を演じるために、一時的にDとOのファンになっている。ここでは、MCが現在の自分から離れた他のキャラクターを演じているため、【上演キャラ】として設定できる。演じる側のMCが【上演キャラ】であり、上演の対象はDとOのファンである。これも、「未知の上演」であり、DとOのファンという属性を持つ人の集合体であるため、不特定な個人、言わば団体の上演になる。無論、MCが上演するのは、DとOのファンの中の1人である。DとOのファンであれば、誰でも上演の対象になる可能性がある。

次のデータを見てみる。

(46)08032Y：じゃ、今日は、あの、大阪の、ショッピングモールに、あの行ったっ  
ていう

{笑い声}

08033MC：設定まで？

08034Y：やっぱあの、リアルのイベントを演じたいので

(中略)

08037T：待ったんやで

(46)の談話では、ゲストのYが自己紹介をしようと、大阪のショッピングモールに来ているような場面の設定で始まっている。その後、番組のレギュラーメンバーであるTが大阪弁の「待ったんやで」と発話し、大阪人観客を演じている。ここでいう観客は大阪人観客のカテゴリーに属している個人ということで、この個人は特定されていない。Tはもともと関西弁をしゃべらないが、ここで関西弁をしゃべる大阪人観客のキャラクターを演じることで、本来の自分から離れ、他人のキャラクターを再現す

る【上演キャラ】として表れている。ここで、「待ったんやで」は役割語であり、日本語母語話者にとって大阪人観客はこのような発話をするだろうという共通認識がある。この【上演キャラ】は、「未知の上演」であり、上演の対象であるのは大阪人観客である。

以上は、対他的【上演キャラ】について観察してきた。対他的【上演キャラ】は他人のキャラクタの上演であり、上演の対象はその場にいる場合といない場合がある。また、対他的【上演キャラ】は個人の上演と団体の上演に分けられている。個人の上演は、上演する側が経験がある言葉の「既知の上演」と、経験したことがない、推測の言葉の「未知の上演」がある。団体の上演は、「未知の上演」しか表れなかった。

「既知の上演」である【上演キャラ】は役割語の言語形式上においては、他人の言葉をまったく同じように再現している。「未知の上演」である【上演キャラ】は、役割語の言語形式上においては、他人の言葉をまったく同じではなく再現する場合である。さらに、「未知の上演」と「既知の上演」である【上演キャラ】は日本語母語話者及びその場にいる全員にとって、共通して認識するキャラクタの再現に限る。

次に、対自的【上演キャラ】を見てみる。

#### 5.2.2.2. 対自的【上演キャラ】

本節では、対自的【上演キャラ】について見てみる。次のデータを参照されたい。

(47)09117MC : じゃ、あの今田さんにそんなに気つかわないんだ

09118M : 逆に、僕、こないだ、大輔昨日めちゃうちゃ酔うてたなって、僕ぜんぜん覚えてないですけど、もう、べろべろで寝てる時に、今田さんが、大輔って言ったら、僕は覚えてない、うるさいお前、とか

09119I : 飲んでるって言うから行った、大輔がソファでもう、チンパンジーみたいにこうやって寝てて、飲みすぎて、ちょっと冗談で上乘って、大輔起きろうみたいな、後輩がみんな、いま大輔さん起こしたらだめですみたいな、暴れます、暴れるわけあれへんやな、俺先輩やしもう、普段から知っとなねん、で、上乘って、大輔、起きろうたら、なんじゃ、お前はコラァ

(47)では、ゲストのIがゲストのMのお酒を飲んだ後のことについて話している。09118Mで、Mは自分がお酒を飲んだ後のことは覚えていないと言っている。そこで、09119IではMがお酒を飲んだ後に、IがMを起こそうとしているところ、後輩がMを起こしたらだめである、暴れると言われている。そこで、Iは「暴れるわけあれへんやな、俺先輩やしもう、普段から知っとなねん」と、その時の自分の言葉を再現している。これは、

I が過去にあった状況を説明するために、他人ではなく、過去の自分を再現している。従って、現在の自分から離れた、他のキャラクタを演じているため、【上演キャラ】として立てられる。役割語は過去の自分の発言である「暴れるわけあれへんやな、俺先輩やしもう、普段から知っとんねん」になり、上演する側は現在の自分、上演の対象は過去の自分である。これはいままでに見てきた対他的の【上演キャラ】とは違い、対自的【上演キャラ】である。過去の自分と現在の自分は同じ人ではないかという問題があるかもしれないが、過去の自分とは過去の場面と状況に応じる自分であり、その状況を再現するとすると、その時の自分に戻り、過去の状況で自分が担当した役割の再現である。現在の新たな場面や状況で自分が演じたのは、過去のその場に応じた自分である。従って、過去の自分と現在の自分はまったく違う場面と状況に遭遇し、違う役割を担っているため、対自的【上演キャラ】の成立は可能である。

ここまでは、【上演キャラ】について観察してきた。【上演キャラ】の特徴については次節でまとめる。

### 5.2.2.3. 【上演キャラ】の特徴

本節では、談話の単位で表れた【上演キャラ】がどのような特徴を持っているかを見てみる。【上演キャラ】は他人や過去の自分を演じる発話キャラクタであり、役割語として表れた言葉は他人や過去の自分がそれぞれ場面と状況に応じる発話である。その言葉自体には実質的な意味は持っていない。他人の口調と表情で話したり、過去の自分の口調や表情で話したりする発話キャラクタである。また、他人のキャラクタを演じる発話キャラクタのことを対他的【上演キャラ】と設定し、過去の自分を演じる発話キャラクタのことを対自的【上演キャラ】として設定している。さらに、対他的【上演キャラ】は「既知の上演」と「未知の上演」が観察され、「既知の上演」とはすでに存在している言葉の再現であり、「未知の上演」は推測の上演である。即ち、「既知の上演」である【上演キャラ】は上演する側は上演の対象が過去或いは現在にしゃべった言葉の上演である。「未知の上演」である【上演キャラ】は、上演する側は上演の対象であるキャラクタが、実際に話した言葉ではなく、このような話をしたであろう或いは、このような話をするであろうという推測の上演である。また、対自的【上演キャラ】は、上演する側は現在の自分であり、上演の対象は過去の場面と状況に応じた自分である。

これまでは、他人と過去の自分のキャラクタを演じる【上演キャラ】について見てきた。次節では他人と自分にキャラクタを付ける【付与キャラクタ】について見てみる。

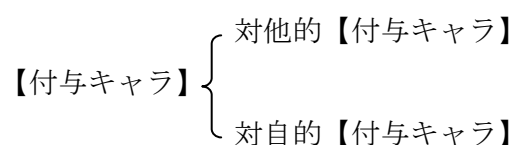
### 5.2.3. 【付与キャラ】

本節では、【付与キャラ】について観察する。他人や過去の自分を演じるキャラクターの【上演キャラ】が存在するのと同様に、他人や自分に新たなキャラクターを付けるキャラクターも存在すると考えられる。他人にその人が持っていない新たなキャラクターを付けたり、自分に自ら新しいキャラクターを付けたりするキャラクターのことである。本論文では、このようなキャラクターを【付与キャラ】と設定し、以下のように定義する。

(48) 【付与キャラ】の定義：

他人や自分にキャラクターを付ける発話キャラクターことを言う。

また、【付与キャラ】の構図を[図7]にまとめる。



[図7] 【付与キャラ】の構図

[図7]のように、本論文では【付与キャラ】を対他的【付与キャラ】と対自的【付与キャラ】に分けられている。

以下では、第4章での第3次調査で観察された【付与キャラ】を具体的に見てみる。

#### 5.2.3.1. 対他的【付与キャラ】

本節では、他人にキャラクターを付ける対他的【付与キャラ】について見てみる。

(49) {G と Z が席を替わる。}

(中略)

06109MC : おかしいわ、最近、お休みの日は何してるんですか？

06110Z : 普通にサウナに行きます

06111MC : 100 回聞いた、100 回聞いた



(49)の談話は、ゲストのGとレギュラーメンバーであるZが席を替わった後の状況を描いた場面である。MCがゲストの席に座ったZに、「最近、お休みの日は何してるんですか?」という通常ゲストにするような質問をし、ゲストでないZをゲストのように扱っている。ゲストと席を替わったとして、キャラクタも同時に替わるわけではないが、ここで、MCがZにゲストのキャラクタを付与することによって、Zもゲストがしそうな答えをしている。このように、MCはZにゲストのキャラクタを付与する【付与キャラ】であり、付与の対象になっているのはZである。【付与キャラ】を表す役割語は「最近、お休みの日は何してるんですか?」である。ここでは、ゲストにしそうな質問をレギュラーメンバーにすることによって【付与キャラ】が成立するため、言葉自体には実質的な意味は持っていない。また、付与するキャラクタはその場にいる全員に共通して認識があるキャラクタである。即ち、その質問自体がゲストにする質問であることはその場にいる全員が分かっているということである。

次のデータを見てみる。

(50) 07022MC1：ええと、細長いごみ

07023D：なんですか

{Dが自分の足を叩く}

07024MC2：こわこわこわ

07025A：田中なんかね、ちょっと違うんですよ、女の子に苦手されてる芸人なんですよ

07026D：違うんですよ、こっちが苦手なんです。こっちが主人公です。

(50)の談話では、ゲストのAとDが、女の子が苦手である芸人として紹介された場面である。しかし、AはDのことを女の子が苦手な芸人ではなく、女の子から苦手になられている芸人だというキャラクタを付与している。Aの発話の前までは、Dが持つキャラクタとしては女の子が苦手な芸人であることだったが、Aの発話によって、Dが持つキャラクタが女の子から苦手になられている芸人に替わっているのである。このように、AはDにまったく違うキャラクタを付けているため、【付与キャラ】として立てられる。付与する側はAであり、付与の対象になっているのはDである。Dにとっては、自分の意思に関わらず、他人によってキャラクタの形成が行われている。ここで、【付与キャラ】として表れた役割語は下線部にある「女の子に苦手されてる芸人なんですよ」である。これも、AがDにキャラクタを付けるある種的手段であり、その言葉自体は実質的な意味は持っていない。例えば、「あの人は英語がペラペラだよ」というイメージを付けると、あの人が本当に英語がペラペラな人に見えるという場合のことである。

以上は、対他的【付与キャラ】について観察してきた。対他的【付与キャラ】は他人にキャラクタを付ける発話キャラクタであり、付与される側も必ずその場に存在する。付与する側は、その場で担当する役割に関係なく(例えば MC であったり、ゲストであったり)、誰でも付与する権利がある。

次節では、対自的【付与キャラ】について見ている。

### 5.2.3.2. 対自的【付与キャラ】

本節では、自分にキャラクタを付ける対自的【付与キャラ】について観察する。次のデータを見てみる。

- (51) 09084MC : だっていったでしょう？女優さんで、私が今田さんのファンなんです、  
という女優さんも、中には  
09085M : いや、聞いたことないです  
09086I : それはある、それはあるね、それほら、女優ってのはハンサムばかり  
見てるから、なかなかおらんわな  
09087F : 大丈夫、大丈夫  
09088I : 苦笑い、そりゃおらんで  
09089MC : 冗談です。冗談  
09090I : 大輔の知り合いはヒロイン級だから、俺のこと好きっていう女優さんて  
は、おらんわな

(51)では、女優さんの間で I(今田さん)のファンになっている人がいるかという MC の質問から始まっている。そこで、09085M では、ゲストの M が聞いたことがないと答えている。続いて、09086I では、「女優ってのはハンサムばかり見てるから、なかなかおらんわな」という発話で自分は女優の間で人気がないというイメージを付けている。また、09090I ではさらに「大輔の知り合いはヒロイン級だから、俺のこと好きっていう女優さんては、おらんわな」という発話で再び女優に人気がないというキャラクタを付けている。I は実際に、自分が女優の間で人気があるかどうかは分からないが、M の答で自分が人気がないのを感じ、M の具体的な話が出ていないにも関わらず、自分に女優の間で人気がないというキャラクタのイメージを付けている。ここで、付与する側は I であり、付与される側も I である。言わば、自分が自分にキャラクタを付ける【付与キャラ】である。役割語として現れたのは「女優ってのはハンサムばかり見てるから、なかなかおらんわな」と「大輔の知り合いはヒロイン級だから、俺のこと好きっていう女優さんては、おらんわな」であり、これも実質的な意味は持っていない。

本節では、上述の対自的【付与キャラ】について見てきた。次節では、【付与キャラ】の特徴を見てみる。

#### 5.2.3.3. 【付与キャラ】の特徴

本節では、【付与キャラ】にはどのような特徴を持っているかを見てみる。【付与キャラ】は他人や自分にキャラクタを付ける発話キャラクタであり、対他的【付与キャラ】と対自的【付与キャラ】に分けられる。対他的【付与キャラ】は、付与する側と付与される側が同じ場にいること、またその場で担う役割に関係なく、誰でも付与する権利がある。対自的【付与キャラ】は、自分が自分にキャラクタを付ける発話キャラクタであり、付与する側もされる側も同一人物である。また、対他的【付与キャラ】であっても、対自的【付与キャラ】であっても、現れた役割語には実質的な意味は持っていない。

#### 5.2.4. 談話における発話キャラクターの位置付け

本節では、談話という環境で表れた発話キャラクターが持つ傾向性をまとめる。

談話の言語レベルでは【自己主張】、【上演キャラ】、【付与キャラ】という発話キャラクターが検出された。【自己主張】は談話の発話権取得の際に現れた発話キャラクターであり、言語形式上では、主に一人称代名詞やその直後に付く副助詞「は」、「なんか」、「も」、また格助詞「が」によって表れている。これは、【自己主張】は一人称代名詞だけでなく、その直後に付く要素にも役割語の性質を持っていると考えられる。従って、役割語の範囲は今まで確認された単語の言語単位だけでなく、文節にも及んでいると言えるだろう。また、一人称代名詞の直後に付く対比の機能を持つ格助詞「が」及び取り立て機能の副助詞「は」、「なんか」、「も」は発話権取得を促進する機能を持たしている。【自己主張】はこのような発話権取得の際に表れ、運用面からは単語や文形式での反復行動にも【自己主張】が表れている。また、【自己主張】という発話キャラクターを本論文では、自分の属性や行動や意見を主張する発話キャラクターとして設定している。

次に、【上演キャラ】と【付与キャラ】は談話の流れ上に表れた発話キャラクターであり、かつ対他的と対自的発話キャラクターに分けられている。対他的【上演キャラ】は他人の上演であり、対自的【上演キャラ】は過去の自分の再演である。具体的に言うと、対他的【上演キャラ】はある状況や場面に応じる他人のキャラクターを演じる発話キャラクターであり、対自的【上演キャラ】は過去のある状況や場面に応じる自分のキャラクターの再演である。また、【付与キャラ】の中にも対他的【付与キャラ】と対自的【付与キャラ】に分けられ、各他人や自分に新たなイメージを付ける発話キャラクターである。また、付与する側と付与される側は同じ場にいることと、しかも2者が同一人の可能性もある。即ち、自ら他人にイメージを付けるか自分にイメージを付けるということである。【上演キャラ】と【付与キャラ】は【自己主張】のように、談話によって検出された発話キャラクターではあるが、談話の発話権取得の部分ではなく、談話の流れによって形成された発話キャラクターである。また、2者とも対自的と対他的に分けられている。対自的は自分に対することであり、対他的は他人に対する何かの行動を行われていることである。このような現象が起こるのは、談話の中で、自分と他人の関係を常に意識して、発話をするのではないかと考えられる。自分と他人はどのような関係であるか、その関係を保つためにはどのような発話が一番適切であるかという問題を常に考慮しているかもしれない。

以上、見てきた談話の言語レベルでは、上述のような【自己主張】、【上演キャラ】、【付与キャラ】という発話キャラクターが観察された。これら3つの発話キャラクターは談話特有な現象で表れ、その関連性を見してみる。【自己主張】は自分のことを主張する発話キャラクターであり、【上演キャラ】は他人や過去の自分を演じる発話キャラクターである。また、【付与キャラ】は他人や自分にキャラクターを付ける発話キャラクターである。自分のことを「主

張」したり、他人や過去の自分を「演じ」たり、他人や自分にキャラクタを「付け」たりする言語行動が上述の3つの発話キャラクタに見られている。言語行動を行っているということは、従来の研究で指摘された人間の属性から分類された発話キャラクタとは根本的に異なってくる。例えば、【博士】の発話キャラクタは、話し手が「博士」であることを表している。即ち、話し手が「博士」である属性を表している。しかし、【自己主張】や【上演キャラ】や【付与キャラ】は「～する」という言語行動を表す発話キャラクタである。前章では、人間の属性から分類された発話キャラクタを「静的なキャラクタ」と設定しているが、本章の言語行動が見られる発話キャラクタは少なくとも動的な性質を持っていると考えられる。従って、本論文では言語行動が見られる発話キャラクタのことを「動的なキャラクタ」として設定する。これは、従来の研究で指摘されなかった動的な性質を持つ「動的なキャラクタ」が発見されたということである。

定延利之(2011)でも、動的な性質について言及しているが、話題を変更することで話者が担う役割も違ってくるという現象があると主張し、これはキャラクタがある「役割」から別の「役割」に移動する動的な性質であり、キャラクタ自体は変えられないため、動的な性質を持っていないと述べている。キャラクタは1人に1つしかないものであり、変えられないという点については筆者も同じ考えである。しかし、キャラクタはいくつかの面も持ち、見る側としてそのキャラクタが違ってくる。例えば、仕事場の同僚の中では厳しいIさんが、家の中では優しいお父さんになったりする。これは、Iさんが周囲の環境によって自分の役を演じていると考えられ、従って相手によって、Iさんが表す様子や態度も違ってくる。当然、キャラクタは見る側にとってどのように認識するかの問題であり、さまざまな人からさまざまなキャラクタとして認識されるが、認識されたキャラクタの集合体がIさんになるわけである。言わば、キャラクタはいくつかの面があり、どの面にしてもこのキャラクタの一部分の反映であると考えられる。また、キャラクタ同士の関係を見ると、【自己主張】、【上演キャラ】及び【付与キャラ】という発話キャラクタの表出があることによって、自己のことを主張したり、他のキャラクタの上演をしたり、他のキャラクタや自分にイメージを付けたりする行動が見られ、一時的で可変的であるがゆえに動的であると考えられるのである。

## 6. まとめ

本章では、第5章で分析された発話キャラクターの表出とキャラクターの弁別性についてのまとめを行う。

本論文では、語彙と談話の単位で表れた発話キャラクターの特徴及びキャラクターを作成していく内にどのような弁別が行われているかといった問題を扱っている。

まず、語彙レベルで表れた発話キャラクターに当たっては、人間の属性と見られるカテゴリーの中からの表出が検出されている。具体的には、【男性】、【女性】、【中性】、【-1 世代】、【0 世代】、【+1 世代】、【+2 世代】、【お金持ち】、【田舎者】、【中国人】、【音楽関連者】、【忍者】、【医療関連者】、【博士】、【悪い人】、【ロボット】、【動物】、【もの】という発話キャラクターが表れている。また、これらの発話キャラクターが属するカテゴリーは「性別」、「世代」、「身分」、「職業」、「性格」、「非人間」である。言わば、役割語を発する人は男性であるか女性であるか、若者であるか年寄りであるかという話者の属性からの見分けをしている。従って、本論文ではこのような人間の属性から担う発話キャラクターのことを「静的なキャラクター」としている。また、「静的なキャラクター」については従来の役割語・発話キャラクターの研究でも扱っているものである。

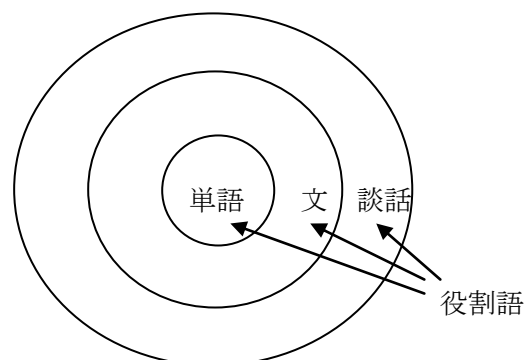
次に、談話レベルでは【自己主張】、【上演キャラ】、【付与キャラ】という発話キャラクターが検出された。【自己主張】は談話の発話権取得の際に現れた発話キャラクターであり、主に一人称代名詞やその直後に付く対比の機能を持つ格助詞や取り立て機能を持つ副助詞で発話権を取っている。また、運用面としては単語や文の反復行動でも発話権取得をしている。【自己主張】は自分の属性や行動や意見を主張する発話キャラクターであり、キャラクターの1つの特性を表している。また、【上演キャラ】と【付与キャラ】は談話の流れ上に表れた発話キャラクターであり、【上演キャラ】は他人と過去の自分を演じる発話キャラクターであり、ある状況に応じる他人や過去のある状況に応じる自分の上演である。【付与キャラ】は他人や自分に新たなイメージを付ける発話キャラクターである。これらの発話キャラクターは、自分のことを主張したり、他人や過去の自分を演じたり、他人や自分にキャラクターを付けたりする言語行動が見られ、動的な性質を持っていると考えられる。このような性質を持つ発話キャラクターの表出は、キャラクター自体が動的な性質を持っているとも言えるだろう。従って、本論文では動的な性質を持つキャラクターのことを「動的なキャラクター」と呼んでいる。

最後に、キャラクターの弁別性については、被験者がキャラクターを作成していく内に、キャラクターにどのような弁別を行っているかということである。本論文の第1次調査では、被験者に物語を想像させ、その中にキャラクターを登場させるように指示し、得られたデータを分析したものである。その結果、日本語母語話者においては、自分の性別と年代と職業と同じキャラクターを最初に作成しているのが分かった。また、キャラクターの作成後半に

なると、弁別性の高いキャラクタを作成し、前半に出ているキャラクタとの重なりを避けるといった操作が見出された。また、家族関係が一番優先して現れ、最も重要視されていることも解明できた。

本論文では、「静的なキャラクタ」と「動的なキャラクタ」という発話キャラクタについて記述している。「静的なキャラクタ」は人間の属性のカテゴリから分類された発話キャラクタであり、【博士】、【若者】、【悪い人】等がある。これは従来の研究でも言及されていた発話キャラクタの枠組みの中で見出されるものである。従来の研究では、この言葉を発話する人は博士であるか、若者であるか、悪人であるか等、人が持つ属性のカテゴリから分類されている。また、このような「静的なキャラクタ」として表出された役割語は語彙の言語単位で表れる。本論文では、このような静的な性質を持つキャラクタとは異なる、動的な性質を持つ「動的なキャラクタ」が観察された。「動的なキャラクタ」とは言語行動が見られる発話キャラクタであり、【自己主張】、【上演キャラ】、【付与キャラ】がある。自分のことを主張する発話キャラクタや他人や過去の自分を演じる発話キャラクタ、また他人や自分にイメージを付ける発話キャラクタになっている。このような「動的なキャラクタ」は従来の研究で扱っていない談話レベルでの発話キャラクタであり、談話という特有な現象で表れた発話キャラクタが観察できたのである。本論文を通して、談話の単位でも役割語の表出があることが確定できた。

以上のことから、役割語は語彙レベルと談話レベルに表れることが判明した。語彙レベルでは単語や句あるいは文からの役割語の表出があり、談話レベルでも役割語の表出があった。これは役割語が現れる言語単位としては、語彙レベルから談話レベルまでさまざまな段階があることを示している。言わば、意味を持っている形式の最小単位である単語レベルから、最大の談話レベルにまで役割語の表出があるということである。図で表すと以下の通りである。



[図 6] 役割語が表れる言語単位

[図 6]で示したように、役割語は言葉の意味を持っている最小単位である単語、それから文、最大の言語単位である談話のそれぞれに表れている。そうすると、単語より小さい単位では役割語が表れないのか。例えば、形態素「お」を見てみると、単語の前に常に「お」を付ける人が見られる。「お椅子」、「お大根」、「おソース」等のような言葉づかいをする人がいる。普段、「お」を付けなくてもよい単語に「お」を付けたりする。このような、単語の前に常に「お」を付ける人に対しては、その人のイメージが浮かんでくる。このような現象も発話キャラクタと結び付いていると考えられ、「お」は役割語としてもその働きをされると考えられる。「お」を付けることによって、その人のイメージが強化してきたとも言える。また、音声・音韻的な言語単位を見てみると、単音、音節、拍(モーラ)、フット、アクセント、イントネーション、プロミネンスといったものがある。その中で、イントネーションを常に高くするか、発話の最後の部分のイントネーションを高くするかといった人もよく見かける。これらの表れで、その人のイメージがより明確に確定できる。従って、音声・音韻的な言語単位でも発話キャラクタの表れがあると言えるだろう。また、運用面としては、声質、声の高さ、ポーズ、速度等があり、声質で人を区別したり、ポーズを短く入れるか長く入れるかということで人を区別できるのである。これらも、一種の発話キャラクタと結び付いていると考えられ、運用面としての言語形式でも役割語に成り得る。このように、役割語がこれらの言語単位に表れるということは、我々がしゃべるすべての言葉に役割語の存在が認められるということである。従来の研究では、役割語の語彙レベルでの表出があることはすでに研究されていた。本論文では、役割語は語彙レベルだけでなく、談話レベルにも表出することが証明されている。

前節でも述べたように、人間が持つキャラクタは多面性があり、その一つの面を代表として発話キャラクタが表出する。例えば、若い男性の場合、この男性は「若者」と「男性」という自分の属性を言葉で表す場合がある。単に、「若者」という属性を表す場合、またこの2つの属性を同時に表す場合がある。言わば、この男性は「若者」というキャラクタを表したい場合は若者言葉という役割語で、「男性」というキャラクタを表したい場合は男性の言葉という役割語を使用している。役割語と発話キャラクタは話者が調整している。即ち、「付け」たい発話キャラクタを付けたり、「外し」たい発話キャラクタを外したりする。現実社会での人間は、属性をたくさん持っており、場面や状況、相手によって自分のキャラクタを表現する。言わば、自分の属性を表す「静的なキャラクタ」を表出したり、言語行動を行う「動的なキャラクタ」を表出したりする。

以上のことから分かるように、語彙レベルと談話レベルに表れる役割語は、我々がしゃべる言葉のすべてに存在する。また、我々は場面や状況、相手によって常に自分が表現したい発話キャラクタを切り替えながら談話を行っている。



## 7. 問題点・今後の課題

本章では、本論文の作成に当たって、表れた問題点及び今後の課題について述べる。

本論文では、「静的なキャラクタ」及び「動的なキャラクタ」が論じられている。従来の研究で表れた発話キャラクタの種類は人の属性から分類されてきたものである。本論文では「静的なキャラクタ」として名付けている。一方、本論文で検出された発話キャラクタは談話レベルでの役割語の観察であり、言語行動が見られるものになっており、「動的なキャラクタ」として名付けている。このような「静的なキャラクタ」と「動的なキャラクタ」が名付けられているのは、従来の研究ですでに検出された発話キャラクタと本研究で検出された発話キャラクタはどのように捉えるかといった問題に注目している。即ち、従来の研究で検出された発話キャラクタと本論文で検出された発話キャラクタはどのようなものになっているか、両者はどのような関係であるのか、同じものとして捉えられるかといった問題である。

ここで、従来の研究で表れた発話キャラクタを具体的に見てみると、「博士語」をしゃべる【博士】や「お嬢様言葉」をしゃべる【お嬢様】や「侍の言葉」をしゃべる【侍】等のような役割語及び発話キャラクタが挙げられる。このような発話キャラクタはいずれも「人間の属性」を表したものであり、簡単に変えられないものであるとの認識がある。このような発話キャラクタを本論文では「静的なキャラクタ」として設定している。人間の「属性」というものは、人に付いているものであり、常識上では移動が不可能なものである。従って、このような人間の属性から分類されてきた発話キャラクタは移動ができない「静的な性質」を持つ「静的なキャラクタ」として扱っている。また、「博士語」や「お嬢様言葉」や「侍の言葉」のような役割語は語彙レベルでの観察であり、普段の日常生活では、発しない。これらは漫画や小説等に存在する。言わば、仮想的な世界に存在する。

そうすると、我々がしゃべる言葉の中にはどのような役割語が存在するのか。前節で説明したように、役割語は単語や句、文に存在し、形態素や音声・音韻的な単位、あるいは声質・声の高さ・ポーズ・速度等に存在する可能性がある。これらは現実社会でも表れ、我々がしゃべる言葉のすべてに役割語が存在する可能性がある。

従来の研究で表れた「博士語」をしゃべる【博士】等の発話キャラクタは我々が、漫画や小説等の中で想像した人物であり、仮に言葉をしゃべらせている。それが、長年に渡って、多くの人々に認識され、現在では「博士」らしい言葉が形成されていると考えられる。言わば、「博士語」等を一定の形にしている。このような役割語が仮想的な世界に存在するのは、従来の研究でも指摘されたところであり、本論文で扱っているのは現実社会で表れた役割語及び発話キャラクタとは同じレベルの問題ではないと考えられる。従って、仮想

的な世界での役割語及び発話キャラクタをひとまず置いておく。

「静的なキャラクタ」は仮想的な世界だけでなく、現実社会にも存在する。例えば、女性である A さんが女性の言葉を発すると自分のキャラクタを表す。「女性語」は社会言語学の中でも扱っているカテゴリーではあるが、役割語の定義(p. 1)からすると役割語に当たるものでもあり、本論文では役割語として扱う。また、「女性語」を発することで【女性】という発話キャラクタを表し、現実社会での女性に使われている言葉でもある。このように、「静的なキャラクタ」は仮想的な世界と現実社会ともに存在する。

一方、本論文では現実社会での談話を観察データとして、役割語及び発話キャラクタの調査を行っている。その結果、談話の言語レベルでは【自己主張】や【上演キャラ】や【付与キャラ】のような言語行動が見られる発話キャラクタが検出され、「動的なキャラクタ」として扱っている。このような「動的なキャラクタ」に名付けられているのは、従来の発話キャラクタの中で見られない性質の「動的な性質」を持つためである。その例として、【自己主張】では「自分のことを主張する」こと、【上演キャラ】では「他人のキャラクタを演じる」こと、【付与キャラ】では「他人や自己にイメージを付ける」こと等の言語行動が行われている。このような言語行動が見られる発話キャラクタは談話を観察してから表れた性質であり、他の言語レベルでは未だ検出されていない。

これまでの「静的なキャラクタ」と「動的なキャラクタ」を見てみると、「静的なキャラクタ」は現実社会と仮想的な世界ともに存在する。「動的なキャラクタ」は現実社会にしか存在しない。仮想的な世界と現実社会、その連続性についての構造はどうなっているのかはまだ明らかになっていない。

また、「静的なキャラクタ」は語彙レベルでの観察であり、「動的なキャラクタ」は談話レベルでの観察である。この両者は、表れる言語の単位と表出される環境が異なるため、同レベルで論じることは不可能であると考えられる。

語彙レベルで表れる役割語、例えば「女性語」であれば「あたし」という語彙は女性という属性（発話キャラクタ）と強く結びついているが、談話レベルで表れる役割語は特定の発話キャラクタと強く結びついてはいない。例えば、【上演キャラ】は他人のキャラクタ、言わば他人の口調や話し方を演じる発話キャラクタであり、表れた役割語自体は恣意的なものである。即ち、今回現れた役割語は、たまたま現れただけであって、別の役割語が現れても全く問題はない。従って、同じ役割語であっても、様々な発話キャラクタと結びつく可能性があると考えられる。

現在の役割語及び発話キャラクタの研究は未だ少なく、初段階に留まっていると言えるだろう。語彙レベルであれば、語彙の単位で表れる役割語及び発話キャラクタを明確にす

るのが第一の作業であると考えられる。また、談話レベルもこれと同様で、その領域の中で表れる役割語及び発話キャラクタをまず明らかにすることが重要であろう。従って、異なる言語単位で表れた発話キャラクタを同レベルで論じるのも、現時点では適切ではないと考えられ、検討すべきところがたくさん存在する。ただ、仮想世界と現実世界は、本論文でも論じたように、同じような発話キャラクタが存在しており、それぞれ独立した世界と考えるのではなく、何らかの連続性があるものと仮定できる。この連続性がどのような仕組みになっているか、またこの連続性が何を意味するのか、これらの問題は発話キャラクタの形成にも関わる問題であり、今後の重要な課題となっていくであろう。

## 8. おわりに

本論文では、役割語・発話キャラクタ・キャラクタの研究を語彙の面と談話面から分析を行っている。また、キャラクタを作成する際に、どのような弁別を行っているのかも見てきた。その結果、表出された発話キャラクタから、従来の研究で指摘されなかった動的な性質を持つ「動的なキャラクタ」が見出された。これは、この分野での新たな発見とも言えるだろう。また、談話のレベルでは本論文で検出されなかった発話キャラクタの表出がある可能性があり、今後の研究に繋がると考えられる。

また、キャラクタの弁別性においても、人間がキャラクタを作成している際に、自分と同じ属性を持つキャラクタを最初に作成するということが明らかになった。また、キャラクタを作成するとするほど、弁別性の高いキャラクタを作るということも明らかになっている。

キャラクタの表出に当たって、話し手がどのような状況で話したのか、どのような心理で話したのか、周囲の環境はどのようなのかという社会心理学の側面からもキャラクタ研究の可能性が考えられる。また、キャラクタを表す人の言葉の仕組みやその言葉を受ける人のこころの働きはどのようになっているか、という認知言語学の側面からもキャラクタ研究の可能性はある。従って、本論文をはじめ、さまざまな分野からの役割語・発話キャラクタ・キャラクタの研究が期待される。

## 参考文献

- 金田純平・澤田浩子・定延利之(2008)「コミュニケーション・文法とキャラクターの関わり」  
『言語』37-1 大修館書店 pp. 52-59
- 金水敏(2003)『ヴァーチャル日本語 役割語の謎』岩波書店
- 金水敏編(2007)『役割語研究の地平』くろしお出版
- 金水敏編(2011)『役割語研究の展開』くろしお出版
- 定延利之(2005)『ささやく恋人、りきむりポーター 一口の中の文化』岩波書店
- 定延利之(2006)「ことばと発話キャラクター」『文学』第七巻 第六号 岩波書店 pp. 117-129
- 定延利之(2008)『煩惱の文法』ちくま書房
- 定延利之(2007)「キャラ助詞が現れる環境」『役割語研究の地平』金水敏編 くろしお出版  
pp. 40-47
- 定延利之(2011)『日本語社会 のぞきキャラくり』三省堂
- 定延利之・田窪行則 (1995) 「談話における心的操作モニター機構—心的操作標識「ええ」と「あの(一)」—」『言語研究』108 pp. 74-93
- 定延利之・張麗娜(2007)「日本語・中国語におけるキャラ語尾の観察」『日中対照言語学  
研究論文集：中国語からみた日本語の特徴 日本語からみた中国語の特徴』  
彭飛編 和泉書院
- 田窪行則ほか編(1999)『談話と文脈』岩波書店
- 日本語音声コミュニケーション教育研究会編(2008)ワークショップ「人物像と日本語教育」  
配布資料(7月28日 於神戸大学)
- 橋内武(1999)『ディスコース』くろしお出版
- メイナード・泉子・K(2005)『談話表現』くろしお出版
- 山口治彦(2011)「役割語のエコロジー —他人キャラとコンテキストの関係—」『役割語研  
究の発展』くろしお出版 pp. 27-47
- 吉本優子(2004)「日本語の談話における発話権交替時の発話機能と構造について」『京都精  
華大学紀要』27号 pp. 74-84
- 吉本優子(2006)「発話権交替時における発話機能について」『京都精華大学紀要』31号  
pp. 66-74
- 李 熙穎(2010)「キャラクター生成における社会言語学的弁別性の研究」 修士論文

## 謝辞

実験の実施に際しては、山口大学教育学部文芸芸能コースの 3、4 年の皆様から、始終積極的に協力を頂き、心より感謝致します。

本論文を進めるにあたり、指導教員の有元光彦先生から、丁寧かつ熱心なご指導を賜りました。心より感謝の意を表します。また、副指導教員の森下徹先生、村上林造先生との議論を通じて多くの知識や示唆を頂き、ここに深謝致します。また、研究の初期の段階では、神戸大学の定延利之先生から、的確な御助言を頂きました。それによって、本論文の完成度が高まったことは言うまでもありません。本当にありがとうございました。

最後に、激励をくださった家族、友人、同僚、後輩達に感謝の意を表します。

データ







⑨ セバスチャン・ファン・ダークトリアム

宇の友人、いつか  
は家の戸棚の中に  
いる。  
宇が世界を救う  
時に武器として  
活躍した。  
「人なまめで多バ」  
に及ぶ愛煙家



本会に出せば  
邪智建てくら  
いのセリは  
ふたせる

「のりは味付がないな...」  
「俺はいつでも正義の味  
方だ(世)」

⑩ 中国 武

翼の父  
有名な  
貴族  
東國の身  
が、様々  
なが使用  
日本名に改名



自分の資本使の  
軍隊を構えて  
夫が遠藤宇に  
ふたされた。  
自分が一番偉い  
思っている  
「I am  
good boy」

⑪ キャサリン

翼の母  
船は日本名  
は嫌だ、たの  
父前に変えてい  
家柄で手取、ア  
昼のワイドショー  
で「キャリ・アイ」  
確しやにしている

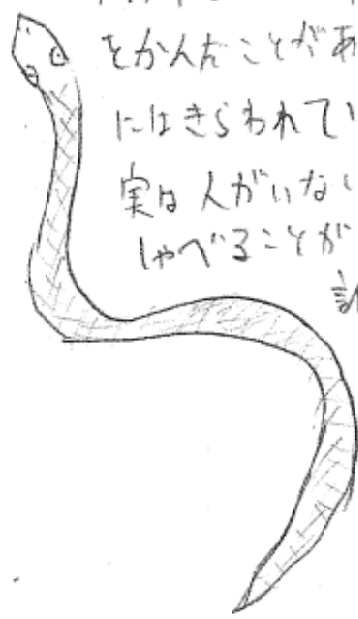


家では、おの  
りタード

「oh!! ミステリ  
アスカーン」

⑫ ボタンコ

中国家で飼われていた、70  
アタロコ、一度キャサリン  
をかんだことがあり、キャサリン  
にはきさわれていた。  
実は人がいないときは  
しゃべることができるか



誰も気づかない  
セブチは  
友達

「れ... アタロコ  
が、イ、か  
アベタイ」

⑬ オリバー

中國家に働く使用人  
元軍人で武の下で働いていたことから  
使用人になった。

そのま家の  
キャサリンの趣味  
と相性が  
ない。少



使用人になった。  
「いつかランニング  
はくことができ  
たらいいな」

「この木コリ  
でもか!!」

「木コリよ、どうして  
かいい。この木コリでもか!!」

⑭ ジャン・バウバ・ゴッホ

中國家の使用人で一番偉い人

しかし最近  
やとめた  
ので軍隊  
で持っていた  
ことでは  
知らない。  
とても優しい。  
オリバーが少  
き。



キャサリンに  
あんな相手は  
ない。特別に  
スーツでも  
働ける。

「そうじはほう  
きか基本です。  
「そうじをする  
心もみか  
かえる物です。」

⑮ 南部 一哲

京子の父  
父子家族で  
若い時に妻を  
なくす。貝村  
ほどやさしくなく  
元貞固で厳しい  
父。



料理は饂飩  
ではなく、  
よくかきま  
つくる

「バッキヤコ〜!!」  
「(2)は間違、た  
〜が大嫌(2)」

⑯ 大前田 利明

木野の父。  
とてもお  
なサリマン  
ロぐせは  
剛直に「さ  
利を尊重し



いつも気づかり  
て心がける  
普段はあり  
怒らぬが  
人の悪口には  
敏感。

「常に周りに意識  
がさい」  
「僕は何の時でも  
周りを尊重するよ」



②1 竹内 勉 博士

ロボ工学  
第一人者。いつ  
かサイボーグ作  
りたい。でも、  
研究対象が見  
かない。(か  
別に見つから  
ないか、  
機会があれば  
程度に考えている



「鉄いじめる」  
僕に鉄が大好き  
なのさ。君は金か  
3か11 鉄のさ?

②2 サイボーグ 勇

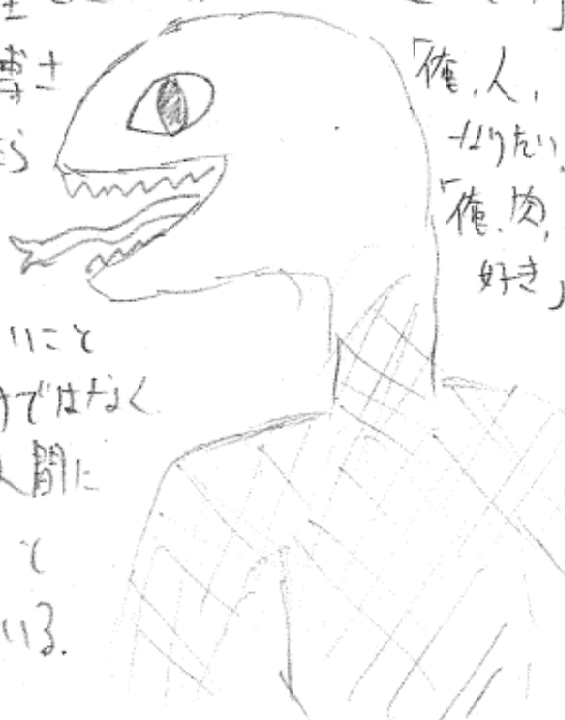
遠藤 勇が  
交通事故に  
あり、偶然  
そこにいた  
竹内博士  
にサイボーグ  
に改造され  
た。加  
通常の1.2倍



と、おたがあ  
り変わらないの  
でどういふ  
ない。普通の  
学校に行て  
いる。  
「マジ肩汁」  
「元か、これ  
普通いふし  
マジ意、王  
おかん」

②3 X-X人D

トカゲ型改造生物  
モーター博士  
とよ作  
れた。  
別に悪いこと  
をやるわけではなく  
いつか人間に  
なりたいと  
願っている。



「友達ほい」  
「俺、人、  
たがたい」  
「俺、肉、  
好き」

②4 爆弾

大量生産された 爆弾人間  
モーター博士が 何となく使った  
兵器 導火線  
9長さによるが  
寿命は  
たいたり  
2分程度



「雨降れ!!」  
「俺は死にたい  
かいよ!」  
「大雨雨  
降ってほ

②⑤ 中国翼 (改修物)

モーガン博士

に改修された

いまいか改修された

が本人は

羽が

生えて

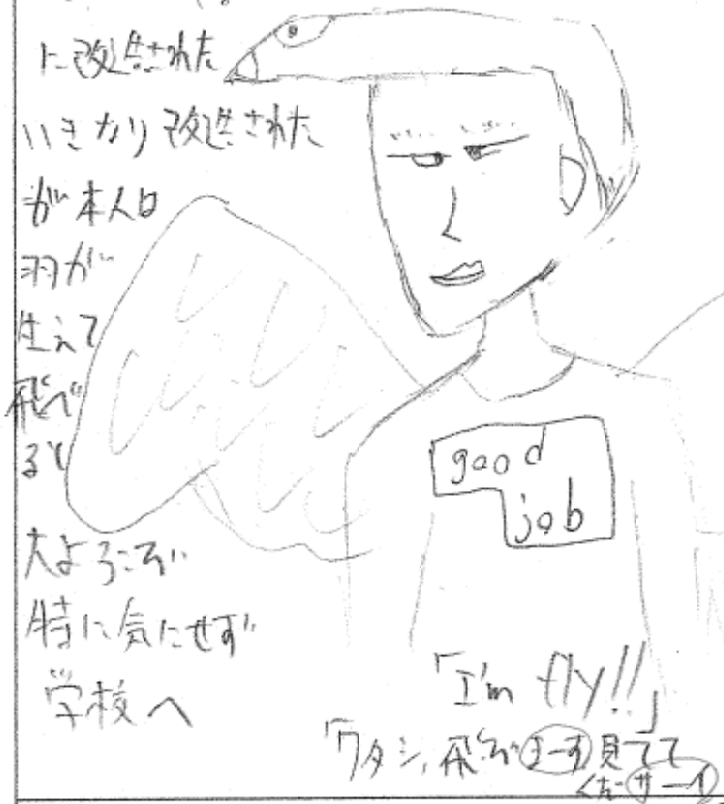
飛べ

るよ

大よそに

特に会にせよ

学校へ



「I'm fly!!」

「ワタシ、飛べない(笑)見てて(笑)」

②⑥ 戦闘員

モーガン博士の戦闘員毎日

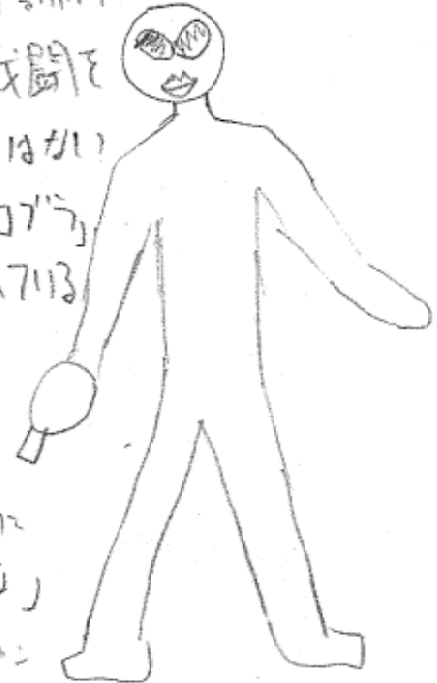
週四回訓練を(している)

実際に戦闘を

したことはない

スペース・ジョー

にあかたはいる



「俺のしるし  
立つた」

「俺のサウカン  
が火をくせ」

②⑦ 上級戦闘員

戦闘員のエリート

だけかたは

よかできる。

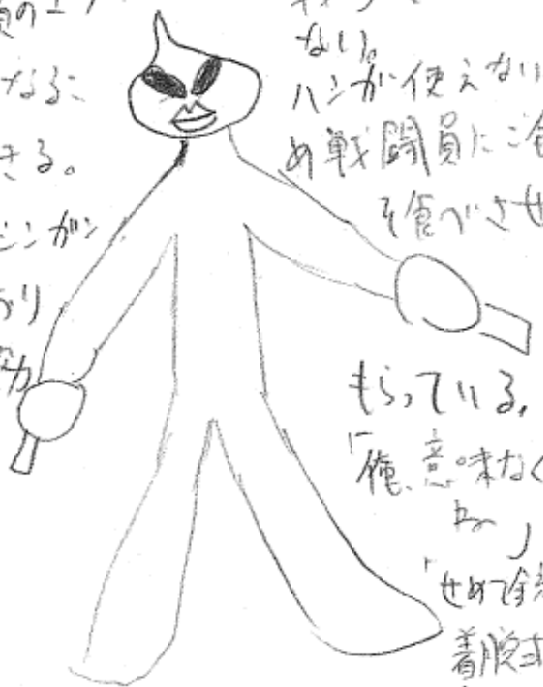
両手がマシン

にかつあり

高い攻撃力

をもっている

が。



戦闘員にはほやいと

ない。

ハンが使えるいた

め戦闘員に二回

を撃たせて

もっている。

「俺、意味なく

か」

「せめては

着脱式

したらか

よかいい

②⑧ 公太郎

竹内博士

によりて作られた

ロボット、博士

の財をやり

ている。ロボットの

のくせに、

世間が

が大好き

よく博士と

ドラマの語り

ている

「月が

はじまりだよ」



「博士、セテオ

の予約(笑)

くたあ

ワタシ、今日

夜勤かた

だよ」

②⑨ 大泉 洋介

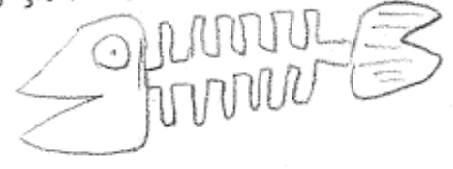
超能力が  
使えるぞ  
の中学生  
いさいさか人  
からって遊んで  
いさか。そこで  
ヒドい。いはい  
はい。



「俺がこれ  
できるよ」  
「みんな、俺は  
717=115.  
アノお  
こって  
ヤサシ」

③⑩ 魚マン

モーター博士が食べた魚を何らかく  
改造生物にしてつった。  
本人は、安かたに死にたいと思、ていさか  
自分で  
じょうぶに  
なく、常に落しこんでいさ



「頼む... 俺を殺してくれ」

31 初ホムト三世

「私の名前が初ホムト三世。昔の末っ子だ。さあ、しゃもじを持って参れ」

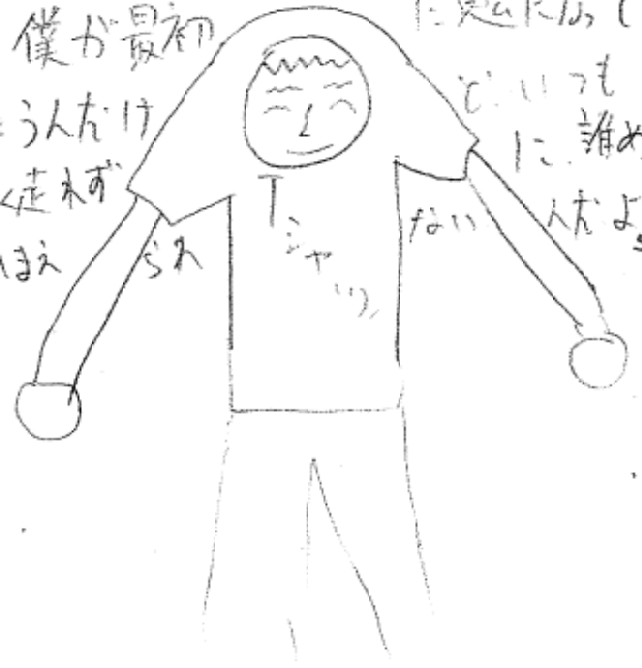
「私にかか株も思いのハッハッハッ」



おは、貴族運用、おたよ。

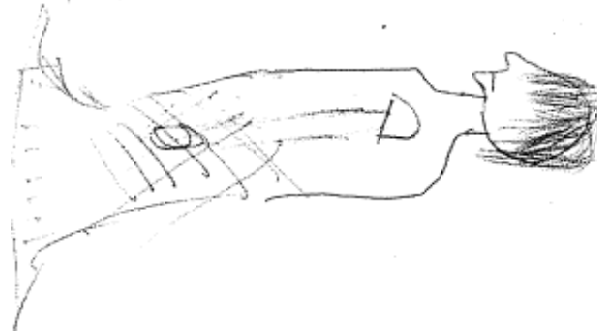
32 大空豊

「僕はいつでも元気一杯。今日は人なご鬼ごっこをするんだ。なぜかいつも僕が最初ほう人なけほく速くつかまされたい。誰かよ。」



33 カカチ君

「...俺は人鬼じゃなく、いつのまにか博士に改造されたわけなんだ。呼吸しない。肺呼吸だ。ええな人で無いよ。」



「球、前対左の毒球だ...」

34 空戒

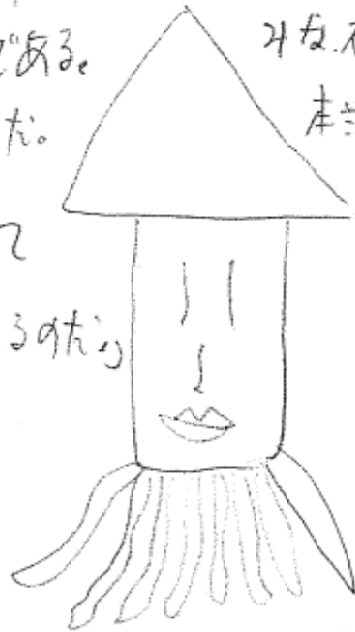
「私の法力は千人力だの上。で人が妖怪もいちごは妖怪だのか分がSto>てよ。最近改造生物の用、5+> (中)」





35 神様

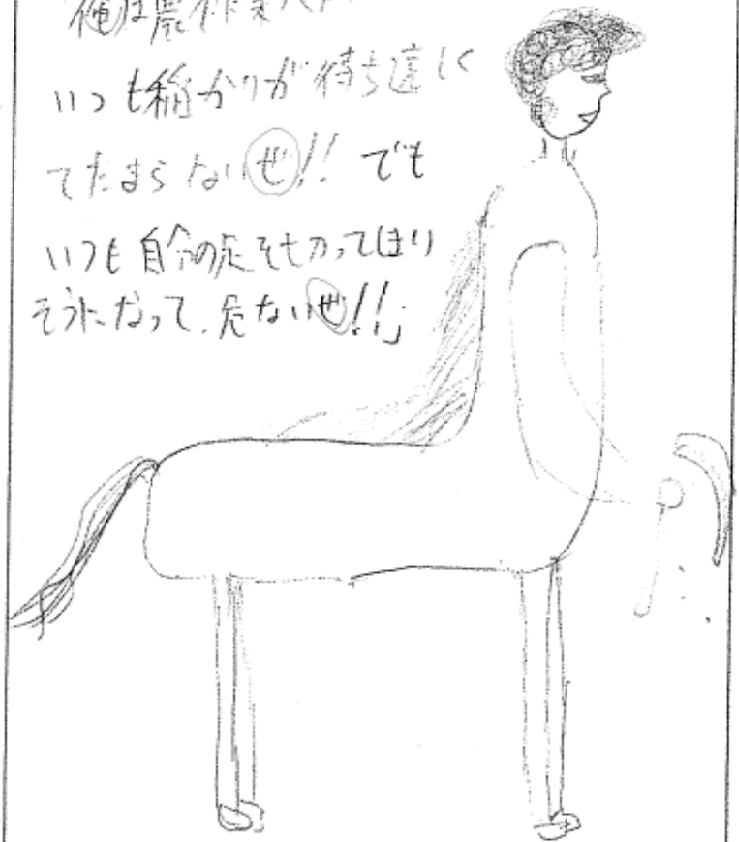
「私は神だ。世界の生物を作ったのは我である。お前の神の姿を誤解してあるのだ。底で全て見守っているのだ。」



また、神の姿を誤解  
本当は我は海の  
の生物を

36 ケンタロウ

「俺は農作業大好きケンタロウだ。11の稲刈りが待ち遠しくてたまらないぜ!! でもいつか自分の足を踏んでほりそと出して、危ないぜ!!」



37 ミノタロウ

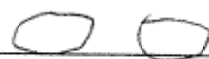
「俺はミノタロウ。ケンタロウ君のお手帳に書いてある人だ。ケンタロウ君が刈った稲を俺はここから食べて米を炊いて精米機でいけない。僕は人間じゃない人だ。」



のへい人だよ。  
出す人だ。まふ人間  
やつさ。あ。

38 満田透

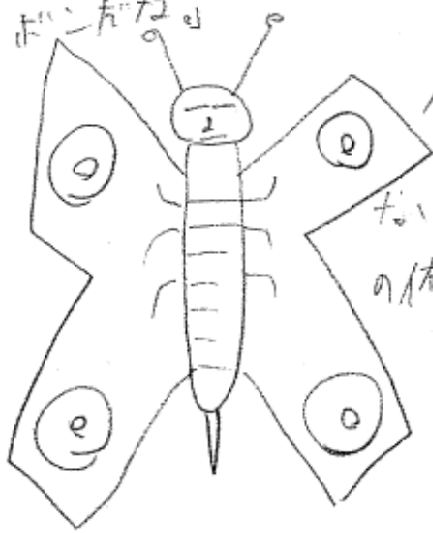
「知らない人に話しかけても人な無視可  
る人だ。でも友達はずかしく  
大丈夫かな。犯罪になるよ  
かこは  
「おいよ。  
実際はゴジラが  
こいつと目撃した。」



39 ハニー

「蜂と蝶のミックスだ、俺はいつかハニー  
 なんて言った方がいいかないせ。男は未  
 S. バーボンかな。」

俺はいつ  
 て必要  
 一匹狼

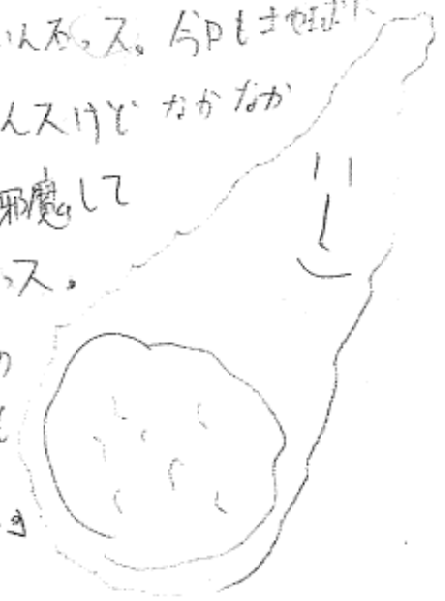


仲間の人  
 だいいせ。  
 の俺はいつか

ハードボイルドかな。」

40 流星

心も、いんちき。今Pも地球に  
 当たりたい人スけど、かかたか  
 重かたか邪魔して  
 迂回しかかいた。  
 まま次の  
 機会にでも  
 がんばる、ス。」



01 <早乙女 知彦> 男



お金持  
学生  
学校に  
ひきこもる。

お前は女頼だ!!と  
父親に言われたのと兄の  
コンプレックスが原因で家出をしたんだ。  
木以外の人間は皆死ぬ。

02 <信濃 絹子> 女  
しなの きぬこ



家が貧乏な学校に住めはいいじゃない、  
早乙女くんのごとは別に気があつたけどもなんでも  
なにかとお金持なら使えてらたあ。

03 <トシト 中島> 男



オシは不良  
の木ノ子だ  
金持の木ノ子  
とか絶好のカリだ  
で学校退学に  
なるの娘ながら  
裏でこころする  
んだぜ。

04 <ホヤ> 男



ケラヌキ  
栗友

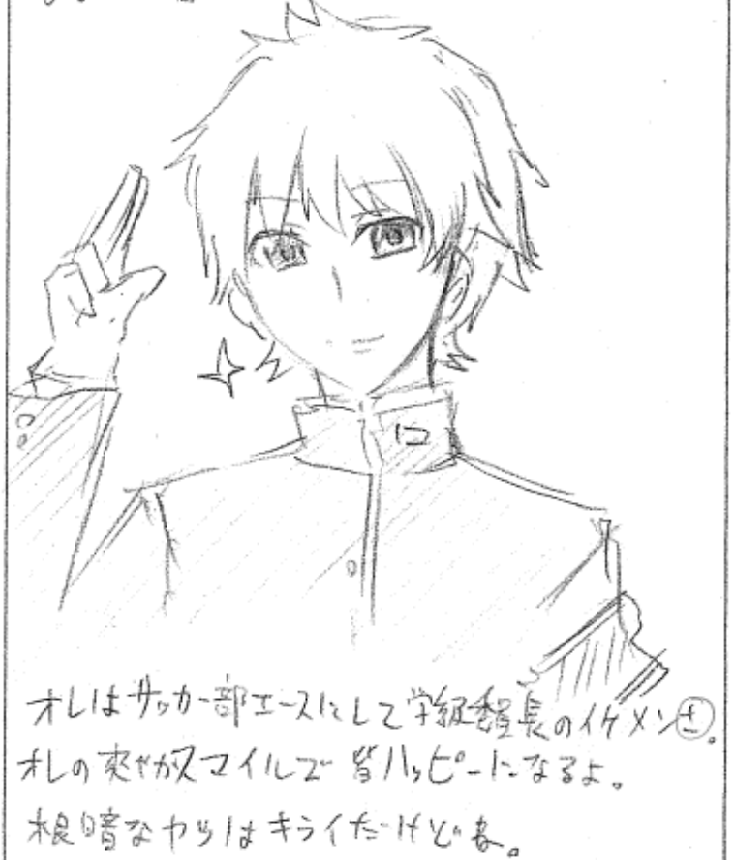
いや、オシは女、"けらなく栗友"だぜ。  
\*人間じゃ

05 <朝丘志摩> 女



…学校に行くと嫌なりの今日も休みです。

06 <菅藤 来太> 男



オレはサッカ-部エースにして学級委員長のイケメン①。  
私の来々が又マイルで皆ハピ-トなるよ。  
根暗なやつはキライケだわ。

07 <伊集院 宗次郎> 男



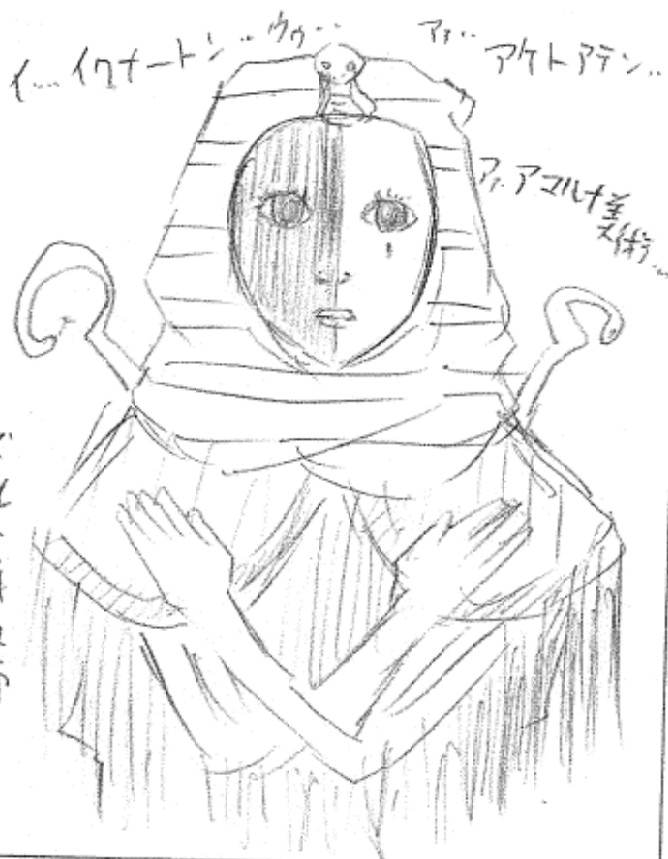
今期の委員長の座をとるが、その時、僕の  
生命は終わった。家に帰りたい。

08 <大門 ショウ> 男



早乙女、オレと柔道をやろ。  
お家に帰る部

09 < 邪悪アメンホテプ > ?



※社会科教師

10 < ボンバーメーカー > 男



※音楽教師

ミーティングは臭い金棒なのよ☆  
 チョクラッタクラッタエクラッタジョンホウ☆

11 < ドットマンX > 男



※異次元教師

ハッパオオオオオ - センセツ...  
 センセツセヨ...!!

12 < マッキントッシュイングリッシュ > 男



噂の  
 外国人  
 留学生

... This is a pen... nn - Hi!! oh. Yes. Yes.  
 I am upen... In the tennis!! choco-late.  
 What is, I am; Yes, oh Yes, no, november-?  
 ... Yes, Yes, oh Yes.



17 <松田:原吾郎> 男

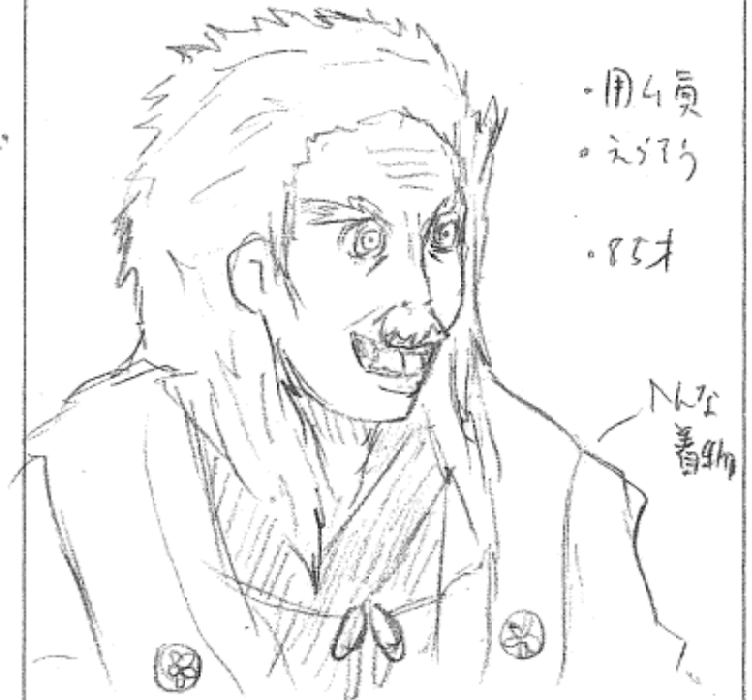


・用員  
・あいつは  
がえしてこた

・80才

おしは...ゴミを...女、おはようさん...

18 <小野田重臣> 男  
いげみ

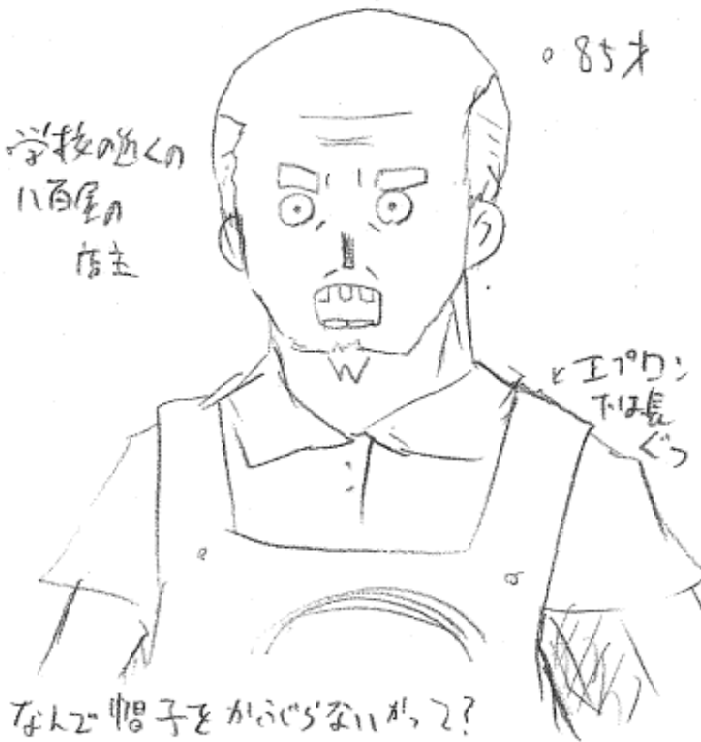


・用員  
・えび  
・85才

トコ  
着物

カハ...最近の悪いモンは、とらんのか...  
あ、ゴミじゃなれが。ひら、ておら。カハ...

19 <八幡八吉> 男  
やまた はちきち



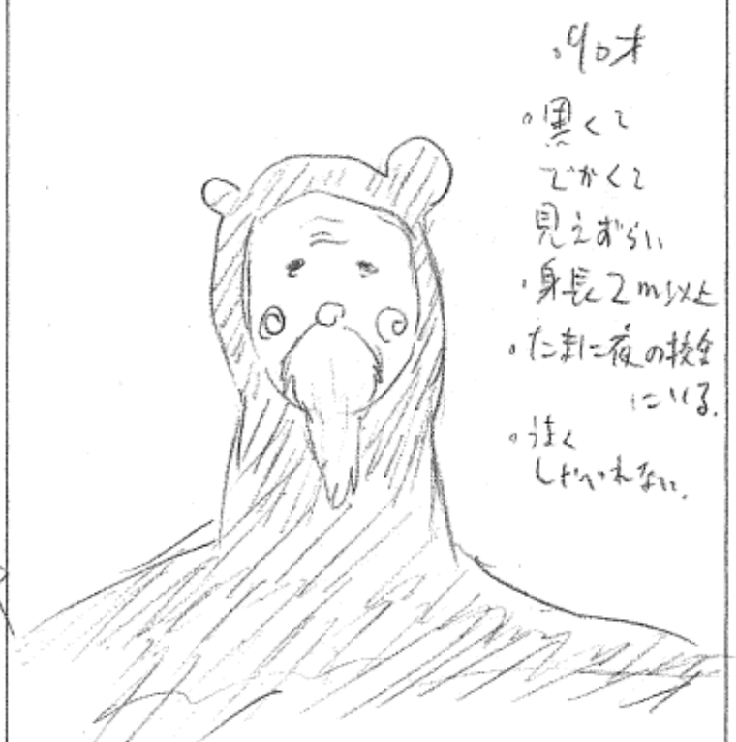
・85才

学校の近くの  
八百屋の  
店主

・エプロン  
下は長  
ぐつ

なんで帽子をかぶらないの？  
それか、ハシカぬいせんで、ハシカぬいせんで、  
俺にかみハシカぬいせんで、俺にかみハシカぬいせんで...

20 <今田国男> 男  
いまた くにたけ



・90才

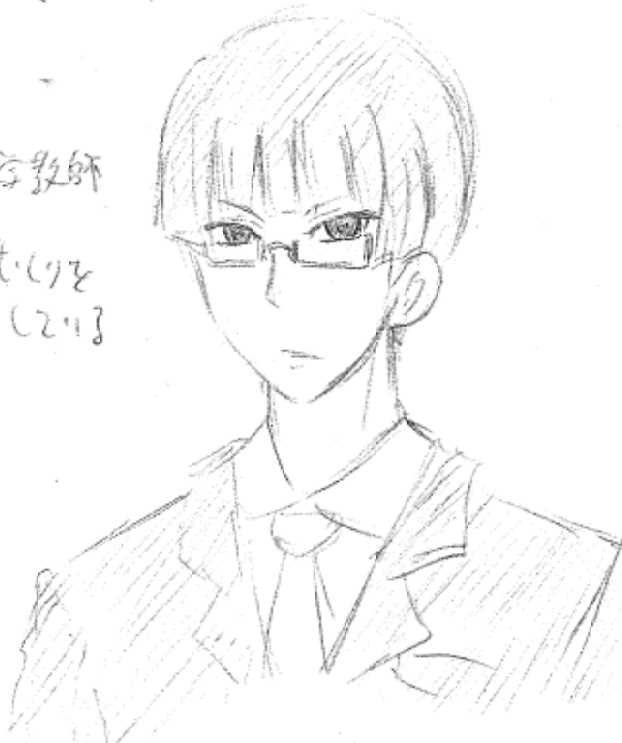
・黒く  
でかく  
見せか  
・身長2m以上  
・たがは夜の校舎  
にいる。  
・ほく  
しい本...

フゴ...フゴ...フゴ...フゴ...フゴ...

21 < 田中 田中 >

男

・教員教師  
・戦いをする  
しる



行政私はいつも戦いをする人だ... 私は教員教師だが、考えたことに関しては無能だ... 戦いをする...

22 < NE-23 フレデリック >

男



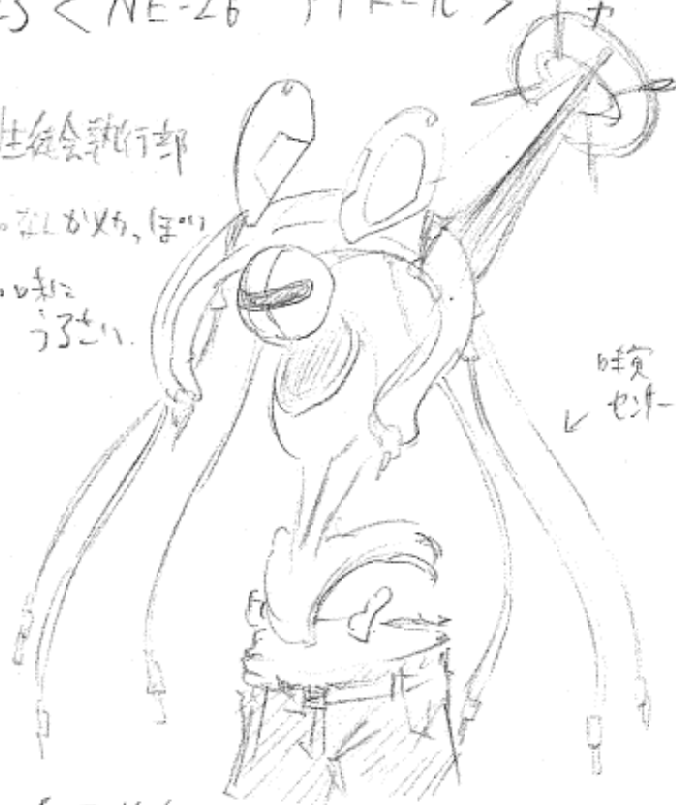
・生徒会  
執行部  
・強い力、  
ほい

俺もあんな早く生徒会をやめた人だよ。マジ、俺自由のヒトだからさ。

23 < NE-26 アナトル >

男

生徒会執行部  
・強い力、ほい  
・おかしな  
うさぎ



喰  
せ

この4-ズはおかしい!! でもこの4-ズは深くまじいと思う! 捨てたことある!!

24 < NE-17 アレクサンドル >

男



・生徒会執行部  
指揮能力が  
高い

ほいほい、みんな私にっしてきてください。それ以上に自分に打ち上げますよ。





29 <NE-70 4754.1> 男

・生協執行部。  
・丸いの中に入、2113  
・外見はカモフラージュ。  
・普通のヒトです。  
・小さいです。  
・見て2113  
・姿はあま  
・2113  
・るです。



あ、ハイ... 木々に隠れてるとかあまは本人でもやり  
ますの2。是非手取おして下さい!! た〜!!!

30 <NE-00 ミッキー・カ・キング> 男  
・生協会長。



世の中全て金だ!! もうかき集めたよほとんと私  
のこぶ入替、てきた(ま)!!!

31 <コーラ売りのおばちゃん> 女

・売店にいる。  
・なぜか  
・コーラを  
・すすめてくる。



アタシのコーラは空っぽだし、  
その指も置、ておれさ。

32 <静園安江> 女

・夜の学校に  
出現する  
・TVの少女。  
・菓子と  
・お餅をくる。



わたしは... おかしな人だ(の) —

33 <回転井 甘郎> 男  
かてんい 甘郎

有名技は  
あつた  
+の  
ヨ-ヨ-  
少年



オレと勝負しろ!! このファイヤーボールでフットバスをくさおしてやるぜ!!!

34 <アビス> 男



ホヤの弟

別に兄さんがあんな顔なのと気にしてはいりませんが、でも、いつか兄さんと食べたいし、話したいから... 兄さんを会わせて...

35 <周足リテル> 男  
リテル

コック  
コック  
食堂に  
いる



私、コックネ。得意技はショーメイクネ、ショーメイク以外何も知らナイネ、ニーマンハオネ。

36 <蔵風房 みるじ・いちろ> 女  
さかぜがし



お姉さん  
はまはてはまか  
の体の粉を  
女有  
うまに  
脚は  
3本あり

姉さんは40キを出す姉さんは40キを出す  
「私には40キを出すの? 女は40キを出すの?」

37 < 伊子のイッちゃん > 女

・イッコ



・キエエエー!!! ヴ・ゾンビ...!! カキ  
シバリ... キエエエエエー ヴ・ゾンビ!!!

38 < 大山 太郎 > 男  
11年 せま た 村

・学校の近くに住んでいる  
・別に無害だが  
見た目でふんわり  
とまろがてくる。

・花粉症  
・寒がり



ニッパ

シヤージ上下

11年、マジオ何にもやってるよ、ただ薬  
屋で薬買った...!! "ヤドラック"と書い、すよ...!!

39 < 武藤 梨子 > 女  
むとう りしこ

・教頭  
・ハビースモカー  
・無口



「.....」

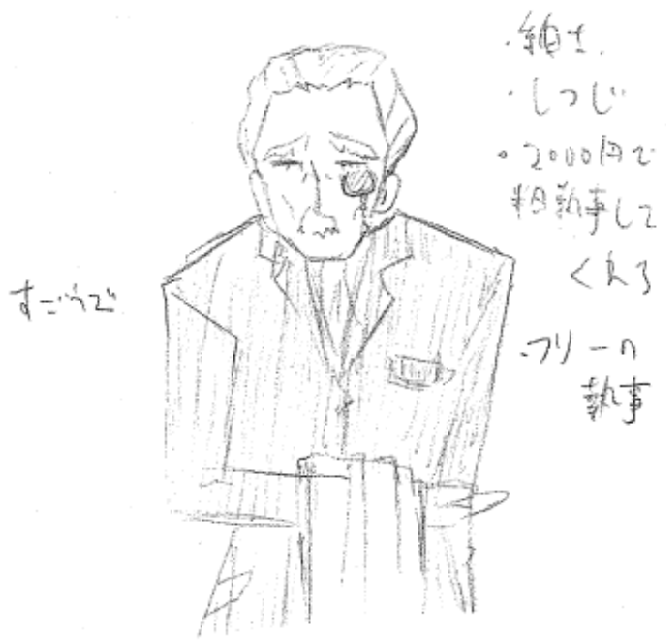
40 < トリルマン > 男

・工事の人  
・校舎内で  
をまは  
かた



俺は(ト)デマンではない!! (熱血潮)トリル  
マンだ!! 足短いよ!! 11年!! 俺はトリルだ!!

41 <セバスチャン・デ・モルト> 男



・紳士  
・しつじ  
・2000円を  
相執事して  
くんと  
フリーの  
執事

すーうど

この私、セバスチャンをお呼びでございませう  
御主人様、11月12日時間2000円のコースがござい  
ますか？ 11月12日かいたしませうか... 11月かいたしませうか

42 <水無月 麗美> 女  
\* 女性 \* 麗美



・保健医  
・何故か  
ナース服  
・コスプレさ  
・キラキラ

あ、いそし+11早乙女く、今日はオハかし？...  
うう... 冗談よ... てれ今日の用事はななに？ オハ？

43 <ブラッリー=スネーグ=カモオオン> 男

うなぎ業社

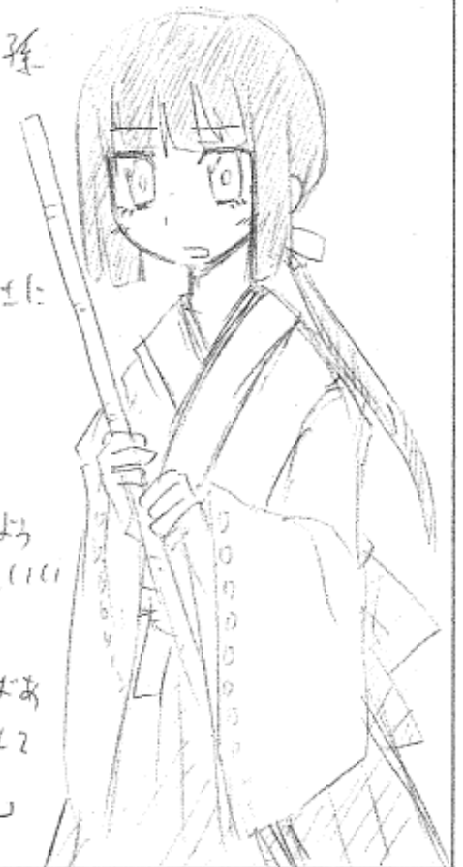


♪♪♪

「あ、いそし+11早乙女く、今日はオハかし？...  
うう... 冗談よ... てれ今日の用事はななに？ オハ？」

44 <巫女のミキセコ> 男

・白のM.A.の孫  
・何かにリビで  
せせせ  
・学校近くの神社に  
いる



「あ、早乙女さんおはよう  
ございます。今日はいい  
天気ですね。  
今日はマホク、おはあ  
さんとおまごのこ  
わたりを思い出します」



49 < 合田 オニオ > 男

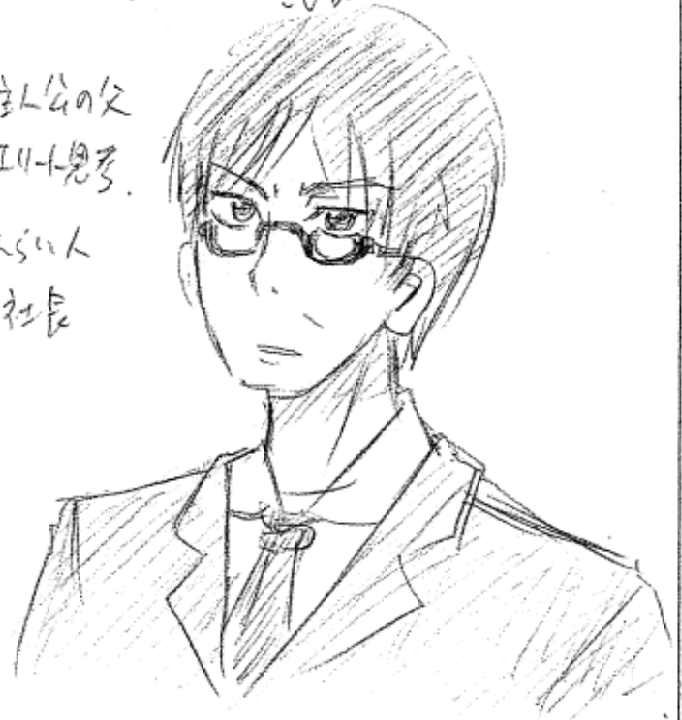
-物子しおまに干してある赤い方。  
-学校の窓からよく見える。



オア-ビブ-ポー-!!バ-ル-!!ビ-

50 < 早乙女 木廣 > 男

・おん公の父  
・IT+思考  
・えらい人  
・社長



う4には使えないワスはいらん。  
優秀な人間だけが我が家の名を乗った価値があるのだ。

51 < ヒル = ケイマシ > 男



・理科教師  
・USA出身

お前の英語教師だった方がイト言われたが、スールールかとして大好きなのデ。理科の先生デがっているんだ。

52 < ウイト = コリエ = ママ > 女

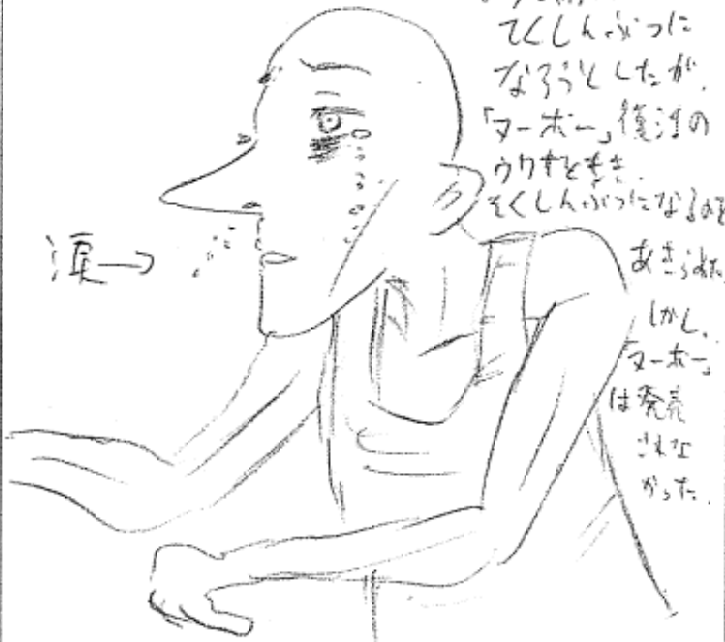
・アステカ信仰  
のオキない  
アヌ人  
・本人は  
アヌのニヒ  
アステカだと  
思っている。  
・マシマ



若干マヤ信仰  
もまじっている。  
・日本神話も  
まじっている。  
・おもしろ  
てんや

マシマは神の声をきいたにすぎない。今すぐ  
ケツルコア、マシマカリアマノミウをウエンバにさし。

53 < 今田 誠 > 男  
 いまだ まこと



・高い高僧。  
 ・少し前に  
 てくしんがっ  
 なるししたが、  
 「マホー」復讐の  
 ウリととき  
 てくしんがっ  
 なるの  
 女さす  
 かし、  
 マホー  
 は発  
 した  
 した。

私、あの「マホー」を食ったのがために仇敵と格  
 別というのに... この仕打ちはいくらも世に...

54 < 岸田 ヨロモン > 女



・ヨロモンは  
 名前とされたばかり  
 に、悪魔と使役を  
 せしめたい。243  
 ・おもてをよこ  
 たら、一匹の使  
 役を  
 した。  
 ・おとろし  
 ・主人の  
 7ラスミ

... 女、私、11ヶ月前に柱全部のついでに、アケルレム  
 をつくりのが夢な人で、でも私の命、むかしから...

55 < テカラヒア > ???



・あくま  
 ・岸田ヨロモン  
 有敵がよむたせ  
 ・おとろし  
 見た目がよく  
 した。

やあ、私はテカラヒア！自分で何をすればいい  
 のかわからないために生まれてきたのによくおかしな人だ！

でも、鳥が必要なら、貸すよ！！

56 < イエス = 1 - > 男



・おたまが  
 赤木が223  
 ・本人は  
 宗教とは全く  
 関係ない  
 ・悪魔

清き、清浄なる世界の為だ !!!  
 人は黙れおれとて、救われ。



57 < アグニト・オブ  
ザ・ワールド >

・捨てられた  
新聞紙に  
意志が込められた。



私は元々は新聞紙。  
ということはない。

58 < 国倉研人 > 男



・ホムシス  
・アグニ  
人が殺せる

「いただきます」

59 < 今泉 > 女

・世界に3人  
とび出しが  
いかいしい  
おもしろい  
ドッパルが  
顔はあざと  
全く同じ  
お目出度  
って  
とちと死んだ



キミ、私と、そっくりなま  
11/4

60 < 仰子のイラスト > 女

・和音と  
今泉を  
復活させ  
てくれた  
仰子。  
肉体的に  
のこりて  
は大好き。  
しい



木イニ!! ハッイニ!! 木イニ!! ハッイニ!!  
も!! も!! 木イニ!! <!! 木イニ!! サラサ!!

61 <ワイズマン小尉> 男



・戦争で  
亡くなった  
小尉の  
遺像

・つはら つはらがあいあかして...!!  
大日標国万巻 — !!!

62 <柳王苗> 女  
143 145 147



・お嬢  
・目が  
見ゆい  
・報知  
ほい  
年頃

服が黒いのがよくて死にたいとわたくしは思っています。

63 <大天狗> 男



・年若女と  
見守. ていつ.  
過去  
がある

今の人間は  
天狗と見たとき  
ないくせに私は天狗  
ではないと言いきる。  
それなら考え直さないと、私は考えている。  
天狗とは冷静なものなのだ。

64 <サイバースジョリーン> 女



・おそろしい  
外見の  
正義の味方。  
・発見した!!  
自衛隊と  
攻撃しました

キヤメ!! シバシバ!! 私悪くない!! ーん!!

01<太陽のトリ>



02<たたずぶ子>



…  
ボクを見てるの…?  
そうなんだ…。

03<しま男>



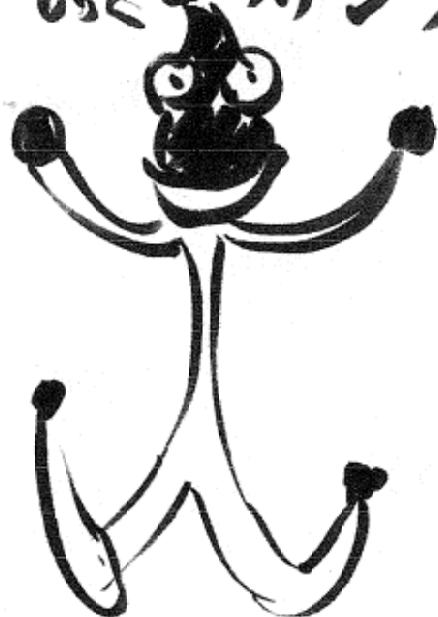
オレは悪い人じゃないぜ。  
しましまが好きなんだぜ。  
うわっ〜〜〜

04<ケン太>



ボクの特技はばちんこさ!  
でもまだ子供だから  
おもちゃしか持てないの。  
パパはするいなあ…。

05<モッチン>



火がつくせ! パチパチ!  
あ、あ、いよー!!  
お前にもつけてやる!!

06<たっくん>



おれ様は人間に化けた  
夕又きなのたせよ!  
いっほい遊ぶせよ!!

07<ホース>



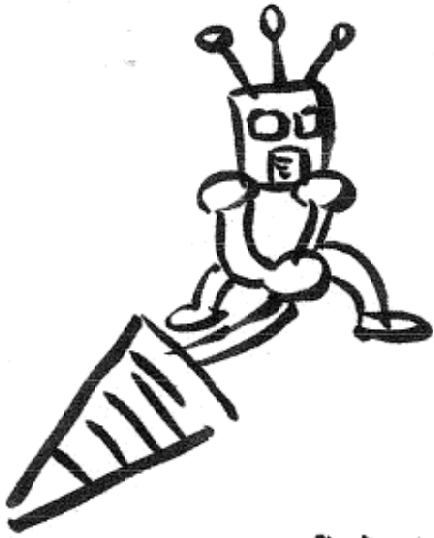
我ハドラゴン族の生き  
のヨリダ...。  
馬でハナイ...。  
ガビーン!

08<サマ>



最強のドラゴンハンターは  
おれサマさっ!  
おれもバケモンだけじゃな  
げバケじ。うましがいねえ...。

09<0001>



フオオー.ドリルガオモイ!!  
ニイサンニヤラレシゼ...

10<001>



ビャー!!  
4チャンスダビャー!!  
サババ.オウトヨ!!

11<01>



フ.バカモドモメ。  
ツグシアウガイ!!  
ワタシが最強ダ!!

12<1>



オレ.バゲテル...。  
アンテナホライ...。  
デモ.オウトダケスキ...。  
悩...

13 <ギョウギ>



ガオー  
ガオー?  
...ガガ!

14 <じい..>



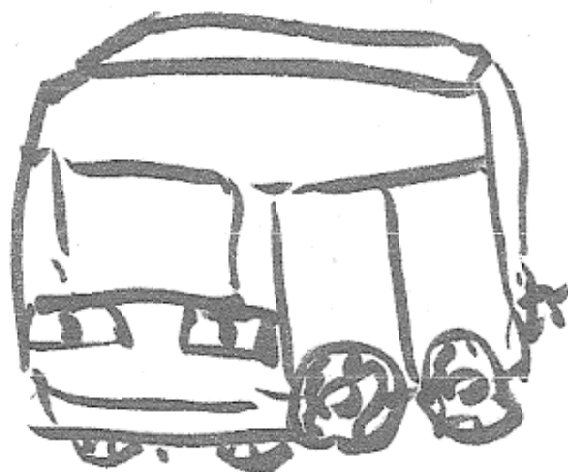
わいはいじいじが  
まぐらではない。

15 <コントロール>



ククココオー!  
グビー!

16 <Mr. Ban>



オレは車なのか?  
ミウなのだろう...

17< 五作 >



18< ツネ >



五作はオラの夫だ！

19< ツトム >

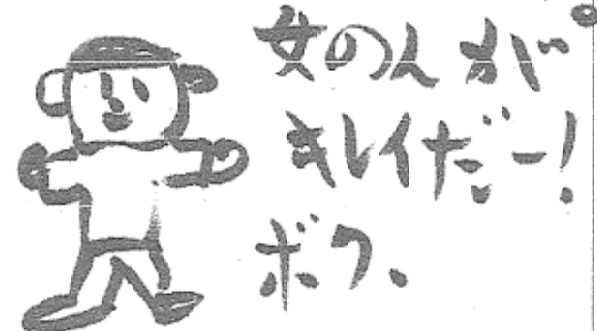
オレは農業なんぞ



20< スケロク >

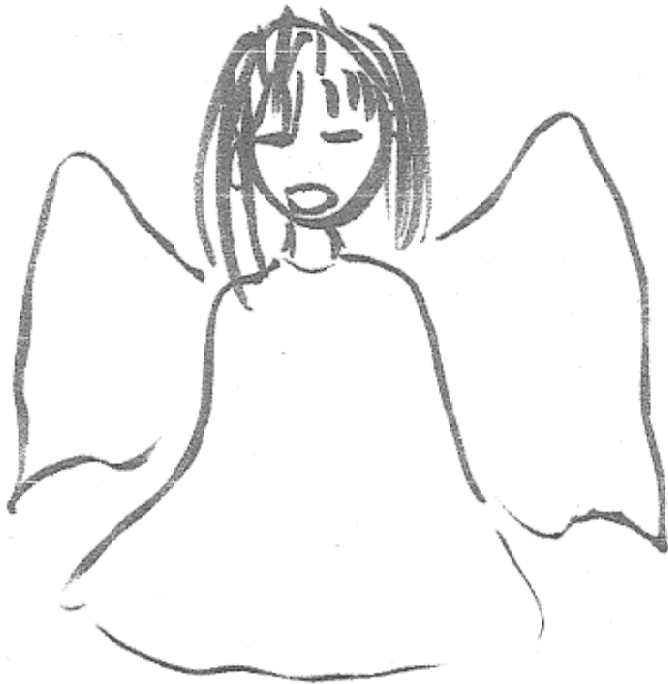
兄ちゃんを逢へ

御までやゝきました



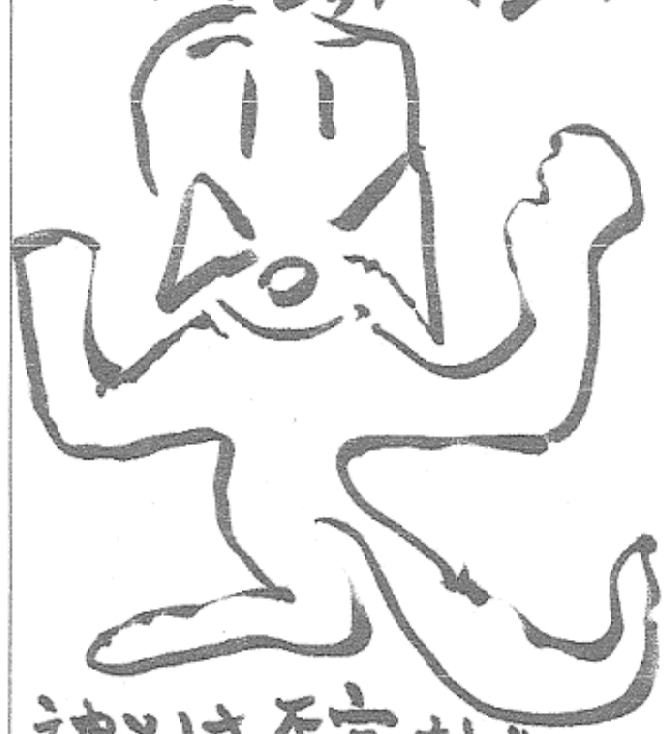
コトシカ

21<テンシコ>



私は天使です。  
服の中はビビツよ♥

22<ゴッドマン>



神とは不定なり。  
我こそが神なり。

23<ケルベロス>



ワン!  
神のペットだわん!  
肉がほしいワン!

24<オルトロス>



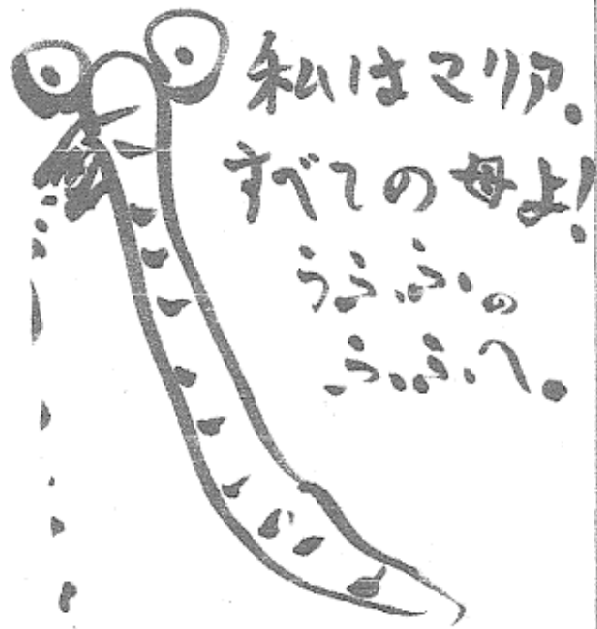
ワン!  
野良犬だわん!  
おなかへ、たワン。



25くぐらうく



26くマリア 高貴なる血



27くよし子



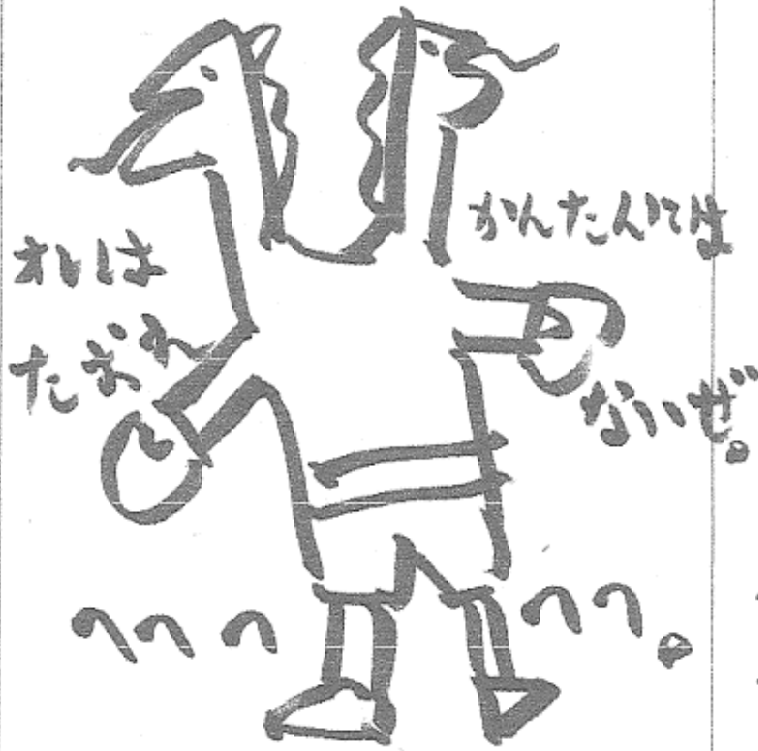
あたし、みち子の友達!

28くみち子



よし子ちゃん? うん、私のクラスメート!

29<ボウサーキリン>



30<ピョキオボウサ>



今度こそ、キリンをたぶさ  
ボウがチャンピオンや!!

31<ピョグア>



32<女幽霊>



わん、ボウ中  
こっちのいらい、いらい



01 < 太郎 > 男



ぼくは いたって普通の まじめで  
やさしい 男の子さ。主人公なんだけれど、  
どんな物語かも、よくわかんないんだ。

02 < 茶葉 緑 > 女  
チャハ 緑



たしは お菓を飲んだり吐いたりするのが  
大好きです。太郎さんと友達なのよ。  
黒髪 パツン が、魅力なの。  
すぐ泣いちゃう 弱い子 なんです。

03 < アーゼル・バインキーン > 女



イーヒョヒョヒョヒョ、アゼルは 意地悪な  
魔女だよ。太郎に 恐い魔法を  
かけてやるのさ。苦しい。  
他人に 怖いことを教える、大好きなのさ。

04 < 次郎 > 男



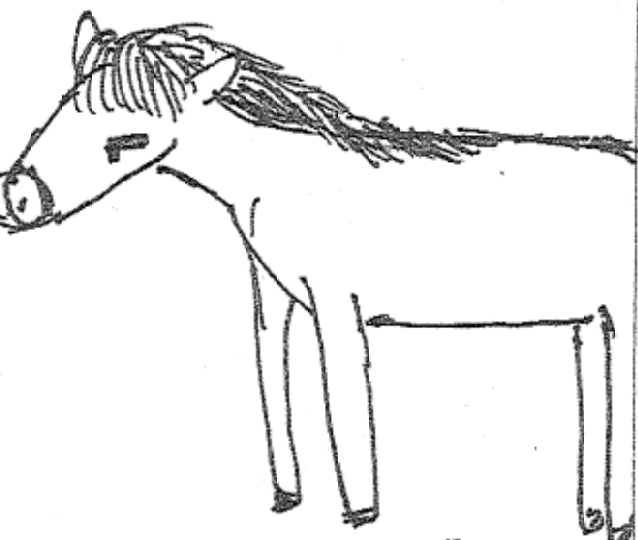
ぼくは 太郎の 双子の 弟だよ。  
でも、太郎よりも ぼくの方が 強いんだ！  
見た目も そっくりなんだけれど、なんで  
ぼくが 主人公 じゃないのか わかんないんだ。

05 < 旨味斗 香 > 女  
うまいと 香



私は牧場のウマ娘なの。  
動物と話し言葉が大好きなの。  
うまと一緒にいつも一緒にいるの。  
特に、学校にはいけない年なの。

06 < うま > 女



ほく、うまの名前が「うま」馬です。  
香さんにうまの名前がうま、うまです。  
お名前がうまから、どうたうていいた。

07 < 旨味斗 三美 > 女  
うまいと 三美



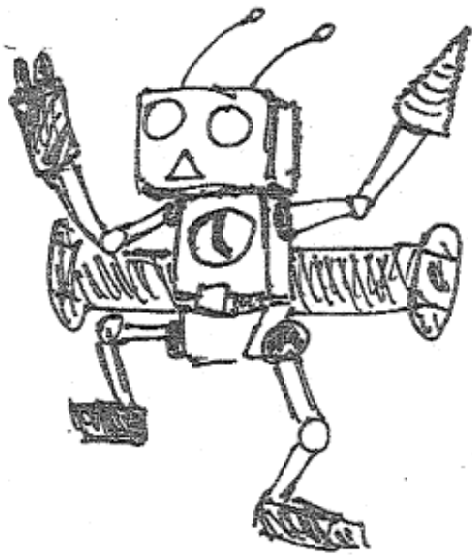
私は香のお母さんよ。きびしくてやさしい  
お母さんを目標にしているわ。  
牧場のとれたて卵で「目玉焼き」を作るのが得意よ。

08 < 旨味斗 味和井之助 > 男  
うまいと 味和井之助



俺は香の父親だ。体がデカいから  
香には怖がらされて「おじいちゃん」  
やさしい父ちゃんなんだよ。  
朝早くから牧場で仕事してるよ。

09 < YASHIMA - R >



772 1100 = 77219 ロボ外。  
 色々色々 214X 772。  
 色々77 11 スゴイト911。  
 ミキ77 11 21477 214 コンセント。  
 7721 772177。 7721。 21477カ。

10 < やしま博士 >

男



おしは ロボ外を作っている博士じや。  
 今日は 世界征服をしたがるロボ外を  
 作っている。 作った おしは 太っているのじや。

11 < 米騒動 >



拙者 米騒動でござる!!  
 米の 高すぎで 市民が 米を食へてくれない  
 から、 立ち上りたので ござる!!  
 平成の 米騒動で ござる!!

12 < 米本さん >

おじい



おとしは 米騒動の黒幕です。  
 お米の 大好きな人です。  
 21477 21477 とか 頭が 痛くて  
 超能力 とか 使えぬ 秘伝です。  
 おとしは 米を 食いたいから、 米騒動を 起した人  
 です。

13 < トナリノモス > 男



ワタシ 阿部的 長イテス。足長イテス。  
日本のハンパカ- 食バ=キタンテス成。  
米騒動で 大變テス。『トナリノモス』ト云フガ  
キ-イ。

14 < ロテリヤ > 女



ワタシハ トナリノモスノ 妹ガヨ。  
トナリノモス。ワタシ = タマシニホシ =  
アヤシ = イヤシヨ! コレナリ!!

15 < 神様 >



わしは この世を創った 神様じゃ。  
とても偉いん じゃ。  
普段は 天界に 住んでおる のじゃ。  
お前 に ヒマヨシテ 地上に 遊びに きたのじゃ。  
わしを 怒ると、世界が 滅ぶのじゃ。

16 < 虹星 寄子 > 女  
にじり 子



わたしは 太郎くんのことが大好き!  
アケテグなわたしは 太郎くんを見つけて  
にじりおていくの!!

17 <ネコ> 犬



私はアザレ・ハズーン様に在てる  
黒猫だぜ。誠実な私は今日も  
アザレ様のために一生懸命働いたぜ。  
ネミナリニホシの所へ"好きなんだぜ"。

18 <川岸・タマハコ> 女



わたしは王女よ!! とても金持ちなのよ!!  
わたしに不可能なんてあるはずないじゃない!!  
今日は貧乏人を拾ったわ。しばらく使役人として  
アザレ様の。お世話悪いじゃないか!!  
物の目の前で死ぬたら気分悪いだけなんだが!!

19 <ホビン> 男



僕はただ貧乏奴です。たまに村の性格  
でたまにネミナリで貧乏になっちゃった。  
空腹で行って来た。王女様に拾われました。

20 <パンテーン> 女



私はホビンの幼名を聞いて、アザレの存在を  
知りましたが、行方不明の父をたまたま探している。  
私の髪は世界中で有名な髪だ。



21 <キン> = タマテバコ 男



おしは 7172 の父として タマテバコ 王国の王である。最近 娘が 変な男を捨てる 隠しておるのだ。父親として心配なのだ。

22 <明太> 男  
あんだ



バブー  
バブー  
バブー  
バブー

23 <キャピア> 女



あたしは あんだ のおねーさんでさ。  
あんだ は まだ うまれたばかりでさ。分かん  
しやべななでさ。  
あたしは もう しやべななでさ。 えらいでさ。

24 <マダム・クミナ> 女



マダム、キャピアの母では、オホホ、  
お仕事が忙しいから 育児は 実家の  
母に任せてるがさ。  
正直、子どもたちと 会いたくしてはなないがさ。

25

<一利 休休>  
いり ちゅうちゅう

男



これはお軽とお茶の大好きなお寺のお坊さんじゃ。お軽を讀本とトホキしてくる。最近お茶が好きな女子が盛んにくるんじやが、お茶を飲んたり吐いたりするから困ってますんじやあ。

26

<ジュニア>

男



やあ、私ジュニア。「ジュニア」って呼んでね。最近知合いの経営者パーティーで働いたの。アメリカンフットボールで鍛えた筋肉と、ガラスの綺麗な乙女心か。ケミカルボディよ。私のお店に盛んにきてね。

27

<魚頭 魚弱>  
いかに いかに

男



俺は太郎の親友さ！  
Xがネを付けているけど、別に頭が良いわけじゃないんだ。俺の趣味は、野物のカスヲをスヲスヲにすることだぜ！

28

<東芝 大奈>  
とうし たいな

女



やあ、ボクは女子だから。男にも負いよ！  
スポーツが得意なんだ！！  
太郎くんとはクラスメイトなんだよ。

29

&lt; 加納 - &gt;

男



ワタシ 中国舞法の達人アロ。  
ワタシ 立派なヒゲ 持ってるアロ。  
舞法とヒゲ、自慢するアロ!!

30

&lt; 近所 さん &gt;

女



アタシ 太郎さんの隣の家のおばさんだよ!  
太郎さんも次郎さんもとても良い子だねえ。  
おばさんは悪心してってるよ!! お菓子あげよう!!

31

&lt; 出世 魚 &gt;

女

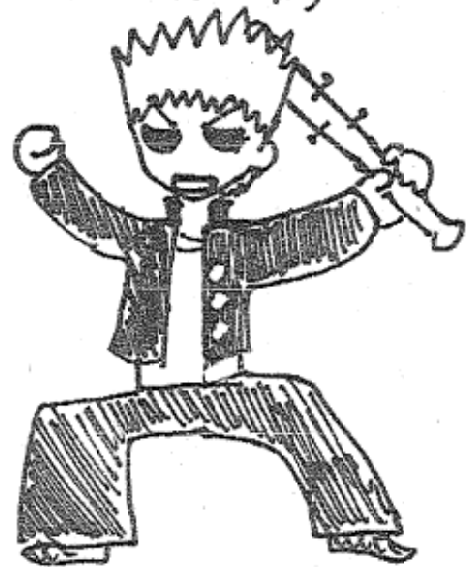


おたしい〜、高校生なんですとか  
でもお、免状とか全然分かんなくて〜。  
いつも居残りとかおそろいちゃうんです。

32

&lt; 優車 良 &gt;

男



オラオラ、なんかいやがるのか!!  
オレが 高校生になったら なんか悪いのかよ!!  
学校出て知るかよ!! 夕やてつるみたけた!!  
いま 笑ったぞ。

33 < イヌヲ >

男  
(#2)



優車良のペットだ。ワシ。  
いいけん毛切てくれないかな。  
あーパテのチキム食べた。  
寧ろペットフードでいいな。

34 < 飛び太郎 >

?



昨日の夜、  
(ホウ フライングヒューマンだ)。  
太郎とは関係ないよ。

35 < ニイト・カネ >

男



私は元海賊さ。黒人さ。  
今はフライングヒューマンを造っているだ。  
海の男は何も恐れないうぜ。  
未確認生物は怖いな。

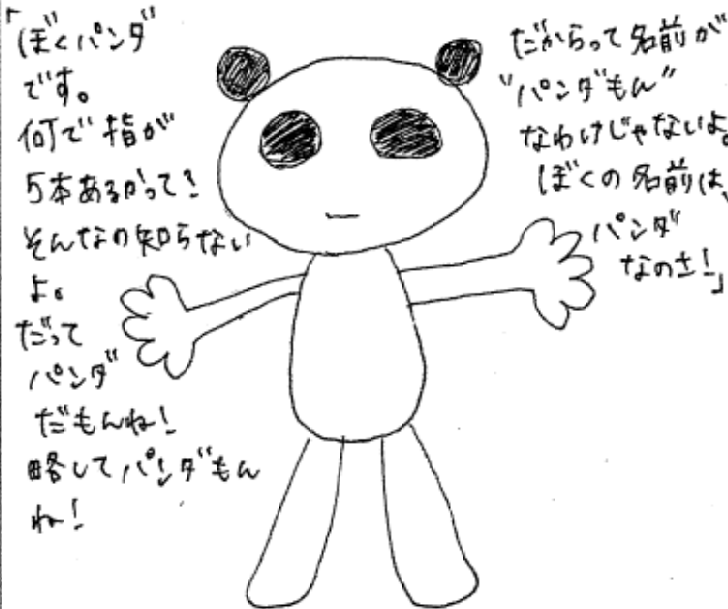
36 < 落梨ちゃん >

女



昨日もパチの自然聖火に巻き込まれた。  
あーもうダメだ。私。  
おかしな状況を指しても分からず。  
もう学校行きたくない。

① パンダくん



パンダ子ちゃんが女子き。  
空気は読めないのではなく、読まないのよ。

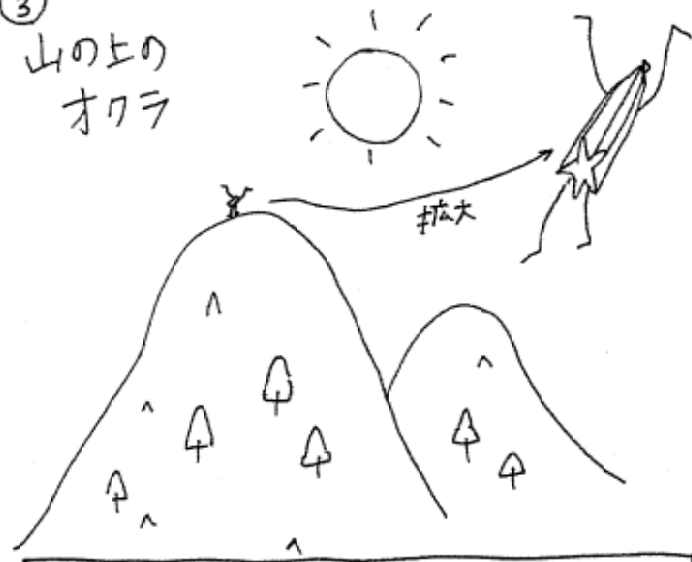
② パンダ子



メイクは  
口紅のみ。

「パンダ子よ。わたしの手はこんなふうになってるけど、意外と物を扱いきれるのよ。」

③ 山の上のオクラ



自分が  
ただのオクラで「あること」に耐えられな  
かった彼は、  
どうにかして自己を確立したからさ。

「俺はやったぞ!!  
もう下りぬーかんぞ!!」

④ せかい一きれいなおひめさま



「うふふふふ。  
私は、おひめ  
さまよ。  
おどりが、  
とくだよ。  
好きなものは、  
にじよ。」  
↑  
虹

女の子の幼少時代の思い出が具現化した。傍らに王子はいない。

男は描けないから

いたがき  
⑤ 板垣 みのる (4)



「ぼくみのる。  
<11子ん>  
あれ、  
前が見えない。」

よく自目をかく。

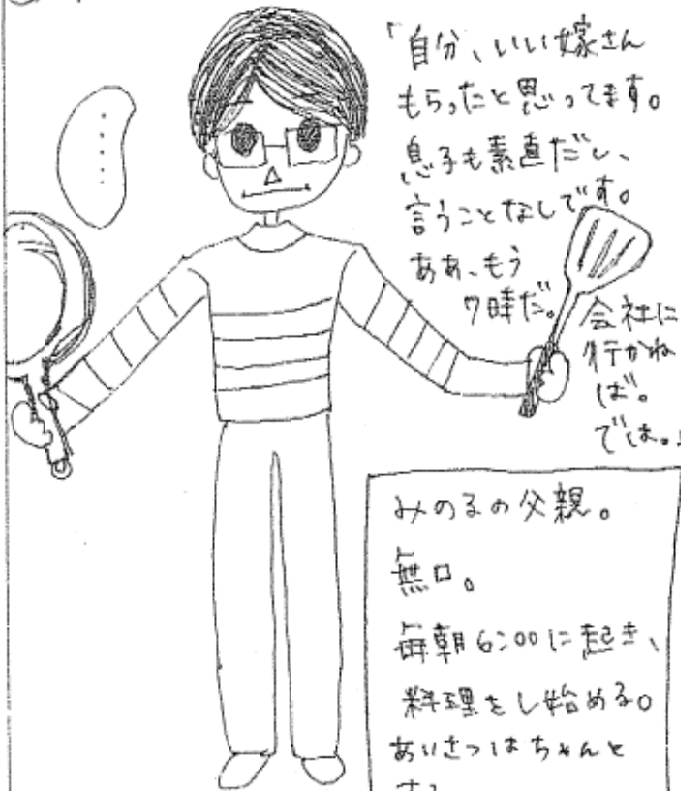
いたがき  
⑥ 板垣 さなえ (28)



「さなえでーす☆  
ココロはまだまた  
女子大生☆  
私のおウチは赤い  
屋根☆  
私の仕事はトモ  
のお姉さん☆」

みのるの母親。  
このあいだ、町内  
紙ひこうき大会で  
優勝した。

いたがき  
⑦ 板垣 いたお (29)



「自分、いい嫁さん  
もらったと思っています。  
息子も素直だし、  
言うことなしです。  
ああ、もう  
7時だ。会社に  
行かなく  
ば。」

みのるの父親。  
無口。  
毎朝6:00に起き、  
料理をし始める。  
あいさとはちゃんと  
する。

⑧ よしもとさん



「ワタシ、顔こなん  
ですけど、  
怖くありませんから。  
その証として、  
犬とかに、女子が  
やますから。」

顔のホリが  
深い。  
いたおとは  
七三仲間。  
いつもスカートの  
下にジーンズを  
はいている。

⑨ もいもい



「雲。いつも空に浮かんで  
いるよ。」

「もいもい。もいもい(は後戻りはできないもいもい)  
もいもい。もいもい。ポテチうめえ。もふもふ  
もいもい。」

⑩ ニセパンダ子



「アタシパンダ子。  
好きな物は  
ヤギの乳。  
嫌いな物は  
石少月干よ。」

「パンダ子ちゃんの耳が長くないはず  
はずなのよ。」

くさあら ちよよ  
⑪ 草村 千代代 (70)



「青汁信者。」

「何で私の  
言うこと  
聞かんかね!  
いつかバチ  
当たるよ!!  
嫁も息子も  
私のこと仲間  
はあれにして...  
誰のおかげで  
生活できてると  
いうこともないに!!」

エムミ  
⑫ M美エム (仮名)



「ウチが  
電車降りてエー  
ムでちよい歩い  
てエー  
カド曲がった  
に何か立ってて  
エー」

「ニセパンダ子目撃者。」

(13)

すみとち  
住友 まさみ (18)

へえ

へえ



こんにちは。  
私の  
知前の  
住友  
あなた  
どこか  
の？ 預けてない？  
今からどこへ行く  
の？

どうなん  
だ？  
みです。  
は  
ら来た  
？  
知ら  
なかつ  
た！

自分のことを聞き上手だと思っている。  
メモ ちゃんと相手の声に耳を傾けて、  
あいづちをうってあげること!!

さいとう しゅんあけ  
斎藤 俊介 (11)

(14)

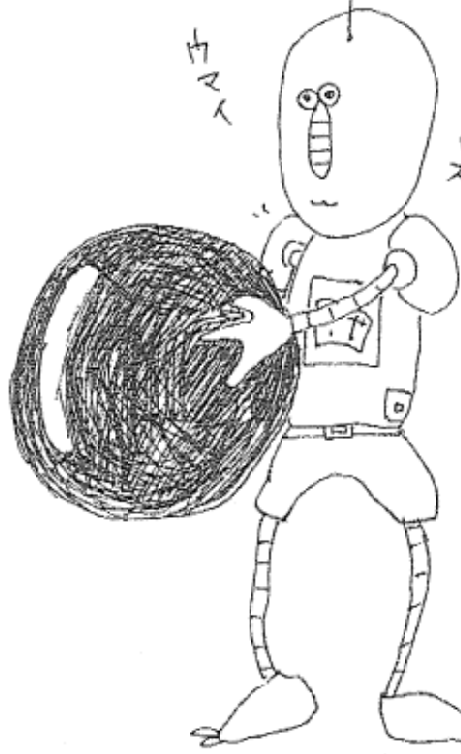


「オレ、カオでかい  
だろ？いくら食っ  
ても胴体ぜん  
ぜん太らない  
んだぜ！  
腹みぞでかい  
からよオ、  
そちに養分  
がいらん  
だよ」

胴体と頭のバランスの悪さを気にしている  
が、それをネタにして笑いをとることでクラスの人気者  
150

(15) チョンチクリン

ウマン



「チョコクリン  
だ——よ。  
ボクのママは  
チョコクリン  
だ——よ。  
チョコボール開発  
したと神  
だ——よ。」

手のひら  
サイズのロボ。  
チョコボール  
を食す。  
いつも  
よい男と一緒に。  
これからも、  
あ——とだよ。

あせろ お  
麻生 正男  
(12)

(16)



160 cm  
「ボクは正男よ！  
よくして！  
あながれの人ば  
タイガー、モッズ  
よ！ いくつか  
彼に追いつきたい  
と思ってる…  
…ハハッ！」

明日、  
髪を切りに  
行く予定だ。  
バスケットボール  
が得意。





「◎●※等!!  
▲□○等  
○✦▣□  
□!!!」  
↑  
なにか  
怒って  
るわい

⑱ 名無いん  
sage

静電気のアトムの正体。

← 拡大  
バチッ  
ち  
い  
て  
さ  
ま

⑲ ムッ



「ムオッホッホッホッホ。  
気持悪がってないで  
寄ってらっしゃいよ。  
ワタシはアタマが  
どんなんなのか、  
キョーシが屋まどう  
になんたから。  
人商っておもしろい  
わね。」

↑ どんな  
ツル  
ツル  
な壁でも  
ほうと  
がでける  
上!!

チョンチクリンの親友的存在。  
首の下の魚・もようを、自由自在に  
変えられる。チョンチクリンより10cmでかい。

智久

⑲ ハットヒット

「食え」(訳: 食べてくれないと、  
自分 不味いんじゃないかと)



不安になるぞ!!  
食べて  
下エ!!

↑ 食え

「食え」以外の言葉は発さない。

⑲ トモセサ



「僕-気が弱い  
から...  
こういうのは  
あんまり...  
一人で釣るのびり  
できるから、  
魚がつかからな  
くても、釣り、  
好き。」

釣りが好き。  
ハットヒットが苦手。  
自分は食べずに、時々、魚のエサに使う。

副大採の工ウイチロウ (14)

21



「オレは、工ウイチロウ。  
万引き、勇気ない。  
笛打める、勇気ない。  
けこ、テストの点は  
二「まかした」  
母ちゃんに見せる  
時、「32」を  
「82」って書き  
足して、  
二「まかした」」

名字が「副大採」裕一郎は知。  
「まんじゅうニくい。」

KUSA 14598821-923

22

「KUSA 14598821-923、  
今日、一日寝た。」

KUSA 14598821-923、  
光合成、昨日雨で、してな  
い。」



これから  
踏まれ つままれ  
風にあおられ  
強くなつていく予定。

コボロコ

23



重カキが  
モグシヤク  
しているが、  
これは彼の  
持ち装の  
一つだ。

「コボロコッ!」  
自分が言うのも  
ナンだけど、  
甚達者ッ! と思うッ!

学級委員のマナミ

24



「私はマナミよ。  
クラスの皆、大半の  
人は協力的で  
助かっている。」

「好き嫌いなんで、  
そんなも、たいないコ  
レないわ!  
...でも、グリーンピース  
だけは... 許して、ね  
.....」

「いじめる女も いじめられる女も  
どっちもむかつくッ!」

みえ はり こ  
 (25) 見枝 針子

カレー食べてえ



「あはし  
 めげない  
 よ!!  
 カレー  
 食べてえ  
 ね!!」  
 ←ウイウウウ



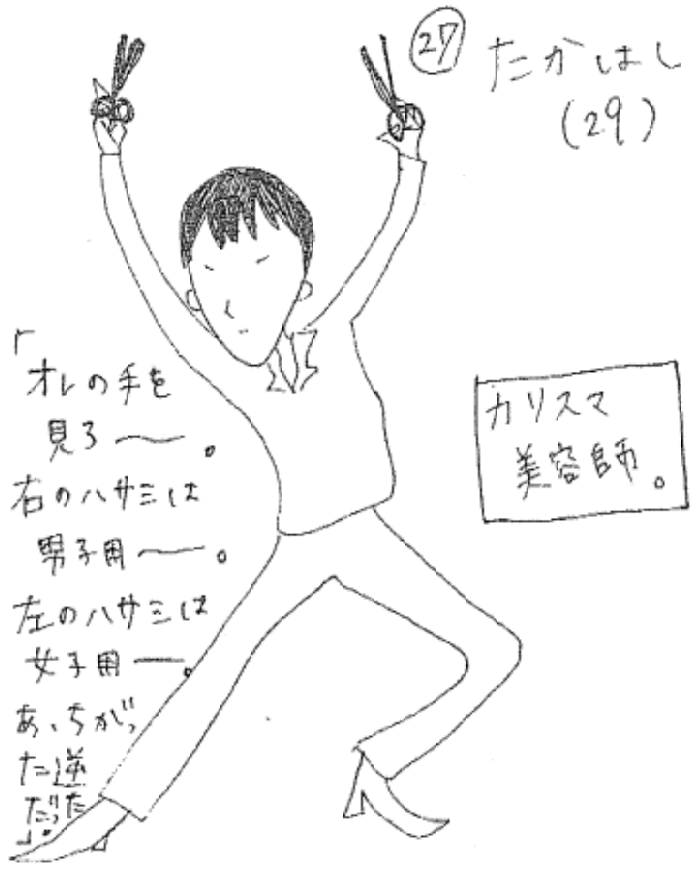
「名前のせいで時々損があるけれど、  
 なんかいい感じの人生を送っている」

(26) おじいちゃん (90)



「わしゃの若い頃は  
 は...そう...  
 平凡で...  
 ぶつうに結婚して  
 ...仕事もど  
 ぞこぞ...」

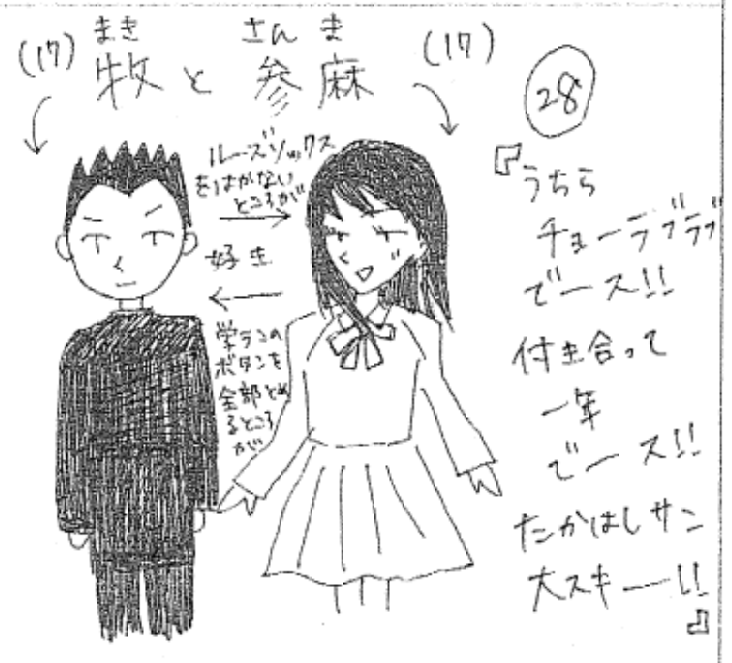
「データベース記録を保持してい  
 るらしい。詳しくは話し  
 たがらない。」



(27) たかはし  
 (29)

「オレの手を  
 見ろ〜。  
 右のハサミは  
 男子用〜。  
 左のハサミは  
 女子用〜。  
 あ、ちが  
 た逆  
 た逆

カリスマ  
 美容師。



(17) まき 牧 と さんま 参麻 (17)

ルースツヨウ  
 E1はかた  
 とこが  
 好生  
 ←  
 学ランの  
 ボタンを  
 全部ぬ  
 るのが  
 かい

(28)  
 「うちら  
 キョーラッパ  
 ーズ!!  
 付き合っ  
 一年  
 ーズ!!  
 たかはしサ  
 大スキー!!」

たかはしの常連。  
 ぶたりはたかはし。

29 怪人9号

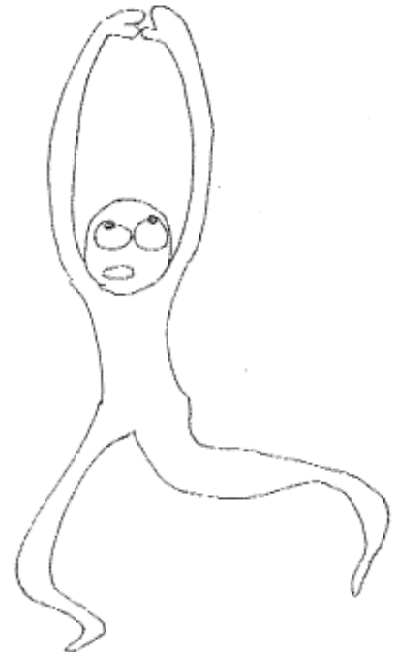
「私は怪人9号。  
 闇の使者と言ふは  
 私の人生を切り切り  
 にした奴等……  
 許さぬ許さぬ  
 許さぬ許さぬ許さぬ  
 許さぬ許さぬ許さぬ  
 許さぬ許さぬ許さぬ」

ナ  
カ  
ア  
ア



「なぞ」につままれた殺人鬼。17日に1回出る。  
 よしもとサムの疑いは、アリバスの立証により  
 晴れた。刺す前に「恨みがある」と言う。

30 やる気なすび



怖い者なすび  
 仕事やる気なすび  
 遊んでる気なすび

31 ナア微菌

「ほーげらーのほい、  
 なーすびーたあ、  
 なーすびたけと  
 なすびでなーい  
 なすびきんっ」



全長  
 0.1mm

「二つに取れつかわれると、  
 ナア「やる気なすび」になってしまう。」

32 繁富 トニイ (42)



「ワタワシ、繁富は  
 日々、本当に充実した  
 毎日を送っている  
 ザラス。これも  
 なすび産のおかげ。  
 なすび達の瞳は、  
 すい込まれるほどに  
 透き通っていて純粋ザラ  
 ス。なすび達と接

「やる気なすび療養施設 NASUBE」  
 の理事長先生。  
 い〜いひとたよあ。~~~~~?

している  
 と、人間の  
 のため  
 の果て  
 を見て  
 いる行  
 なすが  
 いて……



33 おやじ<sup>タマ</sup>玉



「我々、おやじ<sup>タマ</sup>と言っても見た目だけですからね。」

味は素直新鮮<sup>2</sup>です!  
開封後すぐ<sup>1</sup>に食べないと  
風味が<sup>1</sup>どんどん損なわれて  
い玉ます。」

34 おモチのおばけ

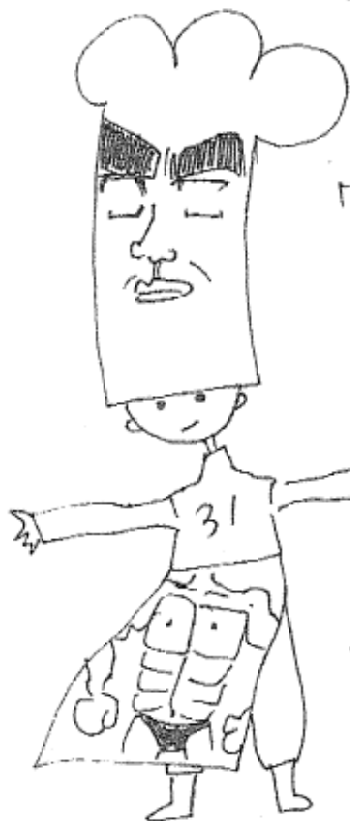


「おいどん、満月の夜になると伸びるんです。」

天まで届きそうな勢い、スエ。」

おやじ帽子のハナコ

35



「おやじ玉を作れるのはあちだけだわエ!!」

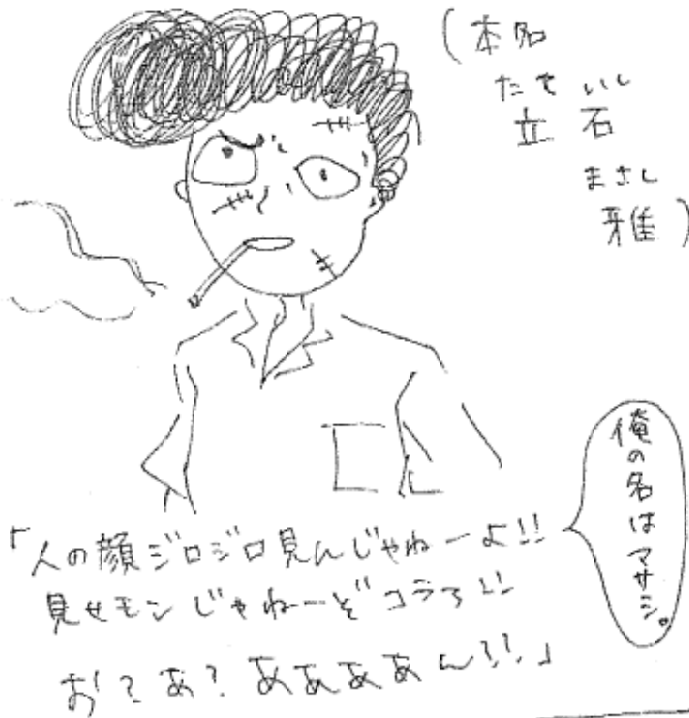
「お、コネコネするわよ!!  
その後、モチヤウチヤするのよ!!」

36 らいおけあめすけすけ  
雷助雨助々



「俺めっちゃん女です。浮きますからね。基本的に両手ははかしてる人のところに現れます。めっちゃん女さんお前、よく言われます。も、と、言、て。」

37) 小料理なマサーシー (50)



(本知  
たて  
立  
い  
石  
まじ  
牙佳)

「人の顔ジロジロ見んじやぬーや!!  
見せモンじやぬーと」コラッ  
お? あ? ああああん!!」

ボキャブラリーが少ないオッサン。

38) 茂田氏



「私、茂田と申します。  
元々はソムリエを志しておりまして……  
いや、その話はいいでしょう。得意と  
言うほどでは  
ありませんが、少々、  
カーンマジックをたしなんで

ワインとチーズに詳しい。  
モテる。自他共に認める紳士。

おります。

イナカ テンサイ  
39) 団舎 天才 (12)



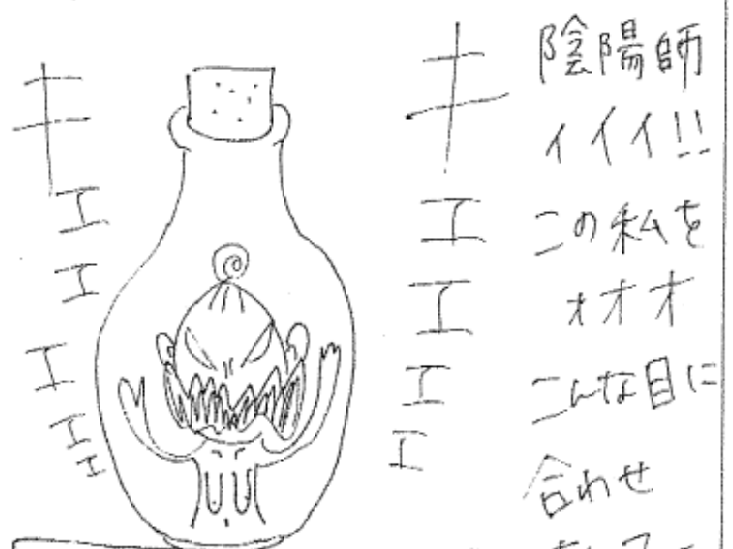
僕と一緒にオオクワガタ、

捕まえませんか

山形県出身の少年。以下に彼の好きなものを挙げる。  
女子  
虫  
川遊び  
スイカ  
メロン  
農業

0型☆

40) ウッチェバー



名前の由来は「うるさい婆さん」。妖怪。服を着ない。

「あの陰陽師  
イイ!!  
この私を  
オオオ  
こんな目に  
合わせ  
おろして  
イイ」  
ナ  
イ  
エ  
ナ  
イ  
エ  
ナ  
イ  
エ

< 01 アミリー・ミンゴヴィニ >



アミリーさん、何様様はいらぬっていても  
 分からないの！ 案外馬鹿なのね！ おばあ様が  
 大はな、ミンゴヴィニの当主は私だけれど、権利とか土地  
 はもうないの。親戚の人たちがホームを保持して  
 っらや、だから。でもね、その方が気楽でいいものよ。

< 02 ケイミ・アシュワース >



アシュリー…… のためなら いっどもこの命、  
 投げ出す覚悟はできております。 そういうと  
 アミリー…… は ご虫腹 しますわが。  
 本心からの言葉ですのに、どうしてでしょう。

< 03 ケイト・ニューホーム > 女

[21 十月11日]と  
 文通している。  
 大学において 文藝人類学  
 を学び 学者になるのが夢

文通マッ?



さあね、あいつ。  
 『まげん』と！ 皆ん。

堅るしい相性は  
 ぬまにいて、今日  
 一日のし叶れよう  
 ね、よかったら私と文通  
 しませんか？

< 04 ナオミ・ブランチイール > 女

(長女)  
 日系人。京都の古料亭の娘。  
 将来の2Xは 報道カメラマン  
 だが、両親とは話していない。

私がカメラマンになりたい  
 なら、さあ、父さん  
 母さんも 肩を振かし  
 とう。 習丁なんぞ  
 持ったと、なぬの：料  
 亭のげだ、なんぞ、  
 その方がよっぽど  
 びくびくすると思わ  
 ない？！



< 05 マキャリール >

印刷会社社長令嬢。15才。  
親がきめに結婚をいせが、  
とかけおちを金だてている。

カチリアさんにも  
困、たものはゆ。毎日  
どこからともなく女生徒  
を連れてきてはいじめ(精  
神的に、ことばで)。  
アロー、私の身にも  
なつてほしいわ!



< 06 カチリア・アホロボット4 > ♀

世界的ホリエの娘。<sup>17才</sup>  
うおのき月却が悪く、華イスマ  
生活している。変態。  
目も悪い。

ごきげんよう、みなさん。  
今日も美しい朝を迎え  
られたこと、主と私に  
感謝いたします。  
あらその貴方、なぜ  
目もろくろいになった  
の? こちらを見て  
下さいな。



< 07 暮らしてじやがいも >



もしも願いが叶うなら、  
じやがいもになりたい。花でもいい。  
こんな醜い姿から解放されるなら、  
バササにだって、作業員になろう。

< 08 たまごマシーン >



元気がないと玉 玉しいとき、  
このネジにそっと触れて回してみて。  
きっと君の代の中にとんでいくから。



< 09 オセニアデニデニムニ >

学術名: セリナサバクハツ



\* 自分の汗の塩分  
が溶けてしまう。可哀想なデニデニ虫。  
しかもオセニアにうまいるので寿命がすごく短い。

うあゝあゝあゝあゝ... (略)... あゝ

あゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ...

... (略) ... うゝあゝあゝあゝあゝあゝあゝ...

< 10 ものこ / MoNoCo > <sup>Mのこにんぎょ</sup>

\* 売り出し中バーチャル  
ロリっ子アイドル。  
設計者の趣味より  
モイ・アイ。お金を  
出して10-14を買々と  
自分なりにカスタ  
マイズできる。でも  
おまん。



どおも母さんにちわあ。  
ものこでありますう。  
日本のうす汚い愚民どもに、ひとときの  
夢を与えてやってるのでさう。ものこか  
もあーともあーと かあいく♡ たまごにあ  
にい。せつせとお金をみっぐのどさう☆

< 11 手ノコ (ニククネ-4) >

USBXモII

\* 持ち主に承まれ、全体  
にみびが入り、なおがっ  
中指がとれてしまっ  
たので捨てられた。



後に意志をもち、動くようになったが、虫や行  
にしかうごけなない。

1911コニにっあげると (ヒトミのUSB)

あゝあゝ という。

外すときは

ぐゝら という。

<sup>オトメ ラニ</sup>  
< 12 音羽 RUN >

\* 日本で発売された  
外付ハードディスク。  
簡単な日本語と英字が  
対話も可能。他言語  
版は現在開発中。



オハヨウガイマス  
マスター  
本日、ガイウケニ  
オウカガイマス

< 13 森野 愛子 >

※日本人コスプレイヤー。女子高生  
 モノコにハマリ月に5万  
 円モノコにつきこんでいる。  
 アキバパラどほ有名な  
 コスプレイヤー。  
 HN アイモ



ど、も☆こにうはあ  
 HNアイモですう。  
 あたし、モノコ  
 ちゃん大好きです  
 ずっと  
 モノコちゃんに  
 12月1日ですう。

< 14 宝条 あゆみ >

(森野 歩美)  
 21歳で世界。  
 16歳、20歳ど二人の子とモを生む。  
 伝説的アイドルグループの初  
 リーダー。16のときに森  
 野剣介と電撃結婚。



私、ふゆあ女の子に長けます!  
 アコのみんなも大事だけど  
 私もっと一番大事にしたい人  
 をみつけることができました。  
 ...からはその人と幸せをともにしていきます。  
 みんな、だいすきだよ。ありがとう!  
 (引退発表 + 結婚 記者会見あり)

< 15 ヒトミ・アランテイル > 女

十才ミの双子の妹。ポルダ狂。  
 日本のサブカルチャーが大好き。



あたし、お姉ちゃんの  
 ことは女子主だけど  
 甘くないです。  
 変なガッコにいら  
 るせいか頭キョー  
 堅いんだよネ。

< 16 フィオネ・マリーゴールド >

カチリア専属のマサージ師  
 タイに留学経験あり。



カチリアお嬢様  
 の脚を少しも  
 ぶくすくす。それか  
 私の目的どお  
 生きる上での手段  
 です。  
 お嬢様 おーい  
 うふふ、

<17 森野 こだま 男 >

森野愛子の弟。中2。  
姉がコスプレイヤーなのがい  
気になる。という噂がある。  
最近彼女ができた。



姉貴おれえやえし。  
何アレの子？モコ？  
確か知人かエけど、月くらい  
使ってた。マジ目エエ王  
せつなの。オレとか彼女できて部活も副主将  
だし、うらやめよってかんじ。...ただ、彼女がい  
ちょっとコスプレに興味あるやえ。それが  
バツ。ねえちゃんけたくなるんか。

<18 森野 創介 男 >

毒をはやく出し、男手ひとつで  
子どもを2人そだててきた  
お父さん。愛子の将来を  
心配している。

ホテルマニ



愛子は大丈夫なんだろうかと。  
週末になるとおかしなカマ  
で出ていったま戻らんし、  
部屋にひきこもりがちだし。  
母さん、いっおれは育て方  
をまちがったんだらうか。  
おしえてくれ。母さん。(お母さんのこと)

<19 川口 瑞穂 女 >

こだまの彼女。中2。  
ガラスバンド部。



川口瑞穂 14歳です。最近 何いクラス  
の森野君に告白してOKをもらいました。あご  
い緊張したけど言えてよかった...! 実は森野  
君にもいってないけど、コスプレに興味あります。

<20 地面を3泳ごサメ >

最近 南米パルで発見  
された地面を3泳ごサメ。  
アスファルトの下も3泳ご。  
謎の生物。群れで生息。  
仲間とは一種のテレビシ  
メのようなもので意思を伝えている。



エサ  
2時の方向に標的発見!  
各員戦闘配備! 逃がすな!

<21 タリア・フェルフェリフ > ②④

人類学者 + 写真家

フェル + カタダを中心  
(ニカタダ・エスキモ - (エスキ  
ト)の研究と写真を  
とらわけている。



今年はずっと寒いな。

カッターにあいつといいか  
その前に手が凍りそうだな。

まった。そういえば久し

くイトに手紙をかいていないな。今夜百太郎  
写真をとって送ってやろう。

<22 タクロウ ♂ >

②⑤

タリアの犬。  
性格は大ざっぱ。  
ときどき返事(吠声)を  
しては叱られている。  
ゴウセツとは兄弟。



タリアの姐さん犬語  
分かってんじやねえの?  
何ぞオレがアキと  
にあいつらうったろ

段々だよ。まじおこれちまうわ。  
... 土曜。服装でええまった。

<23 コウセツ ♂ >

②⑥

タリアの犬。タクロウとは  
兄弟。性格はおだやか  
●



こんな寒いところにいると  
時々べつが凍。ちやう  
んじやないかと思う  
んだよね。まあ、  
ム、こめばいいだけ  
なんだけどさ。

<24 ミニク・ピットバーク > ②⑦

国境なき医師団に所属  
独人。ミエラシオネに  
在任中 内戦がはじまり  
その際に左耳の聴覚を失う。

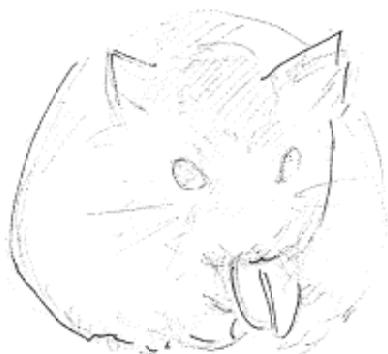


.....  
.....  
もう一度いつか  
耳が遠いんだ。

<25マズ" ♀ ②0 >

ロボロフスキ・ハズグー

ふいとり



すーちゃんとはよく私のごはんを食べるけど、私はそっと許してあげます。だって私はおねえちゃんだから。

26くすみ ♀ ②1 >

ロボロフスキ・ハズグー

森野家のハット。

ずかろ



ひまわりよりもくすみが大好き！  
のうまなマズちゃんのごはんまで  
食べちゃうぞ。

29 モニカ・ニューホーム ♀ > ②2

イトの姉。737-3347

店長。23歳



イト おうちのことは気にしないで  
自分のやりたいことを履きなさい。いっだってお姉  
ちゃんはおんなの 味方よ。

<28 キャンディ・シフォン 女>



15歳  
生物学者

全ウサギ注目! キャンディシフォンとは  
私のこと! 弱冠15歳にしてベル  
ホワイト大学を首席卒業した「オウサギ」(♀)  
よ! 卑しい  
ひねふいなさいウサギ共!

29  
11エ

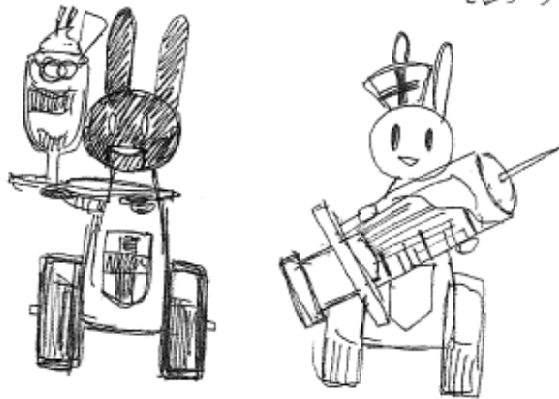


\*  
ウサギの  
視神経  
の培養  
したもの

< RC 4E 1527 >

おれをただの目へたまでと思ったらさ大  
まろがいたぜ! この水の中へ浸ってるとだに  
おれ、えらくおろちたんだぜ! あ! 11エ!  
せんのうしておれの手足はしらかうんだぜ!

<30 ヒトリ 7号 + プリンセス姫子>



我ラズメデム。  
キャンディ様ノオ側ニ仕エシ  
ホトメ形デアル。  
命令ニハ絶対服従!!

<31 エクレア・ユアト 女>



27歳  
執事

キャンディお嬢様の執事をさせていたが  
いております。エクレアと申します。  
キャンディ様は私の前では年相応  
の可愛い姿を見せて下います。  
でも、おウサギの方は... 正直、  
おもしろいと思っております。

<32 マリマロ丸 >



キノ  
+  
ウサギ(欧州国)  
+  
ペンギン  
+  
ニワトリ  
← のキマ

「いやーまいったぜ。キマニテイ  
様のゴ機嫌をこねたらペンギン  
のキをっけられちゃった。おしほ  
どこへ向かってんだ。」

<33 タルト・ニコワリム >



「どうしてキマニテイちゃんは黒いカミツの？  
どうして黒いめツの？ どうしてウサギ  
なのに、黒いの？ ねえ どうして？  
どうしてあんなにきもちわるいの？」

34 クラガニ丸 >



クラゲ  
+  
ヒラニ(の口  
とエラ)  
+  
水草

「ニワ... ホシイ...  
オオカ... スイタ...  
キルムア... ハヤア...  
ヤシ... タバタイ...

35 < 千ヨコライト・フイッシュ >



絶滅危惧種 淡水魚

いたい。僕らはただ生きてい  
ただけなのに。反にたえない。……  
反にたえない。千ヨコライトには  
たれない。

< 36 ダイバー・ミズアメ >



千ヨコライト・フイッシュをとりつづけて  
40年。ねてもいぬでもヤリらの  
ことだけを考えている。狩りのコツ？  
簡単だ。ヤリらのバの声をきけばいいだけ。

37 < マカロン・コハト >



主君に関しては何も口外せぬよう  
厳命をうけておりますゆえ、申し上げられ  
ないことではございませんの、どうぞおひまを。

< 38 千ユロス・モンブラン >



千ユロス家でバトラーをやってます。たぶん  
15歳くらいから？ 屋敷の中ではキアニティ様  
の次に差いと思いますよ、たぶん。  
どうぞおひまを。で、おひまを。たぶん。



<39 エセバオ・ミフォン >



雲のように

ウサギは白くて美しい肌と髪を、  
血の赤い目と持っているまわりの  
そとないものをウサギと呼びたいわ。  
呼びたいわ。

<40 カリン・ミフォン >



キャンディ？ あの娘が私の子で  
あるはずじゃないの。ウサギのくせに  
黒髪黒瞳なんて、一換の顔でさら  
しよ。エセといえなければいいわ。

<41 ムルス・ミフォン > 故



口惟一 天寿を  
まっとうした  
キャンディのそうねえ  
おかげ

控に利 働は使あさんに食らわ  
てしまったが、かまうことはない！ こうして  
おかげとしてキャンディの便りにいるんじから。  
キャンディや。  
おじいちゃんはいつでも便りにいるぞい。

<42 ミルフィーユ・蝶子 >

(キャンディのボット)

※ 遺伝子が不安定  
なため身体が  
よくとける。

ウサギ  
+  
キョウ  
+  
ナメコ  
+  
川



我、  
申しあげたし。  
キャンディ様に異議を  
我の死 ありにも無様なり。

〈付録 2〉 第 2 次調査

調査で用いられたぬいぐるみ



名前 : ao



名前 : aka



名前 : kiiro



名前 : pinngu



名前 : siro

## 01 調査データ

01001N：今日、寒いね

01002I：寒いね、なんでなんで君は何にもしゃべらないんだい？

{TさんがIさんのぬいぐるみを叩く。}

01003N：怖いけど、なんか、ちょっと、ちょっと向こう行こう

01004I：向こう行こう

{Tさんが新しいぬいぐるみを持ち込む。}

01005N：あ、なんか新しい人が来たよ

01006I：こんにちは！

01007N：へ？なんか戸惑うんだけど

01008I：りこちゃんは？？？が来たらなんにも話さないんだい？

01009T：こういうの苦手だからだよ

01010N：そうなんだ

01011I：そうなんだ、頑張れ！頑張れ！

01012N：頑張れ！

01013T：結構無理があるんだ

01014N：プリキュアあるよ

01015I：プリキュア女の子がいるよ、やりましょうよ

01016N：ガールズトーク、ガールズトーク

01017T：こういうのすごくつらいね

01018I：つらくないよ、かわいいこいつ、私を使ってみるんだい？

01019T：でも君はたぶんあれだよ、偽物だよ、ミッキーの

01020I：うん？何を話したな？

01021N：よく見ればちょっと違う

01022T：口とかも違うだよ

01023N：うん

01024I：うん？なんのことかな～私はかわいいネズミちゃんだよ(ぬいぐるみを左右に動かす)

01025N：あ、そうなんだ

{Nさんがぬいぐるみを変える}

{Nさんが自分のぬいぐるみでIさんのぬいぐるみを叩く。}

01026I：きゃー、ねずみ、ねずみをみんながいじめるよ

01027N：キキキ

01028T：ガーガーガー\*これしか言えない

01029I：こ、こ、怖いよ、怖いよ\*変えてみる

01030I：ははははは、パッ

{Iさんが自分のぬいぐるみでTさんのぬいぐるみを叩く。}

01031T：痛い、痛い

01032N：これはなんだろう、君何？

01033I：僕は、僕はラーメンマンだよ、かっこいいだろう

01034N：寝不足なの？熊が

01035I：うん、ちょっとストレスでね

01036N：そっか、私も卒論が疲れるんだよ

01037I：うん、僕も卒論でストレスがちょっと溜まってるんだよ

01038N：あ、それはあるんだ

{Tさんが自分のぬいぐるみをIさんのぬいぐるみの上に乗せる。}

01039I：上に乗らないよ、痛いよ、重くないけど、痛いよ

{Tさんがぬいぐるみを降ろす。}

01040N：なんだろう、君？

01041T：戸惑ってるんだ、この状況で

01042N：なんか、ずっと戸惑ってるよね

01043I：おもしろいね、おもしろいね、お～もしろいね

01044T：大学を回っても戸惑ってるんだ

01045I：おもしろいね

01046N：戻ってきました

01047I：お帰り、はじめまして

01048T：このボタン付いてどう思う？

01049N：なんだろう

01050I：そのボタンは気になってから離れないんだい？

01051T：残念ながら、繊維を隠さないと数えないんだな

01052N：せつないよ、そんなことに

01053T：あ、でも、気付いた、こんなところに糸があるよ

01054N：ハアッ？じゃあ、腕を結べるんじゃない

01055T：そういうことは、でも、どうやったらどうなるんだい？

01056N：ま、前に結ぶんじゃない？

01057I：前に結ぶんだよ、きっと、いいな～、僕なんか、手が短いだろう、そんなこと絶対できないよ

01058N：私なんかむしろ離れないわよ

01059I：本当だ

01060T：だいぶ問題じゃないの

01061I：飛行機にずっと乗って空を飛べるっていうことだよ

01062N：たまには地上歩きたいさ～

01063T：ここと思ったんだけど、これ違う気がするな  
01064N：あ、なんか違うね君  
01065T：たぶん後ろじゃないのかなって、自分で後ろにしたんだけど、どう思う？  
01066I：後ろにやって見たら  
01067N：じゃ、ちょっと手が洗わぬ方向に  
01068I：すごい痛くないのかい？それ、握ってもらって、それはなんか、なんかさらわれているの  
01069N：あ、そうそう、これから事情聞き取りみたいな  
01070I：さらわれた人みたい  
01071T：あ、悪だから  
01072N：あ～そういうこと？  
{Iさんがぬいぐるみを変える。}  
01073N：あ、プリキュアちゃん  
01074T：長かったな、あいつ  
01075I：私、私プリキュアだよ、かわいいでしょう  
01076T：その髪の毛どうなってる？わかめなの？  
01077I：違うよ、これは固められてるんだよ、もうすでに、かわいいでしょう、びくともしないよ  
{NさんとIさんがぬいぐるみを持ってTさんのぬいぐるみと戦う。}  
01078I：痛い、痛い！  
01079N：だめだよ、だめだよ  
01080I：悪はこうやってプリキュアキック  
{IさんがぬいぐるみでTさんのぬいぐるみを蹴る。}  
01081T：集団リンチっていうんだ、それ  
01082I：違うよ、正義のプリキュアだよ、あ  
01083I：セクハラ、セクハラ！  
01084N：何してるの？  
01085I：これはセクハラだよ、イーヒ（泣）ありがとう、ありがとうマリちゃん  
01086N：どういたしまして  
01087T：普通逆じゃないか？  
01088I：うん、大丈夫、私プリキュアだから、強いよ  
{Tさんがぬいぐるみを行ったり来たりする。}  
01089N：何？  
01090I：何？  
01091N：何、ねえ  
01092T：うろうろしてる、反復横飛びっていうんだよ

01093N：いいな～私は手、足がつかないからできないよ  
01094I：でも、空を飛びながら反復横飛びでも  
01095T：でも、???は手が顔から離れないよね  
01096I：違うよ、離さないんだよ、チー  
01097N：あ、なんかはやい  
01098I：プリキュアだからね、はやいだろう、????ないだろう  
01099T：お腹減ったな、肉を食おか  
01100N：肉か、私どちかって、魚が好きかな  
01101T：いや、食うのはこっち、食われるのはそっち  
01102N：退散～  
01103I：生け贄が来たよ  
01104N：食えるの？これ  
01105T：たぶんまずい  
01106I：私は、私は遠慮しとく、私はかわいい女の子だから、そんなもの食べないのよ、お菓子しか食べない  
01107T：いける、いける  
01108I：無理、無理！絶対無理だよ  
01109N：どのへんがおいしそうかな

## 02 調査データ

02001A：悪です。＊恥ずかしがって、始まらないんだろう！怖い！怖い！あの人怖い！顔青くねえ？真ん中の女の子ぜんぜんしゃべらん  
02002B：ええと、日々地球の、頑張ってます。あなたは？  
02003C：ちょっと悪っぽいと思うんですけど  
02004A：いや、俺が悪だ  
02005C：俺こそが悪くだ  
02006A：みんなが悪い  
02007A：倒さないと、倒さないとやめてください  
02008A：これ、いま気づいたけど、手縛れねい、糸が、手縛れる！縛られる！これ、受験生がこれやったもん  
02009A：私の????が見方だと思うんだけど、私の顔が怖いって、だよ、ですよ、私失礼でしょう＊ちゃんとやれや、おい！2子って使っていいって聞いてない  
02010C：使ってないです。乗せるだけです。  
02011A：捕まっとる＊会話しろよ、会話  
02012A：今日いい天気だな～プリキュア  
02013C：プリキュアらしい

02014A : 歌え  
02015C : 歌え  
02016A : 歌って、踊れ、プリキュア  
{Cが自分のぬいぐるみでBのぬいぐるみを叩く。}  
02017 A : 完全に笑うやん、こっちでいいわ  
02018 C : (Bがぬいぐるみを変えるのを見て) 嫌れた  
02019 A : 完全にかわいい子ばかり使うね  
02020 B : 猫  
02021 A : ちなみに何回も言うんだけど、俺悪だから  
02022 C : こっちが悪だって  
02023 A : いや、それは顔が怖いだけ  
02024 C : それは文字書いてるだけ  
02025 A : やっぱこれ証明、証明っていうこれ、それって見た目、あなた見た目じゃなんですか？僕証明されてるんで、お腹でね  
02026 C : 分かる  
02027A : やっぱりそのね、なかなか知らない、捕まると、繊維で捕まると状態を表せる、ね、縛れとるね、確実にこの3人見た真ん中やつ、よく分からない  
02028B : 魔法、魔法猫  
{Bがぬいぐるみで空を飛ばす。}  
02029A : それは無理だって  
02030B : つまるね、きつとしゃべるけ  
02031A : きつとしゃべるけ、曖昧すぎる、てか、言葉も  
02032B : いい感じしてる  
02033A : それがおもしろい、完全な自慢、文字ぜんぜん変わらんか  
{Aが新しいぬいぐるみを変える。}  
02034A : 見て私、手術の痕があるの、やんきな  
02035C : やんき  
02036A : こんにちは！\*何しゃべるの？なんかない？  
02037C : 趣味  
02038B : 趣味、趣味合コン  
02039A : 趣味合コン？猫も合コンすんの？  
02040B : 趣味は猫らしく魚屋の  
02041A : それ趣味じゃない  
02042B : あの、ま、商店会のキティ二番目のかたが一番いいんでしょうか  
02043C : たくさん  
02044B : その商店会に見に行ったんですけど、それはやはり二番目の子が

02045B: (Cが持つぬいぐるみに向けて) 人間ですか

02046A: 私が人間

{Aが新しいぬいぐるみを持ち込む。}

02047A: 私が悪だ

{Cが新しいぬいぐるみを持ち込む。}

02048A: 絶対顔が悪い (Cのぬいぐるみを向いて)、顔悪いですよ、それ、あんた悪い人だよ、それ顔でかいわよ

02049C: それはそれはま～

02050B: 熊

02051A: 熊、熊だ熊

02052C: ミニちゃん

02053A: ミニちゃん? 離れすぎ

02054B: ミニちゃん?

02055A: ちょっといま気づいたんだけど

### 03 調査データ

03001F: さ、過労するのだ、お前、ほら\*会話、会話、話さないと、お前、なんで、こんなところボタン付いとる?

03002G: \*なんで悪になっちゃった

03003F: \*前に来てたらこういうふうになっちゃうで {ぬいぐるみの腕を後ろに結ぶ} お前腕、腕ねえな、腕なくなるとるわ

03004D: \*後ろで絞られとるわ

03005F: \*絞られとるわ、拮抗か、だめやな、悪やな、どこから来た?

03006G: ジャンジャン国\*あ、眠すぎ

03007F: \*そうか、ダンスが得意んだ

03008F: どこから来た?

03009D: どこの出身?

03010F: わからん

03011F: \*こいつ、こいつ目死んでます

03012D: 目死んでる、名前はなんだ?

03013F: 難しい、何をやってんだろう?

03014D: この分、10分ならない

03015F: ピラフです。ピラフです。\*な、お前が高菜食ったら、高菜ピラフ、えび、えびピラフ、えび好きか。俺好きだ。えびピラフが一番、や、一番じゃないやけど、えびピラフ好きだ。エビチリがね

03016F: おお、何ゆってんの? プチプチプチ



03017D : フフフ  
03018G : 喧嘩  
03019D : プチ  
03020F : 貴様、貴さん、困苦な  
03021D : え、そんな  
03022F : ドン {ぬいぐるみをDに向けて飛ばす}  
03023G : 私、見てます。デッカイな目で見てます  
03024D : デッカイな目  
03025G : デッカイ  
03026D : デッカイな～お前  
03027F(aka) : 趣味は、あ、ええと、ガーデニング  
03028F(ao) : あ、ガーデニング、あ、いいですね、このきです。  
03029F(aka) : あ、おんなです。はい、あ、すみません、カレイの  
03030F(ao) : そうですね。カレイのほう勉強した。  
03031F(ao) : あ、チャーハンですかね  
03032F(aka) : あ、ピラフさんていうと、チャーハンです。  
03033F(ao) : あ、はい、よく合いますね。あの一、なんかなんか、洋服がなくなって  
03034F(aka) : あ、はい、そうなんです？  
03035F(ao) : あ、はい、すみません、話すと？？？  
03036F(aka) : いやいや、そんな、そんなそんな  
03037F : スワー、スワー、スワー {Fがぬいぐるみを飛ばす}  
03038D : \*海図ですね、これ  
03039F : 海図？  
03040D : 海図っぽい、みつき、なんか、ディーズニって書いてる  
03041F : これみつき？へえ～～、なんか微妙に違うね  
03042D : \*うん、目も悪い目つきと、  
03043G : 悪に何をしてるんですか、悪って書いて、本当な悪だ、？？？お母さんと一緒だ  
ったっけ  
03044F : \*まじで？お母さんと一緒こんな子おった？？？  
03045G : \*そうそうそうそう  
03046D : \*あ、でもおって気がするな～  
{Gが siro でDの kiiro を叩く}  
03047D : あ、びっくりした  
03048G : ははは  
03049D : 俺なんで？？？  
03050F : 悪じゃない？

03051G : 正義のほうが強いですわ  
03052D : あ、正義なんです？  
03053G : たぶん白いから  
03054D : なるほどね  
03055G : 私は正義なミャー服だけ着けただけよ  
{F が ao を持って飛ばす}  
03056D : 一人で遊ばれる  
03057F : \* 疲れたほ、なかなか難しいのかな  
03058F : \* 訝しいな顔をして、悩みがあるか、ゆってみ？もしか  
03059F : \* 後何分？分かるかお前、お前は、お前はどうして  
{D が ao のあたまの線を引っぱる}  
03060F : \* ははは、怒ってる、むっちゃ怒ってるな  
03061D : チャーハン作れんけんね  
03062F : \* 覚えは？？？  
03063D : 覚える？  
03064F : \* バター入れられじゃない？  
03065D : バター入れる  
03066F : \* バターフライペンで溶かして、ご飯入れて、なんか  
03067D : ご飯入れる  
03068F : \* じゃ、まず先に具を入れる  
03069D : 先に具を入れる  
03070F : \* 具を入れて、じゃ、ええと、なんか、炒めて、ご飯炒めて出来上がるだろう  
03071F : \* うんん、難しいな  
03072D : 難しいな  
03073F : \* 難しいんか、お前も難しい  
03074D : 難しいですよ、人との会話難しですよ  
03075F : \* うははは、難しいわな～  
03076D : よう分からん  
03077F : \* 俺もぬいぐるみと話すってなんなん、したことない  
03078D : あんまないな  
03079F : \* きみは何だ？日本人だ  
{F が aka を叩く}  
03080Faka : セイバー、セイバー  
03081D : シャシャシャシャ  
03082F : 洋服結構貴重としてます\* お前すごいな (F が pinku を叩く)  
03083G : 痛い痛い

03084G：人間じゃないよう、何ですか？  
03085D：チャーハンです  
03086G：チャーハンですか？あなたの名前は？  
03087D：ピラフです。  
03088G：あの、？？？マークは何ですか？  
03089D：帽子の装飾です  
03090G：何かのシンボルマークというわけですか  
03091D：ええ、ドラゴンボールの、あれは何かい、あの一、一つのやつ、一つ目のドラゴンボール  
03092G：あ～、なるほど  
03093D：それです  
03094G：納得  
03095D：その帽子は何ですか？  
03096G：これ、幻でかぶると、この世よほど聞いてくれるんですよ  
03097D：あ、そんな設定が  
03098G：そんな設定を作った  
03099D：マントは何ですか？  
03100G：マントも帽子とセットで、かわいいでしょう？  
03101D：確かに  
03102G：サンクス、？？？似てますね、似てる？  
03103D：そうでもない  
03104G：そうでもない、あ、あ  
03105D：うん、あんまり？？？たくはない  
03106G：あ  
03107D：その帽子の、いや、ほうきの、ほうきのそれは何ですか

#### 04 調査データ

{Jが pinku を叩く}

04001J：死ね、死ね  
04002K：あ～～、やったろう、悪は許さないわよ  
04003J：なんと言う、ほら、？？？ではない！  
04004K：どん！  
{Kが kiiro を叩く}  
04005J：お前は誰だ？  
04006K：私は正義の見方よ  
04007L：うそつき

04008J：え？？へへ  
04009L：あなたの正体は知ってるんよ  
04010K：何だって？  
04011J：こいつの正体はいったい何だつとるようか？\*なんなんだ？  
{Lが ao を J の前に持っていく}  
04012J：なんだ、こいつは、いきなり上がられて出ているぞ、何だこいつは、顔色が非常に悪い感じ  
04013K：ばれたか、なぜ分かった？  
04014L：それは頭がひもがっているのみんな悪よ  
04015J：なるほど、お前のひもが、お前は何？  
04016K：お前だって、その帽子の下にひもがあるじゃないか  
{Kが siro を叩く}  
04017J：戻って帰るのは人の姿で変えるのが常識と言われている、こういうこと、しかしなぜなら三人????  
04018L：前世はなんだった？  
04019K：前世は魔法使い  
04020L：私、前世はベティガールだったの  
04021K：本当だ、どう見てこの格好、何かの縁物かと思ったよ  
04022L：運ばすで働いたわ  
04023J：お前いくつだ、なんで????空間の予防的な顔にしまったんだ、全員やけだったら話がつまらないと思うけど、悪は悪同士で戦うことはできない  
{Kが kiiro を叩く}  
04024J：結構多かった  
04025K：これはさあ  
04026J：ううん？ちょっと頭怖いわ、頭がでっかいすぎるから、頭身が  
04027L：1.5 頭身  
04028J：1.5 ぐらい  
04029K：何だ、お前  
04030J：\*頭身が一番何だろう、悪には、スタイルは????  
04031L：木のボタンはどうした？  
04032J：これは縫い付けられてしまった、昔正義の見方と戦っている時に、ボタンを縫い付けるつけられてという、こういう手を受けてしまった、お前もボタンを縫い付けてやろうか  
04033K：逃げろ、助けて  
04034J：われわれはじしゃか  
04035L：きめ台詞

{Jが ao を引いていく}

04036K：ああ、痛いよ、止めてよ

{Kが aka を叩く}

04037L：暴力はいけないわ

04038K：え？君は先の

04039L：魔法使い、百戸バスよ

04040J：起きてしまった

{Lが sio で ao を乗せて ao を落す}

04041J：これは事故で～す

04042L：舞いしちゃった

04043J：生き行き返たぞ

04044L：思わぬ侵入者が

04045J：じゃ、あなたが何が何がどういろいろ起こったわけで生き返ることができた、やったぜ、なんでたどたどってしまうことになっていたのかよく分からないんだ

04046L：それは体が黄色いから

04047J：これ、体が黄色いことが悪い子って言うんだ

04048L：体に悪っていう字が出ているじゃん

04049J：これは模様だ

04050L：誰に書かれたの？

04051J：これは元からだよ

04052L：あなたの頭は赤と青よ

04053K：これはどうしたんだい？

04054L：あさりゅうが作ったの？

04055K：ぼくは全身が青だよ

04056L：どうした？ここ

{Lが ao の頭を触る}

04057K：これは帽子だよ

04058L：ださいわね

04059K：うるさい、お前だってださい帽子じゃないか

{Kが sio を叩く}

04060L：きゃ

04061L：あなたは頭から花咲いているわよ

04062K：おしりも花が

04063J：これはたぶん毛だ

04064K：毛

04065J：なぜ語ってるぜ、もうちょっとなんかこう話し合えて解決して行こうよ

04066K : 何言ってるんだ、ぼくらは悪だよ  
04067J : そう言えば、悪じゃない、ひもが出てない、唯一は  
04068K : だって本当の正体は悪なんだ  
04069L : もうやめたもん  
04070K : 何？  
04071L : 私今日からいい人よ  
04072J : 人？すごくまず？？？頑張っているみたいなの  
04073L : 歩き方べとべるわ  
04074J : お前はなぜこんなことができるんだ、どこで飛んでいる、羽もないのにどうやって飛んでいる  
04075L : ほうきで飛ぶもん  
04076J : あれほうきか  
04077K : じゃ、そのほうきを取ったらいなくなるんだな、へいへいへい、取ってやる  
{JとKが siro のほうきを取ろうとする}  
04078L : あ、変態  
04079K : と、取れない  
04080L : さばあみさまず  
04081K : え？何だって？  
04082J : 何だって？何を言い出したん、こいつ  
04083L : 私は？？？飛びながら名古屋出身のれきしまだわ  
04084J : あ～、実は名古屋出身だったんだ、俺は東京かむらという？？？で、はとバスで働いてたという経歴を差損するから、悪よりもなおれい食い感じの悪だ  
04085L : なんか悪じゃにってば  
04086K : もともと悪だ  
04087L : もっと悪  
04088J : 俺悪やめようかな  
04089L : 正義のほうの実刑かかるわよ  
04090J : なるほど、いまの俺の悪の？？？2級、7百20円だな、正直言ってこれじゃ生活が  
{Kが ao を kiiro の前に持って行く}  
04091J : なん、なん、なんだろう  
04092K : その悪の印は気になるじゃないか  
04093J : 最近、何っていうか？？？  
04094L : 髪の毛黄色で、かわいいピンク色の服よ、聞いてあげようか  
04095K : 本当に？  
04096L : じゃ、自分をかけるぜ

04097K : うん  
04098L : ええと  
04099J : いま？  
04100L : ええと、ええと、ええと、ピー  
{L が ao の頭を叩く、K が pinku を持ち込む}  
04101K : じゃん  
04102L : あら、変わったでしょう  
04103K : なんでこんなになっちゃった  
04104J : できすぎ美容だった、びっくりだ  
04105K : ひもは無くなったわ、私のひもは無くなった、私正義よ  
04106L : やったね、自給が千円に上がったじゃない  
04107K : やったわ  
04108L : あなたも変えりなさいよ  
04109J : 私は変身できるかな、よし  
04110L : じゃあ、3 回回って、やっと言ってごらん  
{J が kiiro を 3 回回す}  
04111J : とにかく回った、やー  
{J が aka を持ち込む}  
04112J : は  
04113L : ほら、変わったじゃない、あなたも  
04114K : あ、はとバス、え？へえ？なんでなんで  
04115J : はあ？なんか体がはとバスに変わったぞ、はとバスにはなっていないけど  
04116L : ごめんなさい、実はいま在庫がないの  
04117J : 在庫？  
04118L : 何、在庫って  
04119J : 在、在庫?????  
04120L : 乗らんでもいいわよ、添乗ないし  
04121J : 正直、はとバス乗ったことないんだけど、いきなりと会長となってやってできるかな  
04122L : 適当に行って言えばいいのよ  
04123J : 女性に見えるのだ、反応です、こんな感じ  
04124L : そうそう  
04125J : なんていう仕事なんだ、これで自給が 750 円より上がったならもうやめられないぜ、おいしい仕事なんで  
04126K : バスサイトってこんなんじゃないの？その格好して  
04127L : 最近の日本はこういうほうがやりなのよ

04128K : へえ？

04129J : やった、やはりなん、さすが流行に敏感な白いほうきに乗った人は渋谷だ、流行に敏感な名古屋出身の白い人はすごいな

04130L : さ、お掃除しましょう

04131J : なんてことだ

04132K : 私も

04133J : \*いつ十分立つんだ

04134L : ささと雑巾しなさい

04135J : 分かりました、雑巾がない、かけて気づいたけど

04136K : あるよ  
{K が ao を J の前に持って行く}

04137J : あ、すごい！よし、こいつがなかなかゴミが下ろそうだ

04138L : 私も雑巾にしよう  
{J が aka で ao の近くに持ち込む}

04139J : あ、食う、大丈夫か、そろそろ時間が切れた  
{J が kiiro を持ち込む}

04140L : あ、戻った

04141J : もとに戻ってしまった  
{K が ao を持ち込む}

04142L : お二人在庫処分のための変身はだめね

04143J : 在庫処分

04144K : そっか、だから早く戻っちゃったんだ

04145J : 早く新品になれ

04146L : あのさ、首から白い??が出ているわよ、何だかくまもひどくなっているし、何があったの？

04147K : お腹すいた食べに行こう

04148L : 私もお腹すいた、よし

04149L : ムシャムシャムシャ

04150K : あ、おなかいっぱい、おなかいっぱいになった？

04151L : 私はこのとれでスープ作るわ

04152K : おお

04153K : スープできた？

04154L : できたよ、さ、どうぞ

04155K : お～いしい

04156L : 前がお客さんやろう

04157J : こんばんは



04158K：こんばんは  
04159J：はとぼすのものです、あの一、バスの中にお忘れものがないですか  
04160K：違います  
04161J：違います？  
04162L：うちのじゃないです  
04163J：本当ですか？

#### 05 調査データ

05001K：よいスタート  
05002L：こんにちは  
05003M：こんにちは  
05004L：あなた、だいぶいろぐろね  
05005K：そうだよ、君たちいろじろだね  
05006M：そうだわ  
05007L：夏に、夏に日が差さしてからずっと、あなたは？  
05008M：私はお肌に磨きをかけてる、そろそろ結婚式だ  
05009L：あ～あ～、もう、もう、もう、もうウエディングドレスの格好をしているの？  
05010M：そう、式が早い  
05011K：早すぎだよ  
05012L：早すぎるよ  
05013M：そんなことないわ  
05014L：私だって、まだひつじ着てるだから  
05015M：厚くないの？  
05016L：これからよ、役に立つのは、わか飼主だっけ？けがを着てるじゃない？  
05017K：飼主？あ、本当だ  
05018M：さっさしてる  
05019L：それはわか飼主の毛？  
05020K：そうだよ  
05021M：へ？じゃ、もっとふさふさしてたの  
05022K：そうだよ、ぼくも鬣だろう  
05023M：すごく  
05024L：鼻がない  
05025M：どこで息してるの？  
05026K：それは口に決まってるじゃない？  
05027M：じゃ、ずっと口だけじゃないとだめだね  
05028K：君は口がないね

05029M：私は鼻があるよ、鼻があるから大丈夫、言葉が発声ないからテレパシーで  
05030K：テレパシーなの？会話じゃないの？  
04031M：会話のようで、会話じゃないのよ  
[LとKが自分のぬいぐるみでMのぬいぐるみを叩く]  
05032M：いじめないで、私のウェーブがぐちゃぐちゃになるわ  
[LがぬいぐるみでMのぬいぐるみを叩く]  
05033M：手が届かないんだわ、やめてよ  
05034M：そう、みんな手が短いよね  
05035L：私、手がお腹にくっ付いちゃってどれが  
05036M：どうやってご飯食べるの？  
05037L：こうやって  
[Lがぬいぐるみをテーブルに向ける]  
05038M：ああ、大変そうね  
05039L：そう、だからこんな顔になっちゃった  
05040M：あ、この顔は表情がうるさないよね  
05041L：そうなの  
05042L：どうしたの、やて我慢して  
05043K：変顔  
05044M：あ、いまうけるわ、まだ流行ってる変顔ね  
05045L：あ、私、ずっと変顔だわ、たぶんあなたも変顔  
05046M：私あまり、あまり見えないよ、ご飯を食べすぎちゃって、顔がパンパンになって  
動かなくなったわよ  
05047L：あ、そういえば、あなたの後ろにいかに良さそうな人が落ちてるわよ  
05048M：へえ？あ、君は何かしら  
[Mがぬいぐるみを真ん中に持っていく]  
05049L：うい、いったろう  
05050M：うい、いったろう  
05051L：お前もなんか言いよ  
05052K：うい、いったろう  
05053M：あれ、これいったろうじゃないわ、君は何なのかしら？  
05054L：みんなで人工呼吸  
05055M：鼻で、鼻で呼吸を  
05056L：いち、に、さん、し、ご、ろく、しち、はち、きゅう、じゅう  
[Lがぬいぐるみを叩く、Mがぬいぐるみで人工呼吸する]  
05057M：きゅ  
05058K：口がないのに、なんでできるの？

05059M：鼻で、鼻で呼吸を  
05060L：いち、に、さん、し、ご、ろく、しち、はち、きゅう、じゅう  
[Lがぬいぐるみを叩く、Mがぬいぐるみで人工呼吸する]  
05061K：健康マッサージ  
05062L：いち、に、さん、し、ご、ろく、しち、はち、きゅう、じゅう  
[Lがぬいぐるみを叩く、Mがぬいぐるみで人工呼吸する]  
05063K：大丈夫ですか？  
05064L：いち、に、さん、し、ご、ろく、しち、はち、きゅう、じゅう  
[Lがぬいぐるみを叩く、Mがぬいぐるみを起こす]  
05065M：あ、ありがとう、気を失っていたんだ  
05066L：あなたは誰ですか？  
05067M：おいがわハンバーガーきつとだ  
05068L：あなたはハンバーガーなんですか？  
05069M：ハンバーガーだって、顔は  
05070K：食べれるっていう  
05071M：食べれないって  
[KとLがぬいぐるみでMのぬいぐるみを噛む]  
05072M：やめろ、やめろ、やめろ  
05073L：あ、あ、苦い、苦いよすごく  
05074M：また気を失ったんだよ  
05075K：かわいそうに  
05076L：かわいそうに、ベルトも外れそうだわ  
05077M：うわ、本当だ、その手に乗っている黄色いのは何かしら？  
05078L：それはきっとカウボーイだから  
05079M：馬？  
05080L：きつとハンバーガーを買われるのよ  
05081M：あ～、ハンバーガーを既往に  
05082L：そういえば、二人とも羽が入っているのね  
05083K：そうよ、私は羽もはいつてる  
05084L：ほら、飛んでいる、変なところにネックレスを付け  
05085M：あなたの羽は黒いのね  
05086K：そうだよ  
05087M：私の羽と違うわ  
05088K：いいね、その羽  
05089M：ちょっと大き目の  
05090L：耳もぱたぱたするんでしょう

05091M：そうね、耳もばたばたできるわよ  
[Kがぬいぐるみを飛ばせて、落とす]  
05092K：どん  
05093M：助けてあげて、大丈夫？  
05094K：あ～落ちちゃった  
05095M：まだころころしてて、立ち上がれない  
05096L：ぐっくいは原型よ  
05097K：ぐるぐる詰んでよ  
[Kがぬいぐるみをぐるぐる転回させる]  
05098M：本当だね、私はぜんぜんできないの、頭が大きいから、羨ましい  
05099L：でもいいんじゃない、人間の役に立つのよ、手術とか  
05100M：手術？どうということ？  
05101L：皮膚移植に役に立つんだって  
05102M：へえ？私の皮膚は人間の皮膚、のようわけ  
05103L：らしいよ  
05104M：先生、賢いのね  
05105L：ね～  
05106M：ね～  
05107K：何を  
05108L：ご機嫌ね  
05109M：うん、何があったの？  
05110L：どうもあほになっちゃたのね  
05111M：そうね  
05112L：こういう時は人口呼吸ね  
05113L：逃げ足だけが早くなっている  
05114M：そうね、運が悪いのね  
05115K：いま何分のかな  
05116M：何分なんかね  
05117L：何分じゃない  
05118M：へ？  
05119L：へ？  
05120M：しんー  
05121K：しんー  
05122K：視聴だけ  
05123M：視聴だわ  
05124L：あ、視聴だわ、頭おかしくなりそう

05125K：おかしくなった、おかしくなったよ  
05126M：これは六ドルけど、六ドルだっけ？  
05127K：つまらん  
{Mがぬいぐるみを前後動かせる}  
05128K：大丈夫？  
05129M：大丈夫よ  
05130K：大丈夫？  
05131L：あ、これが弱ければ息ずるいよ  
05132K：あ～、なるほど、初めて見たよ  
05133L：この人の旦那さん見てみたいわね  
05134M：私の旦那さんはね、この人  
05135L：はじめまして  
05136M：はじめまして  
05137L：いつも奥様にはお世話になっております  
05148M：まだ奥様じゃないんですよ  
05139K：はじめまして  
05140M(緑)：きみ、こいつは誰だい？  
05141M(ブタ)：あなた、なんだだっけ？  
05142K：ぼくは悪ねこクラブの会員いってもらってるよ  
05143L：私はピンのクラブの会員初上位ごばんよ  
05144M(緑)：わ～、ピンのクラブに入ってるだって、すばらしいね、あ、申し遅れました、  
          モンスターハンターに出ているキャラクターです  
05145K：名前は？  
05146M：名前はまだありません、みなさん見つけてください  
05147L：夏目漱石の話に出てくるねこみたいだと言われたねこの人  
05148M：ねこできないんです  
05149K：ニャーニャー  
05150L：ニャーニャー  
05151M：あれ、何のため、あ、分からない限り  
05252K：ブーブー  
05153M：うるさいわ  
05154K：ブーブー  
05155L：あなたモンスターなの？  
05156M：いいモンスターです、人間に手配は加えません、もちろん文句にも加えません  
05157L：シルクは嘘ね  
05158M(緑)：そうなんです、だから、かもがの姿がわにみえないですけど、彼女にやさし

い姿に

05159M(ブタ)：やさしいことに引かれて、結婚を決めたんです

05160L：帰属したね

05161M：ひどい、???頑張ったんだから

05162L：でも、顔は

05163M：何ゆがたせないでください

05164K：ニャーニャー

05165L：ニャーニャー

05166M：猫ちゃん、どちらの猫なんですか

05167K：ニャー

05168L：グニャー

05169M：グニャー羊のカブをかぶった猫なんだね

05170L：ニャー

05171M：なるほど

05172L：そういうあなたは木の実なんですか、種なんですか

05173M：あ、ようやく発芽した種ですね

05174L：じゃ、まだ小学生ぐらいですか

05175M：そんなことはない

{Kがぬいぐるみで緑を叩く}

05176M：うわ、何するの?打倒替わりに

05177K：何だ、何だよ

05178L：人口呼吸

{Lがぬいぐるみでブタを叩く}

05179M：痛い、痛い、やめてください、何するんですか、傍らんほうの人が

05180L：いまごろ知ったか

05181M：あ

05182K：ニャーニャー

{KがぬいぐるみでLのぬいぐるみを叩く}

05183L：やめてくれよ、私は猫アレルギーなんだ

05184M：へ?猫なのに猫アレルギー

05185L：そうなんです、目の赤い猫に触れるとアレルギーになってしまうんで、ウワー

05186K：僕ブタアレルギー

05187M：ひどいわ

05188L：こういう時のハンバーガーだ

05189M：ワー、ハンバーガー来てた

05190K：へ?なんかしようよ

{Kがぬいぐるみで羊を押し動かす}

05191M：あ、先の仲間を、仲間を利用していたのに、ひどいわ

05192K：だって、喜んでるよ、たぶん

05193M：喜んでる、本当だ、本当だわ

05194L：こんにちは、私はこの村の本庁なんです

05195M：本庁さんですか

05196K：本庁さん、本庁さん

05197L：何ですか？

05198K：本庁さん、本庁さん、サッカ場を決めなさい

05199L：この間、積めた税金は本庁さんの奥田プールを作るために使ってしまったんで、そんな金はありません

05200K：へえ～？

05201M：横領じゃないんですか？

05202M(ブタ)：そうよ、そうよ

05203L：何そういう？

05204M：私たちが挙げる結婚式をチャンセルはどこにあるの？

05205L：チャンセルは私がダンボールで作ったよ

05206M：へ？ダンボール？だんしんじゃない？

05207K：いいな～、ダンボール？

05208M：あなたは結婚式に来る？

05209K：うん、呼んでくれる？

05210M：うん、いいわよ

05211L：じゃあ、私がアルバイトで牧神になってあげるよ

05212M(ブタ)：あ、何というはず、本庁さん

05213M：本当だね、犯人

05214M(ブタ)：そうね、ダーリン

05215L：だいたい時給は8千円ぐらいかな

05216M：高くない？

05217M：本当だね、ハニー！違う場所に行こうか、ま～、時間もあるし

05218M(ブタ)：そうね、本庁さん、8千円は払えないから、隣の村のホテルを借りに行きます

05219L：この村の規制で、隣の村に行ったらつは、きっちり引き回しのけなんだろう

05220M：へ？怖い、怖い？？？

05221L：慰霊は怖いわ、まず焼けにしてやろう

05222M：ひどい、ひどい

05223K：いいね、豚の焼肉

05224L : そして、??? 強談だわ、付き合わせな  
05225M : やめろ  
05226K : まずそう  
05227M : うるさい！ 僕はおいしいんだぞ  
05228L : 食べたことあるんですか？  
05229M : 一応、仲間を  
05230L : あ、そのせいでそんな口なんですね  
05231M : そうなんです、これは神様から与えられた罰なんです  
05232L : プシー  
[L がぬいぐるみで M のぬいぐるみを倒せる]  
05233M : うわ  
05234K : ??? まる焼け食べたいよ  
05235L : 食べたいね  
05236M : あ、ダーリン、今日焼肉パーティーだ、ダーリン、起きて  
05237L : どうしようね  
05238K : これで済む？  
05239L : よし、今日はこれの炒めものだ  
05240M : あ、起きて、起きて、起きて  
05241M : 何しているの？  
05242L : 今日はこいつの\*何しようかね  
05243L : こいつのおいすたー  
05244M : こんなやつ食べたっておいしくないよ、もっとおいしいもの見つけに行こうよ  
05245L : じゃ、このひも使って一緒に取りに行こう  
05246M : お  
05247L : 隣クラブどこだ  
05248K : こっちだよ  
05249M : あ、ダーリン、ダーリン  
05250M(緑) : あ、ハニー  
05251L : 水着をして歩けじゃないか  
05253K : お、あれは豚じゃないか  
05254M : は？ はははは  
05255L : お前たちツン割り  
05256M : 逃げろ、逃げろ  
05257L : 豚は  
[K のぬいぐるみが落ちる]  
05258K : おお、うわあ、びっくりした



05259L : 何だろう  
05260L : じゃ、どうしようね、???ダンスで戻ちよう?  
05261M : 戻っちゃいませんか、これが  
05262L : ミュージックスタートできないね  
05263M : できないね  
05264L : お腹減ったな～  
05265K・M : お腹減ったー  
05266K : カモン、豚だ  
05267L : あ、豚の耳だ  
05268L : 君、そう言えば、君も大好物は豚じゃないか  
05269M : は、そうだった、いままでハニーなんって思っていたけど、豚だったのか、倒しあがって  
05270L : いえ～、じゃ、今日はみんなでこれを???しよう  
05271M : わいわい、焼肉だ  
05272L : さあ、誰が裁こうか  
05273M : 僕は、小さすぎて裁けませんよ  
05274K : 僕も、手もお腹にくっ付いてだめだ  
05275L : そう、僕の手は大事なひもを持ってるから剥がせないんだ  
05276M : どうしようか  
05277L : どうしようか、こいつが勝手に焼いてくれてればいいんだけどな  
05278M : あ、それは先にのどのからまでに引っ張ってばいいんじゃないかな  
05279K : そうしよう  
05280L : そうしよう  
[Kがブタを引っ張る]  
05281M : 熱い、熱い、熱いよ～助けて  
05282L : 見なかったことにしよう  
05283M : ダーリン、ダーリン  
05284L : できたかな  
05285K : いいにおい  
05286L : いいにおい、いい感じだね  
05287L : もう終わりかな  
05288M : もう終わりっぽいよ  
05289L : おい、きたろう

### 〈付録 3〉 第 3 次調査

しゃべくり 007

#### 06 調査データ

06001MC：はい、ゲストの方、誰でしょうか、おう

06002 全員：えっ？

06003MC：一目惚れしてしまうナンバワンの方

06004H：惚れちゃうわけね、われわれも

06005J：いや、惚れるぞ、最近、すごいから

07006Z：ナンバワン

06007MC：ドラマですね、一目惚れしてしまうと、お迎えしましょう、この方です

{音楽}

06008G：お願いします

06009J：これは、一目惚れしちゃう

{笑い声}

06010MC：一目惚れした人？

06011 全員：は～い

06012J：出えへんもんね、こういう番組

06013G：あんまり、そうですね

06014J：バラエティとかね

06015 全員：ええ～

06015H：いや～

06016MC：島根から来てよかったな！一目惚れした？

06017 島根の人：うん

06018MC：したやな、やっぱりやな

06019MC：今回、また何でお越し頂けることになったんですか？

06020G：ええっとですね、映画()が公開中で

06021MC：お知らせがね

06022G：ハナミズキという映画が公開中で、それがきっかけですけど、あの一、見てたので、この

06023MC：あ、本当ですか、じゃ、別にお知らせとかなくても関係ないと

06024G：あると嬉しいですけど

{笑い声}

06025MC：後ね、この番組でご覧頂いていることは、なんかほら、よく見るパターンのやつとか()、あるでしょう？

{Gが笑う}

06026MC：あれ好き、というのはあるでしょう？例えば  
06027G：あれ  
06028MC：あの、師匠のかまへんかまへんが好きなんですとか  
06029G：私が今まで、一番爆笑したのは、松子デラックスさんとの  
06030 全員：うん  
    {Gが押す動作をする}  
06031 全員：そっか  
06032MC：今日松子いないんですね  
06033H：スニーカ？  
06034I：いやいや、そのフリないそのフリない、無理ですって  
    {Hが近づいたら、Gが押し離せる、残り全員の人が順番にこの動作をする。}  
06035MC：ありがたい、ありがたい！  
06036 I：やられた、やられた  
    {Gが笑う。}  
06037MC：新垣さんにも感謝だけど、有田にも感謝で～す  
06038H：かめへんかめへん、かめへんかめへん  
06039MC：ぜんぜん  
    {映像が切り替わる。}  
06040MC：女優の新垣結衣さんです  
    {全員が拍手する}  
06041MC：まあ、できればこの一ね、あの一、勝手に距離ちじめるのもあれだけど、ガッキーなんて、こう、みんな、こう、呼べるような、  
06042 全員：あら、ら  
06043H：呼び名決めようか？遠いでしょう、上田さんとか名倉さんとか  
06044MC：あ、みんなの呼び名を  
06045H：変えようよ  
06046MC：その前に、ガッキーって呼んでも大丈夫？みんなで  
06047G：もちろん  
    {全員が拍手する}  
06048Z・H：やったー  
06049MC：有田何て呼んでもらいたい？  
06050A：僕はもう普通に有エッティで  
    {笑い声}  
06051Z：いやいや、ガッキー  
06052MC：そりゃ、ジブリ側からこちやん  
    {MCがばつの手振りをする}

06053A：普通に有エッティで、ぜんぜん大丈夫

06054MC：あの、有エッティで呼んでもらいます？

06055G：いいでしたら、はい

06056MC：う、うん、ちょっと呼んでみる？

06057G：じゃ、有エッティ

06058A：おう、ガッキー

{笑い声}

06059A：かまわない、かまわない

06060MC：徳井は？

06061T：ぼくはトッキー

06062MC：あ、トッキーね、じゃ、ちょっとトッキーって呼んでもらえますか？

06063G：トッキー

06064T：よろしくどうぞ

06065MC：あれ？

{笑う声}

06066MC：トッキーって呼んでるのに、トッキーさんキャラじゃないですか？

06067T：トッキーさんキャラのつもりでしたけど、あの一

06068MC：違いました、久しぶりなんて

{MC が笑う}

06068MC：あ、いや、この間は、この一ディレクターさんと話たら、こう例えば、ガッキーとかね、例えばきれいな女優さん来るじゃんか、きれいな女優さん来ると、ええ、編集するとよく分かるらしいんだけど、徳井がね、最初の 20 分ぐらい全くしゃべらないって

{笑い声}

06069MC：で、やっぱ全然しゃべんでね、どうも気に入られようとかっこつけているって

06070 全員：おお

06071MC：そんな感じ

06072T：いやいや

06073J：あるよあるよ、徳井はそんなことあるよ

06074A：紗季ちゃんとか

06075 全員：おお

06076A：あのね、綾瀬はるかちゃんとか、太田光代さんとか気に入れたくて

{笑い声}

06077T：最後は、最後はない

06078MC：最後おかしいって言い方もないけどさ

06079T：緊張するんですよ、この席が

06080MC：かっこつけて

06081J：それ、もてようとしてるからね  
06082T：それ独身なんで、それね、名倉さんはもう結婚してるから、まあ、もうそういうのはいいじゃないですか  
06083J：おお、いいよ  
06084T：一応、独身男性なんで、横はちょっとね、緊張するんですよ  
06085MC：いや、でもさ、有田とか福田だって、独身男性だけじゃべるわけじゃんか  
06086T：や、ここのね、距離感も違うですよ  
06087A：これ分かるね  
06088MC：ちょ替わるか？有田とか、例えば  
06089T：いやだ  
    {笑い声}  
06090A：前に行かせてもらいたいのあるよ、正直  
06091T：お、替わるか？  
06092MC：替わろう、もう、今日有田と  
06093T：いいですか？  
06094A：まじで？うわ( )、まじで  
06095MC：お前も積極的にしゃべれるか？  
06096T：気は楽、気は楽です、だいぶ  
06097MC：ガッキー、あの一、徳井と有田だと隣どっちがいいとかある？  
06098G：あ( )、どっちでもいいです  
    {笑い声}  
06099J：かまへん、かまへん  
06100G：かまへん、かまへん  
    {TとA席を替わる。}  
06101A：ああ、新鮮だな、ああ  
06102Z：この風景はないぞ  
06103A：やっぱ、ちょっとね、隣は緊張するから、泰造と替わってもらってもいい？  
    {笑い声}  
06104MC：ガッキーはそれ固定だよ、一応替わってみる？泰造と、ちょっと替わってみるね  
06105Z：いや、俺はうれしい  
    {GとZが席を替わる。}  
06106A：あ～落ち着く  
06107Z：よかった  
06108A：落ち着くわ  
06109MC：おかしいわ、最近、お休みの日は何してるんですか？  
06110Z：普通にサウナに行きます

06111MC : 100 回聞いた、100 回聞いた、ゲストと違う、ちょっとおかしい

06112G と Z は席を替わる。

06113G : つむじが 2 個あるんですね

06114MC : じゃ、有エッティ、トッキーね、潤ちゃん何にする？

06115J : 俺、ナグッキーっていう

{笑い声}

06116MC : 別に最後に、キーで終わる必要ないよ

06117J : ええやんけ、もう、ナグッキー

06118MC : で、健ちゃん何にする？

06119H : 俺じゃ、ほっけ

{笑い声}

06120G : ほっけ？

06121H : ホリウチケン略してほっけ

06122MC : お、福田何する？

06123F : フッキーナ

{笑い声}

06124MC : フッキーナ、アッキーナ的な感じに

06125F : フッキーナ

06126MC : じゃ、泰造は？

06127Z : 俺、タイゾーン

{笑い声}

06128MC : タイゾーン、じゃ、ガッキー

## 08 調査データ

08001MC : ゲストのみなさんです。

08002 全員 : うわ～

08003A : グループにもいるんだもんね

08004K : はい

08005MC : 河島さんって、グループ活動もやってたんだ

08006K : はい

08007J : この前もきたよね

08008K : はい、もう、二回目です

08009MC : グループ活動もやってるって知らなかった

08010A : やってる

08011K : 歌とダンスやってます

08012J : 知ってるよ

08013K：本当ですか  
08014A：しかもセンターにいないところが  
{笑い声}  
08015A：川島です。じゃないね  
08016MC：なんで9ナインで5人組みなの？  
08017K：あ、元は9人いたんです  
08018A：そうなの？  
08019K：そうなんです  
08020MC：辞めた？  
08021K：でも～、いろんな事情があり  
08022S：大人の事情ですね  
08023MC：大人の事情があんの？じゃ、これ以上深くは、聞かないね  
08024K：すみません、まず、自己紹介をさせていただきたいですけど  
08025A：考えてみれば失礼だね、自己紹介まだないんだから  
08026N：はい、今日は、いつも私たちイベントでやってる自己紹介をそのままやりたい  
{拍手}  
08027N：みなさん、ぜひあの一  
08028M：お客さんに  
080299：ありがとうございます、ありがとうございます  
{しゃべくりメンバーが前に座る。}  
08030J：頑張れ  
08031F：頑張れ  
08032Y：じゃ、今日は、あの、大阪の、ショッピングモールに、あの行ったっていう  
{笑い声}  
08033MC：設定まで？  
08034Y：やっぱあの、リアルのイベントを演じたいので  
08035 私たち、その日の気分で決めてるんですよ、全部  
08036A：大阪ね  
08037T：待ったったんやで  
08038Y：いきますよ、みなさんこんにちは  
(ゲストがグループ宣伝のショーをする)  
08039 全員：これいい、これいい  
08040Y：大阪のみなさん、元気ですか？  
08041 全員：元気です  
08042Y：今日は、ここ大阪で一番スーパーストレートロングヘアの吉井香奈恵です。かんちゃんって呼んでください

08043 全員：かんちゃん  
08044Y：ありがとうございます  
08045A：(MCを指して)こいつもストレートやで  
{笑い声}  
08046A：なあ  
08047MC：あててきたんや  
08048S：ぶにぶにボディの黒髪ボブのロリフェイス佐武宇綺です。うっきーって呼んでください  
08049 全員：うっきー  
08050S：ありがとうございます  
08051 はーい  
08052A：もう終わりか  
08053 もう一人お願いしまーす  
08054A：誰やねん？誰やねん？  
08055N：今日も明日も前髪絶好調  
{笑い声}  
08056N：西脇彩華です。ちゃあぼんって呼んでください、よろしくお願ひします  
08057 全員：ちゃあぼーん  
08058N：ありがとうございます  
08059M：はい、今の気持ちを体で表現したいと思います、パラグライダー(飛んでいるポーズをする)のように飛んでいきたいと思います。村田寛奈です。ひろろって呼んでください  
08060A：なんやそれ  
08061M：みなさん、あの、座ったままでいいので、一緒にパラグライダーでやってもらえますか  
08062 全員：いやや、いやや  
08063M：いや、ぜひ  
08064A：あの人やってくれる  
08065H：わしですか  
08066A：出来んの？あんた出来んの？  
08067H：わからへん  
08068M：せいのー、パラグライダー  
{Hが飛ぶ}  
08069A：うまいのお、じぶん、うまいのお  
08070H：ありがとう  
08071K：はい、えー、高校卒業間近、川島海荷です。海にーって呼んでください  
08072 全員：うみにー



08073A：怪物か、怪物のほうか  
08074K：怪物くんです。じゃ、あの、私いま、たこ焼き食べたい気分なんですけど、誰か買ってくれる人いませんか  
08075A：あいにく持ち合わせがなあ  
080769：え？え？  
08077A：生活がちょっと圧迫されてるけど  
08078K：私も最近お金がなくて、誰か買ってくれるひといませんか？  
08079Z：いる？誰か？  
08080T：よっしゃ、ワシが買うたる、決してうちの家計は裕福やないんや、両親二人とも入院しとる  
08081MC：辞めろ  
08082T：あの子は、たこ焼き、俺は買わしてもらおうで  
08083A：あんたも苦しいだろう  
08084T：かまへん、うちの家族はどうなってもええ、あの子にたこ焼きを  
08085K：はい、マネジャーに買ってもらいます。ありがとうございました

#### 09 調査データ

09001H：やっぱ違うよな  
09002F：なんでや  
09003H：くん徳かっこいい  
09004MC：お客さんもね、ビール2、3杯ひっかけて来てる  
09005H：そういう時間やな  
09006J：そういうのも、ええやんか  
09007MC：晩御飯後ぐらい時間だしね  
09008J：そうそうそう  
09009MC：お、本日のゲスト紹介いたしますか？本日のゲストは最強のしゃべくりマシーン軍団ですか？  
09010 全員：ええ～？？  
09011Z：マシーン  
09012J：マシーン  
09013H：お笑いの人と？  
09014A：すみません、ちょっと、ちょ、何で写真撮ってるんですか？  
09015F：ちゃう、ちゃう、ちゃう、ちゃう、ちゃう、考えすぎ、考えすぎ  
    {カメラマンがうなずきながら、カメラで写真を取ろうとする}  
    {Aがメンバの後ろに身を隠れる}  
    {カメラマンが、また写真を撮るポーズを取る}

09016F：考えすぎや

09017 徳井：週刊誌の人ですか？

09018J：大丈夫だって、お前いまほら、みんな、仲間とおるから、大丈夫、そんなにナーバスにならなくても

09019A：神経質なっちゃってる

09020Z：気にしすぎ

09021MC：あ、そうだ、ゲスト、ね、最強のしゃべくりマシーン軍団、軍団っていうことは複数、ってことやね、ええ、本日のゲスト、この方々！

{音楽}

09022 全員：キャ～、キャ～

09023I：久しぶり、3年ぶりでしたっけ

09024J：そんな前だっけ

09025I：この時期に来たかったや、だから

09026I：この時期に話したかった

09027 メンバ全員：ええ??どうしたんですか？

09028I：真実の話しようか？(有田に向けて)

09029MC：どうぞどうぞ

09030I：聞かれへんや、意外とみんな聞かれへん、後輩なんか特に

09031T・F：聞かれない、僕ら

09032I：俺しか聞かれへん

09033MC：お願いします

09034I：電話しようかと思った、俺

09035A：毎回電話かかってくる、どこよりもえぐいだよね、質問が

09036I：もしもして言ったら、お前やったんか、やったんか、やったんか

09037H：早いですよ

09038I：今回は絶対行け！もし友達なんやったら、おすすめや

09039A：いや

09040I：芸人で、彼女のこといややってやつおれへん、じゃ、俺はこの時期に出てプッシュして、あんな嫁おったら最高や

{全員拍手}

09041I：と思ったら、と思ったら、週刊新潮で他の女と取られやがって

{IがAの首を絞る}

09042A：いやいや

09043I：誰や？

09044 全員：ええ～？

09045A：一般の方ですよ、一般の友達、はい

09046I : どっちにすんねん？  
09047A : どっちに住むの、ない、ないですよ、何にもない  
09048I : みんなでゲームって、どういう事や  
09049A : や、これわね  
09050I : いい男がみんなとゲーム  
09051MC : そうだ、そうだ  
09052A : おかしい話だ、あんな、そんなね、2人が出て来て、家でゲームしてなんて、僕でも絶対疑います。  
09053I : 俺、絶対違うと思います。  
09054A : 本当にみんなでゴルフをやってるんですよ  
09055I : 誰と？  
09056A : 山崎さん、その時はいませんでしたけど、t b s のいわゆるあの子がブログでいうきんぴらごぼうさんという人ね  
09057I : あ、その人と一緒に行ったやね、まあ、有田のマンションでしょう？  
09058A : そうです  
09059I : 家主は有田や  
09060A : はい  
09061I : 他の人はみんな遊びに来てるわけだから、何回も来てたら、作戦？例えば、そのきんぴらさんが、ある程度の時間きたら、(女性の声に変える)はあ～有田さん、俺明日も早いんで、そろそろ失礼するっす、え？、そうなの？やってけよ、あるでしょう？  
09062A : 本当にあのままなんですよ、あの子はあのままなので、その2人でこう、デートしたことないんです。言うと、みんなで、みんなでワーワーほら、いつものように行くように行くわけね  
09063I : いや、そうだ、俺、この前、世界一、行ったやん  
09064MC : はい  
09065I : その時に、雑誌に出る前、ちょっとおかしいと思った  
09066MC : おおー  
09067I : 俺がおって、ローラがおって、有田がおって、で、ローラちゃんがいつものようになんかわかんないびょんって、みんながパー笑うぜ、ま、俺はね、何言うてんの、ローラとか、で、有田もおるから両方でサンドイッチでちょっと～っていうのを、有田がまた言ったらあ  
09068MC : そんな有田が  
09069 全員 : ええ～  
09070A : こら、あご  
09071MC : 今田さん、ゲストが一言もしゃべってないです。  
09072M : 兄さん

09073J：あの、本当にちいちゃい声でいやいや、兄さん兄さん  
09074J：小さい声で全部やってましたよ  
09075K：恋愛兄さん、まったく彼女いないですからね  
09076M：行かなくていいです。僕らいますから、我々飲みましょう  
09077I：入江からも呼ばれてないですよ、もう、ぜんぜん呼んでくれへん  
09078K：違うんですよ  
09079I：女優の知り合いいっぱいおるのに、大輔も呼んでくれへん  
09080MC：何で紹介しないですか？  
09081M：いやいや、紹介したいです、でも、あの、お時間が合わなくて  
09082MC：いや、合わないことないです。  
09083M：や、本当に兄さん、お忙しいから  
09084MC：だっていったでしょう？女優さんで、私が今田さんのファンなんです、という女優さんも、中には  
09085M：いや、聞いたことないです  
09086I：それはある、それはあるね、それほら、女優ってのはハンサムばかり見てるから、なかなかおらんわな  
09087F：大丈夫、大丈夫  
09088I：苦笑い、そりゃおらんで  
09089MC：冗談です。冗談  
09090I：大輔の知り合いはヒロイン級だから、俺のこと好きって言う女優さんては、おらんわな  
09091メンバ：冗談、いるよね、いたでしょう  
09092M：いるはずですよ  
09093MC：いるって、いますよね  
09094M：います  
09095I：おった？  
09096M：はい  
09097I：え？おった？  
09098M：います、はい  
09099I：俺初耳や  
09100MC：誰？誰？ズバリいって誰？  
09101M：あのね、パット浮かばないです、ド忘れしました  
09102I：そっか、そういうことあるある  
09103メンバ：あかん、あかん

---

09104MC：はい、今日のゲストカラテカ入江、宮川大輔、今田耕司さんです。

{拍手}

09105MC：さき、あのパット見たら、どうですか、やっぱりプライベートはご一緒のほうが多いですか？

09106I：大輔は、やっぱ舞台やってるから、特に

09107MC：でもそれこそ、入江さんって、何千人の友達いるだろう、これ今田さんの好みの女子だなんていうのも大体データ揃って

09108K：揃ってます

09109MC：紹介しないの？

09110K：けど、やっぱり理想が高いんですよ、なんか結構きれいな方いっぱい見てるんで、どんどん上上なんで、なかなか僕の友達じゃ

09111I：昨日何してた？って聞いたら、昨日モデルと飲んでて、なんでそれ、俺呼んでや

09112 そういうの呼んでくれへん

09113MC：なんで面倒くさいの？今田さんくると

09114K：いや、ちょっとだけ面倒、いや面倒くさいですけど

09115MC：あの、入江さん、乗るならのる、乗らないなら乗らない

09116K：勉強します、はい

09117MC：じゃ、あの今田さんにそんなに気つかわないんだ

09118M：逆に、僕、こないだ、大輔昨日めちゃくちゃ酔うてたなって、僕ぜんぜん覚えてないですけど、もう、べろべろで寝てる時に、今田さんが、大輔って言ったら、僕は覚えてない、うるさいお前とか

09119I：飲んでるって言うから行った、大輔がソファーでもう、チンパンジーみたいにこうやって寝てて、飲みすぎて、ちょっと冗談で上乘って、大輔起きろうみたいな、後輩がみんな、いま大輔さん起こしたらだめですみたいな、暴れます、暴れるわけあれへんやな、俺先輩やしもう、普段から知っとんねん、で、上乘って、大輔、起きろうたら、なんじゃ、お前はコラァ

09120MC：入江が乱れたりすることは？そしたら

09121I：入江はね、泣く

09122M：そうですね

09123MC：泣きますか？

09124I：泣きますね、あの、今日なんかね、自分の中で、すごい、じゃべくりにするのも、何日も前から、思ってるから

09125MC：それありがたいですね

09126I：自分の中でも、すごい細かいことを気にするから、今日のなんか、うまく上田さんが言ってくれたのに返せなかったな、とか、そういう細かいことを全部反省して、一緒に飲んで、お前あそこの返しなあっていうたら、ま、プアーって泣きだす

09127A：あ、そうですね、今日あるの？反省みたいな

09128K：そうですね、さき乗り切れなかったどこですね

{笑い声}

09129 メンバー：いい、いい、いい、いい

09130MC：ギャグ、ギャグ、ギャグ、俺もギャグ

09131I：ああいうことによって、よくひと笑い生まれるから、それで成立してる、で、なんか、うまく乗れなかった、乗るなら乗る、乗らないなら乗らない

09132 メンバー：いいよ、いい

## 10 調査データ

10001MC：婚活してんの？福田と婚活するって言ってた

10002A：すげえしてます。すげえしてます。あの一、福田と一度飲みに行きました

10003F：正直、行ったんです

10004 全員：ええ～

10005F：そしたら、有田さんと僕と、有田さんを気に入ってる女性と、で僕を気に入ってる女性もいた

10006J：ええやんか

10007MC：2組カップルが成立する可能性が

10008A：あるある

10009F：あるんで、で、ま、そういう話にねなるのかなと思ったら、途中から有田先生が、あの、ゴルフの話を

{笑い声}

10010J：今好きだから、はまってた

10011A：ま、ね、みんな、スポーツの話嫌いじゃないから

10012MC：ゴルフやればね

10013F：ま、ゴルフはこんな楽しみがあるんだよってという話、を始めて、そこから2時間、ゴルフの話

10014 全員：ええ～

10015F：ぜんぜんゴルフをやっていない女子にですよ、で、ゴルフの打つクラブのあるじゃないですか、へっどね、へっどのどこに球が当たったら、上手く飛ぶかっていう話を延々する

{笑い声}

10016F：やったことない人ですよ

10017T：そんなことやり始めて、しばらくしてから考えること

10018F：それで、もう途中から、ああ、ああって、ああ、ああ、ああ、ああ

10019MC：いや、なんで、お前止まらないの？

10020MC：いや、てか、お前は、いやいや、有田さん、それは置いといて

10021F：おさまらないんですよ

10022J：お前、空気は読めるやんか、その女の子と飲んでて、あれ？この話違うなって思わへんわけ？

10023A：あの、酒が入ると、もうわけが分からなくなる。みんなのことが俺に対してくれて、へえ、へえって聞いているように見える、へえ、へえ、って

10024MC：そんなに目がランランと

10025T：重症、重症

{笑い声}

10026A：シャフトが硬いと、うん、うん、うん

10017MC：言わねえよ、何にも知らない女の子が、シャフト、うんって言わねえ

10028A：一回トイレ行くやん、で、戻って、話続けると、それでさあ、アイアンが、みた時の顔が

{Aがむかつく顔をする}

10029MC：もう気づけよ

10030A：あ、そうだったのか

{笑い声}

10031F：めっちゃ有田さんのこと好き

10032MC：それきり、その女の子2人は

10033F：けど、一応今度みんなでゴルフに行きましょう

{笑い声}

10034MC：では、今日ゲストのみなさんは、しゃべくりファミリーの超イケメン俳優です

10035 全員：ええ～？

10036MC：しゃべくりファミリーとかあった？

10037T：誰がファミリー？

10038H：何回も来てる人？

10039J：いや、ファミリーなんかおらへん

10040MC：浅香光代しか浮かばない

{笑い声}

10041MC：はい、本日のゲストこの方です

{OとDが登場する}

10042 全員：きゃ～

10043J：これが本物やな

10045H：ちょっと待って、泣いてる娘がいる、泣いてる娘がいる

10046Z：泣くってどういうことよ

10047MC：久しぶりです

{OとDがあいさつをする}

10048A：一人でも、一人でも、うわあってなる  
10049MC：ダブルだからね、これ  
10050A：1人でもいいんだよ、これ2人だぞ  
10051 全員：きゃ～  
10052A：ダイナマイト・キッドとデイビーボーイ・スミス  
10053MC：お前ら、デイビーボーイ・スミスを知らない  
{笑い声}  
10054MC：ありがたいけどな、ありがただけど、勝手にしゃべくりファミリーって出たけど、どっちがしゃべくりファミリーになってくれるの？  
10055D：僕でも3回目なんで  
10056MC：岡田君、結構来てくれてるね、てか、毎回誰かと一緒に来るよね  
10057D：はい  
10058J：なんで1人で来れへんの  
10059D：1人で来たいんですけど  
10060MC：1人でもいいんだよな、ありがたい、ありがたい  
10061J：何回目？  
100620：僕2回目です  
10063J：2回目か  
100640：はい  
10065MC：ですよ、でも小栗旬のご結婚おめでとうございます  
{0が腰を曲げてあいさつをする}  
10066MC：でも、正直、ああいう、俺ら人生でない、あんなきゃ～とかいって、いや(), うそのきゃ～はあるよ、あの、前説のおかげのきゃ～はあるよ、でもあの、心からのきゃ～とかないわよ、でもほら、言われ慣れてるでしょう、例えば、あの、映画の試写会あいさつとか、舞台あいさつ、うわとかってするでしょう？  
10067D：はい  
10068MC：するでしょう、町とかでもうわってなるでしょう？表参道とかで、信号待ちしている時に、あれ小栗君じゃない？岡田君じゃない？うわってとか  
10069H：まあ、俺らとは反応は違うな  
100700：ぜんぜんならない  
10071T：いやいや、きゃ～とかなるのはね、逆にね、どさんぴんタレントの我々なんですよ、やっぱり出てくる、パッと見てうわ～！うわ～って言うのは、うわ～泰造とか、このね、お2人とか、ハァッ？言葉を失う  
10072T：声を出されてるうちは、まあ、どさんぴんタレント  
{笑い声}  
10073MC：どさんぴんって、違う違う、アァッ！とも言われないよ、俺の場合



10074A：そりゃそうでしょう

{笑い声}

10075A：何、勘違いしてる、何勘違いしてる

---

10076MC：はい、今日のゲスト小栗旬さんと岡田将生さんです

{拍手}

10077MC：今回、こと2人っていうことは、なんか新しいドラマとか映画とか

10078D：はい

10079MC：お、さっそく教えてください

100800：あの、宇宙兄弟

10081MC：おお、漫画ね

100820：やりまして、今回兄弟役やらして

10083MC：もともと仲よかったの？2人って

10084D：5年前ぐらいにドラマで一回、ご一緒させてもらって、そこ以来だった、プライベートでは何回かあって、二十歳になってから、お酒を一緒に連れてってもらったり

10085MC：おお、おお、

10086 全員：え～

10087MC：岡田君にしたら、お兄さんの的な感じなの？

10088D：そうですね

10089J：兄貴肌っぽいですね

10090A：絶対にね、ここに来た俳優のみんな、小栗さんにはお世話になってます、なんかあるんでしょう、そういう岡田組って言ったらあれだけど、一大派閥みたいなものがある？

10091MC：いま岡田組って言ってる

{笑い声}

10092Z：なんでちょっと緊張してるんだ

10093A：必ず出てくる小栗組

10094MC：後輩の人たちを飲み連れてったり、ご飯に行ったりするの好きなんですか？

100950：僕、もうでも、仕事場だと、一番年下だった時代が長くて、で、兄弟も僕末っ子なんで、年下すごく苦手なんで、もともと

10096MC：もともと

100970：それを、一番最初になんかこう、慕ってついてきてくれたのが三浦春馬君っていう

10098MC：は、は

100990：彼はすごいなんか、ご飯食べに行きましょうとかあって、そこから少し年下の免疫がついたという

10091MC：おお

100920：で、岡田君なんか、ほとんど、なんかため口聞いてきますから  
10093 全員：ええ？  
10094A：岡田君、大先輩に  
10095D：違う違う  
10096J：飲んだらため口になる  
10097D：いやいや、違います、ぜんぜん違うんです  
10098J：言い訳してみ？  
10099D：こういう時はぜんぜん敬語です  
10110MC：当たり前だろう  
    {笑い声}  
10111MC：プライベートでもよ  
10112D：プライベートも敬語です、本当にお酒を飲んできて、ですよ？  
10113MC：お酒を飲むと、ねえ、小栗君みたいな感じになるんですか？  
101140：ま、基本的に旬君って呼ぶんですけど、宇宙兄弟始まる前に、始まるし、ちょっと飲もうか、いまお酒が入っていい感じになってきた岡田君が、俺、あんたに絶対負けねえから  
10115J：そんなこと言うの？  
    {笑い声}  
10116Z：イメージないね  
10117MC：何が？仕事面でってこと？  
101180：宇宙兄弟っていう映画をやるにあたって、俺には負けないと  
10119MC：で、小栗君はなんで答えてた？  
10120D：あ、そっかそっか  
10121MC：優しいね  
10122H：岡田君は覚えてるの？  
10123D：ま、半々ぐらいです。言ったかな、言わなかったかなぐらい  
101240：俺もその日絶対忘れないと思う  
10125MC：後輩にそんなこと言われたらね  
101260：すごい、勢いあるなって  
10127MC：どうなの？実際ほら、それぐらいのお芝居ができた実感はあるの？  
10128D：ああ～  
10129MC：ああ～じゃないよ、君がね、けんかふっかけてたんだから  
101300：あの、すごい監督が、その僕ら別々に撮ってるじゃないですか？必ずハッパをかける人で、現場に行くと、や、岡田すごかったぞ、言ってくる  
10131MC：やっぱ刺激になるの？そういうのは？  
101320：これ兄ちゃん受けられるのかなとか言って去っていく

10133H：いややな

{笑い声}

10134MC：逆に、岡田君言われたの？その監督から、なんで言われた？

10135D：や、昨日の小栗はやばいぞ

{笑い声}

10136MC：あ、そうなんだ、なるほど、そうやってお互いね、どこか地方で収録してたの？

101370：最後にあの、フロリダのナサに行って

10138 全員：ええ？

10139MC：おお

101400：彼のナサでの打ち上げを、僕が身に行くってシーンの流れがありまして

10141MC：おお

101420：その半分以上がナサで撮影して

10143MC：へえ？やっぱナサとかすげえの？

10144D：すごいんすよ

10145MC：どうすごいの？

10146D：広いんです

10147MC：そりゃそうやろう

10148T：そこは大前提として、ナサせまっ！てのはない、まあ、広いわね

10149MC：どれぐらいの？

10150D：どこからどこまでがナサなのか分からなんですよ

10151MC：へえ～

10152T：こう入ってて、僕もナサ行くの初めてなんで、実際にナサにいったら、自分がどうなっちゃうのかな分からないですよ、もうナサに入ってますけど、ええ？

{笑い声}

10153T：そういう感じ？

10154D：そういう感じですね

10155A:あれあった？あれあった？いま俺ナサでしょうかどうでしょうか？ナサでしょう、ブ～！ナサここまで

{笑い声}

10156MC：区切りがないじゃない？ここからここまで、ナサっていろいろ規制が、ここは撮影しちゃだめとか、ここは入っちゃだめとか、そんなのはうるさくはない？

101570：たぶんいろいろあるとは思いますが、やっぱり国家機密がいっぱいあるところなんで

10158A：宇宙人を捕らえてるのもあるでしょう、そういうのいなかったです？

10159D：宇宙人はいなかったです

{笑い声}

10160MC：仮に言っても、そんな簡単に見せてくれないだろう、岡田君、岡田君、ほら宇宙人って、そんな簡単に見せてくれない

10161D：そうですね

アメトーク

**07 調査データ**

07001MC2：さー、みなさんは何のぐみですか？

07002A：ぼくたちは

07003 全員：女の子苦手芸人です

{拍手}

07004MC1：じゃ、いま着席が一瞬ざわついたでしょう

07005MC2：さ、苦手そうだなやなっている人も……

07006MC1：いるんですよ。先頭に立ってるこいつはどういうこと

07007MC2：こがは苦手……？()

07008A：ぼくは、女の子好きなんですよ

07009MC2：そうですね

07010MC1：苦手というか、なんていうか、あの一、接し方がうまくないでしょうね、以前、あの一、この番組で後藤と一緒に合コンした時にこががだめだめやったと、裏では、実はね、ダメダメですよ

07011A：まあ、責任はこいつらにあるんですよ

07012MC1：いやいや、何が責任が

07013A：今日はね、ちょっとみんなと目的が違うかもしれないです。告発します、いろいろ、女っていうもの、こんな醜い生き物だなど、俺がいままで受けてきた傷を

07014MC1：そんな集中キャラが

07015A：うけてます、はい

07016MC2：まあ、有吉と、ね、ばかりズムと若林は人見知り芸人として、出てますから

07017MC1：ロケとかで、有吉と一緒に、また女の子の田ねすさんがおったときに、何にもしゃべてないですよ

07018B：ぎりぎりこさんですね

{笑い声}

07019MC2：あれ、ばばあですから

{笑い声}

07020B：そんな大丈夫よ

07021C：ぼくも女性、ギャルはもう鬼より怖い、(笑い声)急に歌とか歌うギャルは、耳が聞こえなくなっちゃう

07022MC1：ええと、細長いごみ

07023D：なんですか

{自分の足を叩く}

07024MC2：こわこわこわ

07025A：田中なんかね、ちょっと違うんですよ、女の子に苦手されてる芸人なんですよ

07026D：違うんですよ、こっちが苦手なんです。こっちが主人公です。